

KAWAI

STAGE PIANO
MP7SE
取扱説明書

JA

ご使用前の準備

演奏ガイド

エディットメニュー

ストアボタン/セットアップ

レコーダー

USB メニュー

システムメニュー

付録

**この度はKAWAIステージピアノMP7SEをお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。**

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永く御愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願いいたします。

■ 付属品(お確かめください)

- | | |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ダンパーペダル(F-10H) | <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) |
| <input type="checkbox"/> 譜面台 | <input type="checkbox"/> 保証書 |
| <input type="checkbox"/> 電源コード | |

■ 取扱説明書について

初めに、安全に正しくお使いいただくため、次ページの「安全上のご注意」をよくお読みください。

取扱説明書では、MP7SEをすぐお使いいただけるようオーディオ出力機器への接続、電源の入れ方から、基本的な演奏ガイド、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には音色一覧などの資料を収録しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

■製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換できる部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店またはお近くの弊社フィールドサポート担当までご連絡ください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



電源は必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。



付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



本機を分解、修理、改造しない



この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。



本機の内部に異物を入れない

異物を入れない

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



本機を落としたり、強い衝撃を加えない

落とさない

怪我および破損の恐れがあります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。



取扱い注意

設置作業や移動作業は必ず2人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



ぶつからない

本機のカド部でけがをしないよう注意する

頭などをぶつけると、けがの原因になります。



落雷の恐れのあるときや長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



電源プラグは直ぐに抜くことができる状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことができる状態にしておいてください。



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
- ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ・戸外など極端に温度の低い場所
- ・極端に湿度の高い場所
- ・砂やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

故障の原因になります。



手や足を
入れない

譜面台やペダルの下など本機の間隙に手や足をいれない

はさんだり擦れる恐れがあり、けがの原因になります。



通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない 色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。	

* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

安全上のご注意.....	4
--------------	---

目次.....	6
---------	---

ご使用前の準備

MP7SEの概要.....	8
---------------	---

1. 本製品の特徴..... 8
2. この取扱説明書の表記について..... 9

各部の機能と名称.....	10
---------------	----

1. フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン...10
2. フロントパネル：端子.....14
3. リアパネル：端子.....14

他の機器との接続.....	16
---------------	----

セクションの内部接続.....	17
-----------------	----

演奏ガイド

演奏ガイド.....	18
------------	----

音色を選択する.....	19
--------------	----

ZONE 機能.....	20
--------------	----

1. ZONEについて.....20
2. ZONE MODEについて (INT/EXT/BOTH).....21
3. ZONE Key Range (ZONEの鍵域指定).....22

ディスプレイ/コントロールノブ.....	24
----------------------	----

エフェクト.....	25
------------	----

1. Reverb(リバーブ).....25
2. EFX(エフェクト).....26
3. アンプシミュレータ (MAIN ZONEのみ).....28

トーンホイールオルガンモード.....	30
---------------------	----

GLOBAL セクション.....	32
-------------------	----

1. EQ.....32
2. Transpose.....34
3. LOCAL OFF(ローカルオフ).....35

エディットメニュー

エディットメニューの概要 (INTモード).....	36
----------------------------	----

エディットメニューのパラメータ (INTモード)...	38
-----------------------------	----

1. Reverb(リバーブ).....38
- 2.1. EFX(エフェクト).....38
- 2.2. AMP(アンプシミュレータ) (MAIN ZONE).....39
3. Sound.....40
4. Tuning(チューニング).....43
5. Key Setup(キーボードセットアップ).....44
6. Controllers(コントローラー).....47
7. Knob Assign(ノブアサイン).....49
8. Virtual Technician (PIANO 音色).....50
- Virtual Technician (E.PIANO, HARPSICHORD, BASS 音色).....51
- Virtual Technician (DRAWBAR 音色).....51

エディットメニューの概要 (EXTモード).....	52
----------------------------	----

エディットメニューのパラメータ (EXTモード)...	54
-----------------------------	----

1. Channel/Program.....54
2. SETUP.....54
3. Transmit **ENV**.....55
4. MMC **ENV**.....55
5. Key Setup(キーボードセットアップ).....56
6. Controllers(コントローラー).....58
7. Knob Assign(ノブアサイン).....60

エディットメニューの概要 (BOTHモード).....	61
-----------------------------	----

ストアボタン/セットアップ

STORE ボタンの概要.....	62
-------------------	----

1. STORE SOUND(ストアサウンド).....62
2. STORE SETUP(ストアセットアップ).....63
3. STORE POWER ON(ストアパワーオン).....64

セットアップメモリ.....	65
----------------	----

レコーダー

レコーダーについて	66
MIDI レコーダー (内部メモリ)	67
1. 内部メモリに録音する	67
2. MIDI ソングを再生する	69
3. SMF 形式で保存する	71
4. SMF を内部メモリへLOAD(ロード)する	72
5. 内部メモリを消去する	75
6. 曲のトランスポーズ(移調)	76
7. パネルモード	76
8. MIDI to Audio	76
9. SMF ダイレクトプレイ	77
SMF ミキサー	78
オーディオレコーダー (USBメモリ)	79
1. オーディオファイルに録音する	79
2. オーディオファイルを再生する	82
3. オーバーダビングする	85
4. MIDI to AUDIO	88
メトロノーム	91
1. クリックモード	91
2. リズムモード	92
3. メトロノームを使って録音する	95

USB メニュー

USB メニューについて	97
USB メモリ機能	98
1. Load(ロード/読込)	98
2. Save(セーブ/保存)	99
3. Delete(デリート/削除)	101
4. Rename(リネーム/ファイル名変更)	102
5. Format(フォーマット/初期化)	103

システムメニュー

システムメニューについて	104
システムパラメータと機能について	105
1. Utility(ユーティリティ)	105
2. Pedal/Mod.(ペダル/モジュレーション)	107
エクスプレッションペダルの調整について	108
3. MIDI	109
4. Offset(オフセット)	110
5. User Edit(ユーザー)	110
ユーザータッチカーブを作成する	111
ユーザー音律を設定する	112
ユーザー 88 鍵ボリュームを設定する	113
ユーザーストレッチチューニングを 設定する	114
ユーザー VOICING を設定する	115
6. RESET(リセット)	116
PANIC ボタン	116
ロック (🔒) ボタン	117

付録

困ったときは?	118
USB-MIDI について	123
ソフトウェア アップデート	124
音色リスト	125
リズムパターンリスト	126
EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト	127
仕様	132
MIDI Implementation	133
1. Recognised Data	134
2. Transmitted Data	138
3. Exclusive Data	140
4. SOUND/SETUP Program/Bank	152
5. Program Change Number List	153
6. Control Change Number (CC#) Table	156
MIDI Implementation Chart	157

MP7SEの概要

1 本製品の特徴

レスポンス・ハンマー・アクションIIIにより、本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンス・ハンマー・アクションIII (RH III) 鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ(アイボリータッチ)により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイが誇る最高のグランドピアノ SK-EX、EX、SK-5 3台のピアノ音を搭載

MP7SEにはカワイが誇る最高のグランドピアノシリーズである Shigeru Kawai から、コンサートグランドピアノ SK-EX、中型グランドピアノ SK-5 を新たに搭載しました。また、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノ EX も搭載、合計3モデルのグランドピアノ音を内蔵しています。これらのピアノ録音においては、ピアノ作りに精通したカワイだからできる最良のピアノ選定、最高レベルの調律師による秀逸のピアノ調整を行っています。それらのピアノを88個の鍵盤一つ一つ丁寧に、究極のこだわりを持って録音することで、妥協のないピアノサウンドに仕上がりました。最新の「HI-XL 音源」は、弱打から強打までのスムーズな音色変化、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を実現、そのクオリティを余すことなく表現します。さらに、グランドピアノは弦、駒、ダンパー、フレーム、響板それぞれが相互に振動、共振することで複雑な共鳴を発生させ、独特な響きを放ちます。

MP7SEはこの現象を1つ1つ物理的に解析し演算シミュレーションを行い再現しています。

ダンパーレゾナンスやストリングレゾナンス、キーオフレゾナンスや開放弦レゾナンスといったピアノの様々な共鳴現象を、新開発の信号処理プログラムにより、リアルタイムに計算し発生させます。ピアノ作りに精通したカワイだからできるピアノ解析技術により、グランドピアノのあらゆる共鳴現象をリアルに再現します。

ビンテージエレピ音色、2系統のエフェクト、アンプシミュレータ

MP7SEは独特のキャラクターを持った数々のビンテージエレピを用意しています。それぞれの特徴がリアルに再現されたエレピサウンド、バラエティに富んだ129種類のバラエティに富んだエフェクトを2系統と、5種類のビンテージアンプのシミュレータを搭載しています。また、それを集音するマイクタイプの選択やマイク位置までもユーザーの好みに調整可能です。

9本のドローバーとパーカッションコントロールを搭載した伝統的なトーンホイールオルガン音色

MP7SEでは伝統的なトーンホイールオルガンをシミュレートした音色を搭載しています。

9本のドローバーとパーカッションコントロールのスイッチで音色を調整可能です。

オルガン音色調整モードでは9本のドローバーとパーカッションのコントロールをフェーダー/ノブ/スイッチに割り当て、リアルタイムに音色を変更して演奏を楽しむことができます。

さらにトーンホイールオルガンの特徴でもあるホイールノイズやクリックノイズなどを加えることもでき、ロータリーエフェクトやアンプシミュレータと一緒に使用することで、伝統的なサウンドが甦ります。

ストリングス、パッド、ブラス、ベース、シンセ音など多彩で高品位な音色

リアルなアコースティックピアノ、ビンテージエレピ、トーンホイールオルガンを補助するため、MP7SEは高品位なストリングス、パッド、シンセ、管楽器、ベース、ギター等、様々な音色を持っています。これらの音色は音色に深みを持たせるだけでなく、単体でも使用可能で、フィルタやADSRのパラメータにより自分好みの音色を楽しむことができます。

4ゾーンのマスターキーボード機能

MPシリーズを引き継いだ4ZONEのコントローラーは4つのZONEにINT(内部音源)、EXT(外部音源)、Both(内部音源+外部音源)を割り当てることが可能です。4本のスライダーで内部音源+外部音源のレイヤーミックスができます。また、それぞれのZONEに発音域やベロシティスイッチなどを設定でき、演奏の幅を広げます。

グラフィックLCDと機能割り当て可能なノブを使用しての直感的な操作

MP7SEのコントロールパネルは直感的に使用できるよう配置されており、中央のディスプレイと4つのノブは様々なパラメータをリアルタイムにコントロールすることを可能にします。4つのノブには好みの機能を割り当てることができ、いつでもパラメータの調整が可能です。

ステージミュージシャンのための256個のセットアップメモリ

MP7SEは、選択された音色、ノブの値、フェーダーのレベル、その他調整されたパラメータを、「SETUP(セットアップ)」として、本体のメモリへ保存することができ、ボタンを押して瞬時に呼び出すことができます。250を超えるセットアップメモリは、演奏前に予めいくつもの設定を決めておきたいステージミュージシャンに最適です。

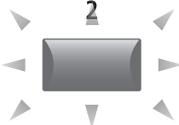
USBメモリ端子を装備：MP3/WAV/SMFでの録音や再生が可能

MIDIデータをコンピューターとやりとりするためのUSB to HOST端子のほか、USBメモリなどにデータをロード/セーブする為のUSB to DEVICE端子を備えています。内部メモリに保存された、カスタマイズされたサウンド群、セットアップメモリ、レコーダーなどのデータを、USBメモリへ保存することができます。MP3やWAV形式のオーディオファイルの録音・再生にも対応しており、本格的なバックিং・トラックを使って演奏したり、曲のアイデアの為のメロディやコードを気軽に録音することも可能です。もちろん、MP7SEで保存したMP3、WAV、SMF形式のファイルは、DAW等で活用できます。曲のアイデアをMP3形式で録音し、そのままEメールに添付してメンバーに送付、というような利用も可能です。

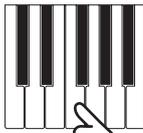
2 この取扱説明書の表記について

この取扱説明書は、MP7SEの様々な機能を説明するために、いくつかのイラストを利用しています。

■ LEDの表示状態

ON / OFF 	ON / OFF 	2 
LED 消灯 SOUND/機能が非選択状態	LED 点灯 SOUND/機能が選択状態	LED 点滅 SOUND/機能が一時的に選択状態

■ ボタンを押すパターン

EQ 	EQ 	MAIN 	
通常 音色または機能選択、 または機能のON/OFF	長押し 機能のパラメータ表示等	押しながら○○する スプリットポイントやゾーン作成、 トランスポーズ設定等	

■ テキストの表示

通常の説明はこのサイズ

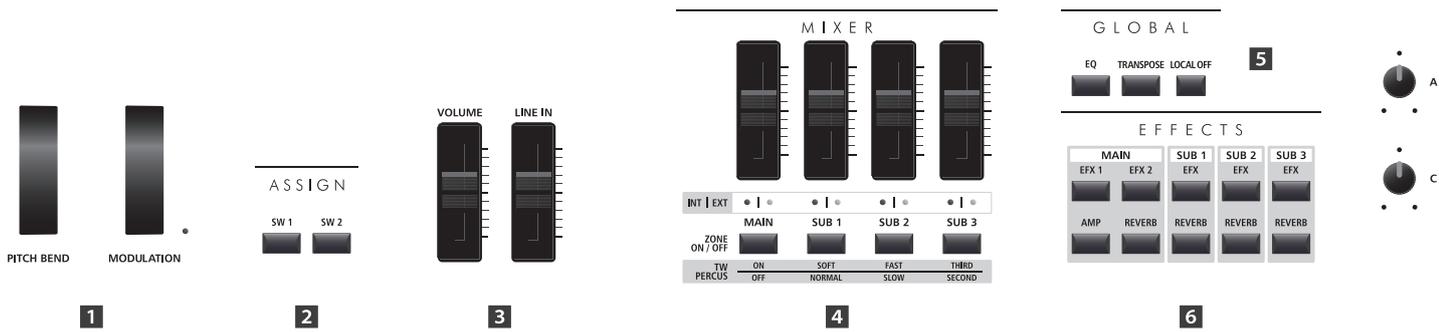
* 注記はこのサイズ

覚書、ヒントや追加説明は
イタリック体でこのサイズ

— LCD表示やボタンの説明の見出しは
太字でこのサイズ

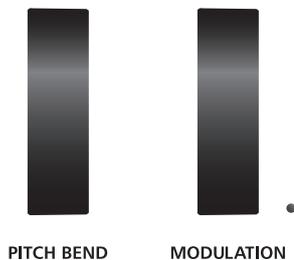
操作例はイタリック体でこのサイズで
灰色の背景で囲む

各部の機能と名称



1 フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン

1 コントロールホイール



[PITCH BEND] ホイール

このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変わります。

[MODULATION] ホイール

ビブラートのかかり具合を調整することができます。ホイールを上へ動かすとビブラートが深くかかります。ホイールポジションが0でないとき、LEDインジケーターが点灯します。

* モジュレーションホイールには別の機能を割り当てすることもできます。P.47をご確認ください。

2 ASSIGN ボタン



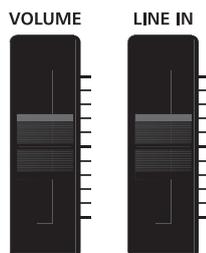
[SW1] [SW2] ボタン

このボタンはユーザーが割り当てた機能をON/OFFします。様々な機能をこれらのボタンに割り当てることができ、演奏中すぐにコントロールすることができます。

* 長押しすることで割り当てられている機能を確認することができます。

* 詳細はP.47をご確認ください。

3 ボリュームフェーダー



マスターボリュームフェーダー

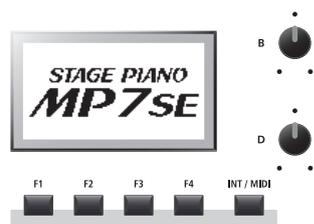
全体のボリュームを調整します。ラインアウト、ヘッドホン出力に効きます。

ラインインフェーダー

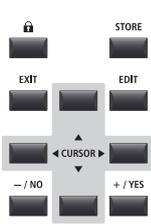
ライン入力の音量を調整します。

* ラインインボリュームレベルはシステムメニューのUtilityでに設定可能です。

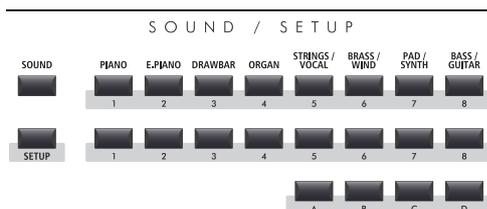
詳細はP.105をご確認ください。



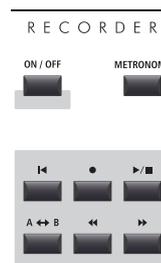
7



8



9

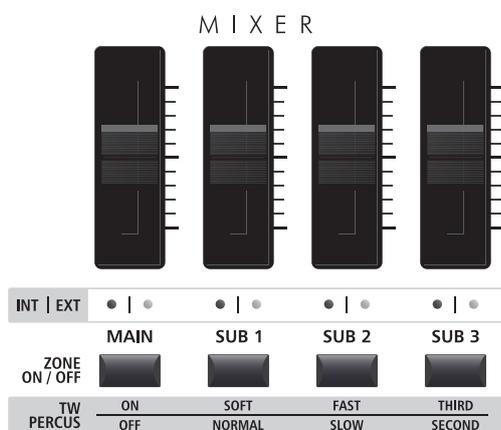


10



11

4 MIXER セクション



VOLUME フェーダー

これらのフェーダーはMAIN/SUB1/SUB2/SUB3ゾーンのボリュームレベルを個別に調整できます。複数のゾーンを使用しているとき、オーディオミキサーの様にこれらのフェーダーを使用します。

また、設定モードでは、これらのフェーダーはドローバーの代わりに使用します。

INT/EXT LED

このLEDは対応するゾーン(MAIN/SUB1/SUB2/SUB3)がコントロールする対象を示します。

内部音色(INT)、外部MIDIデバイス(EXT)または両方(BOTH)。

[ZONE ON/OFF] ボタン

これらのボタンでMAIN/SUB1/SUB2/SUB3ゾーンをON/OFFします。

また、トーンホイール音色設定モードではこれらのボタンを使ってオルガンのパーカッションの設定を行います。

* KeyRangeが設定されているZONEは緑色に点灯します。

* 長押しすることでそれぞれのZONEのKeyRange設定がディスプレイに表示されます。

5 GLOBAL セクション



[EQ] ボタン

EQをON/OFFします。

* 長押しすることでEQの調整画面を呼び出します。

[TRANPOSE] ボタン

トランスポーズ(移調)機能をON/OFFします。

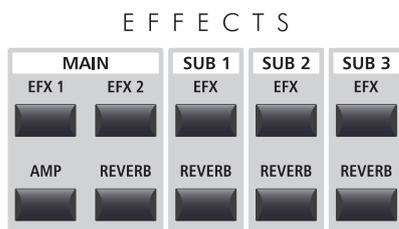
* 長押しすることでトランスポーズの設定画面を呼び出します。

[LOCAL OFF] ボタン

[LOCAL OFF] ボタンを点灯させると、本体の鍵盤を弾いても本体から発音せず、MIDI入力のみ発音します。

各部の機能と名称

6 EFFECTS セクション



* これらのボタンは長押しすることでLCDディスプレイに調整画面を呼び出すことができます。

[EFX1] [EFX2] [EFX] ボタン

これらのボタンは対応するゾーンのエフェクトをON/OFFします。MAINゾーンは2個のエフェクトブロック、SUB1/SUB2/SUB3ゾーンはそれぞれ1個のエフェクトブロックを搭載しています。

[AMP] ボタン

このボタンはMAINゾーンのアンプシミュレータをON/OFFします。

[REVERB] ボタン

これらのボタンは対応するゾーンのリバーブをON/OFFします。

7 ディスプレイ部



LCD ディスプレイ

選択しているゾーンの音色、パラメータや操作中の機能の表示をします。

[A] [B] [C] [D] ノブ

表示中のパラメータをリアルタイムにコントロールします。

* エディットメニューのノブ・アサイン設定ページでパラメータを自由に割り当てることができ、演奏中に好みのパラメータを操作することができます。(詳細はP.49をご確認ください。)

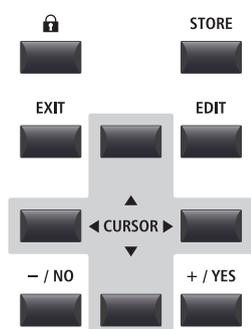
[F1] [F2] [F3] [F4] ボタン

通常はディスプレイに表示されるゾーンを選択します。レコーダーなどのその他のモードでは、そのときの機能が画面上に表示されます。

[INT/MIDI] ボタン

このボタンを長押ししながら[+ / YES] [- / NO] ボタンを押すことで、現在選択中のゾーンのモードを切り替えます。(INT / EXT / BOTH)

8 エディットセクション



[CURSOR] ボタン

画面中のカーソルを移動させたり、エディットモードのページをスクロールさせます。

[+ / YES] [- / NO] ボタン

カーソルで選択した項目の値を設定します。動作確認が必要な画面では、実行するか否かを決定します。

[LOCK] ボタン

パネルスイッチ等をロックして、演奏中の誤操作を防止します。ボタンが点灯しているとき、ロックされます。

[STORE] ボタン

各音色やパネルの設定状態を、SETUPとして本体内部に保存します。また、各SOUNDそれぞれの設定状態や電源オン時の設定を保存できます。

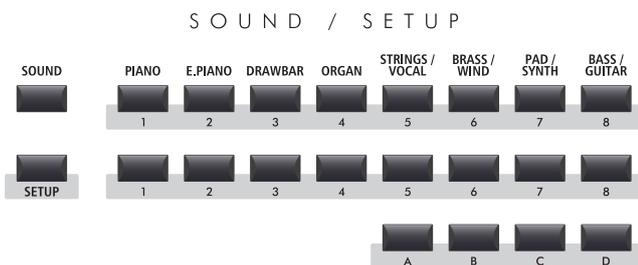
[EXIT] ボタン

エディットモードから抜けたり、前のページへ戻ります。

[EDIT] ボタン

エディットモードへ入ります。エディットメニューが表示されているときは、選択されたそれぞれのパラメータエディットのページへ移行します。

9 SOUND/SETUP セクション



[SOUND] ボタン

SOUNDモード(音色選択モード)に入ります。右のボタンに割り当てられた256個の音色を選択します。

[SETUP] ボタン

SETUPモード(セットアップ選択モード)に入ります。右のボタンに割り当てられた256個のセットアップを選択します。

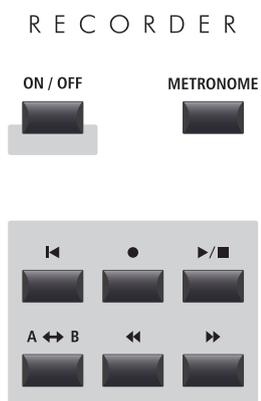
* SETUPモードでこのボタンを押すと、SETUPの音色一覧がディスプレイに表示されます。

SOUND/SETUP 選択ボタン

SOUNDモードでは、これらのボタンで選択中のゾーンの音色(カテゴリ、タイプ、バリエーション)を選びます。

SETUPモードでは、これらのボタンでセットアップのバンク、メモリーを選びます。

10 RECORDER セクション



[ON/OFF] ボタン

[RECORDER]セクションの機能をON/OFFします。

[METRONOME] ボタン

メトロノーム機能をON/OFFします。

◀ (リセット) ボタン

このボタンを押すと、MP7SEのレコーダをリセットします。(巻き戻し：MP3/WAVファイルの始めに戻る)

● (録音) ▶/■ (再生/停止) ボタン

これらのボタンは内部メモリーに録音したり、再生したりUSBメモリーに保存されたMP3/WAVファイルを再生/停止します。

A ↔ B (A-Bループ) ボタン

A-Bループボタンで、録音データの任意の箇所区切り、そのみを繰り返し再生することができます。

◀◀ (早戻し) ▶▶ (早送り) ボタン

作業中の録音された曲や、MP3/WAVファイルを早戻し/早送りします。

11 SETTING セクション



[PANIC] ボタン

長押しすると、パネルの設定を電源オン時の状態へ戻し、オールノートオフとリセットオールコントローラーのメッセージをMIDI送信します。

[SYSTEM] ボタン

MP7SEのシステム全体に関わる基本設定を行います。

[USB] ボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

2 フロントパネル：端子



ヘッドホン端子

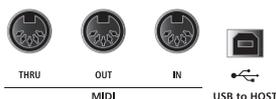
ヘッドホン端子は鍵盤低音側の左下前面にあります。ステレオ標準プラグのヘッドホンを使用してください。

USB to DEVICE 端子

USB to DEVICE 端子は鍵盤高音側右上前面にあります。FAT または FAT32 でフォーマットされた USB メモリや、USB フロッピーディスクドライブを接続します。保存されている曲を再生したり、MP7SE で録音した曲を USB メモリに保存することもできます。

* ワイヤレスフラッシュメモリーは使用できません。

3 リアパネル：端子



1

2

3

4

5

1 電源部



AC IN



ON



AC IN 端子

同梱の電源コードで AC100V のコンセントに接続します。

電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。
ご使用後は必ず電源をお切りください。

* 電源オフ時、内部メモリーにデータ書き込みを行うことがあります。LCD ディスプレイ消灯前に電源プラグを抜かないでください。

* オートパワーオフ機能を使用された場合は一定時間操作がないときに自動的に電源 OFF します。
詳細は P. 105 をご確認ください。

2 MIDI セクション



THRU

OUT

IN

MIDI

USB to HOST

MIDI THRU/OUT/IN 端子

MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

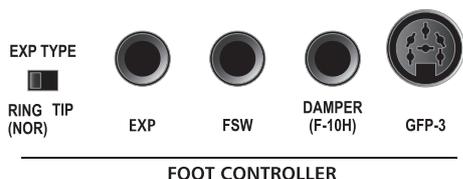
USB to HOST 端子

市販の USB ケーブルでコンピュータと接続すると、MIDI デバイスとして認識され、通常の MIDI インタフェイスと同様に MIDI メッセージを送受信することができます。

* [USB to HOST] 端子を使ってコンピュータと接続するには、ご使用の OS に依ってドライバ・ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。(P. 123 の「USB MIDI ドライバ」参照)

* MIDI IN/OUT 端子と USB to HOST 端子は同時に使用可能です。MIDI の内部接続に関してはシステムメニューの MIDI の項 (P. 109) をご確認ください。

3 [FOOT CONTROLLER] セクション



EXP TYPE	説明
RING (NOR)	TRS プラグの「Ring」がペダル信号の場合
TIP	TRS プラグの「Tip」がペダル信号の場合

* これらのフットコントローラーはエディットメニューでそれぞれ機能を割り当てることができます。詳細は P. 47 をご確認ください。

EXP TYPE スイッチ

エクスプレッションペダルは、メーカーによって TRS プラグの極性が異なります。ペダルが効かない場合やペダルを接続することで本体が誤動作する場合は、このスイッチを切り替えてご使用ください。

EXP 端子

市販のエクスプレッションペダルを接続します。

* ペダルの仕様によっては踏込/開放時に、最大/最少値が出力されない場合がありますが、その際は、P. 108 にしたがってキャリブレーションを行ってください。

FSW 端子

市販のフットスイッチを接続します。

* フットスイッチを離しているのに踏まれたままの状態になる場合は、フットスイッチの極性を確認してください。詳細は P. 107 をご確認ください。

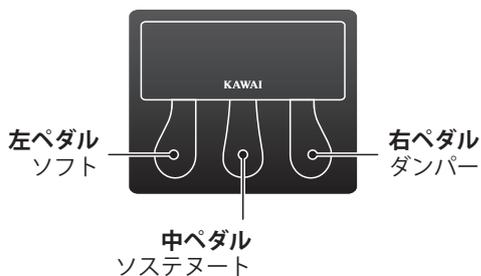
DAMPER (F-10H) 端子

同梱の F-10H (ダンパーペダル) を接続します。

GFP-3 端子

別売の GFP-3 ペダル (3 本ペダル) を接続します。

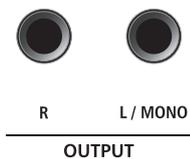
■ 別売の KAWAI GFP-3 ペダル (3 本ペダル) について



別売の GFP-3 ペダルを接続したとき、初期設定では左のペダルはソフトペダル、真ん中のペダルはソステヌートペダル、右のペダルはダンパーペダルとして機能します。

* これらの設定はエディットメニューのコントローラーの設定で変更可能です。詳細は P. 48 をご確認ください。

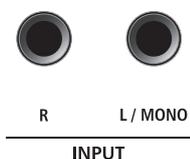
4 OUTPUT セクション



OUTPUT 端子

標準プラグを使って、本機と PA 機器やキーボードアンプを接続します。L/MONO 端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

5 INPUT セクション



INPUT 端子

標準プラグを使って、本機と他の電子楽器やオーディオ機器を接続します。入力レベルは、LINE IN フェーダーで調整します。L/MONO 端子のみ接続した場合は、モノラル入力されます。

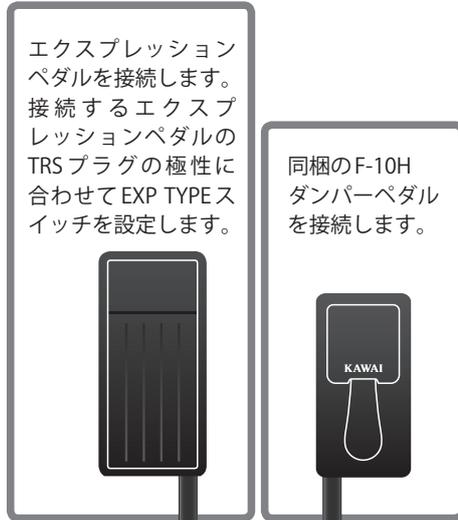
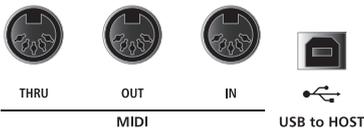
* ラインインから入力された音もオーディオレコーダーに録音されます。

他の機器との接続

ご使用前の準備

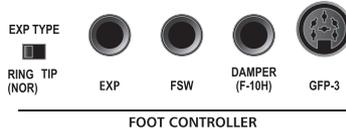


音源やシーケンサ・キーボードなどのMIDI機器・パーソナルコンピュータに接続します。

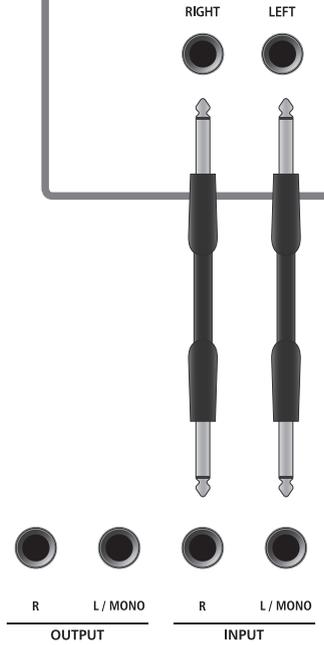


エクスプレッションペダルを接続します。接続するエクスプレッションペダルのTRSプラグの極性に合わせてEXP TYPEスイッチを設定します。

同梱のF-10Hダンパーペダルを接続します。



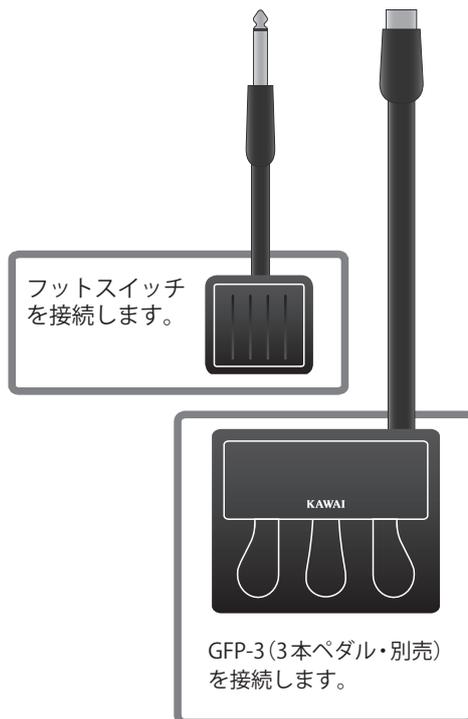
タブレットやポータブルオーディオ、その他電子楽器等に接続します。



USB端子(B端子)

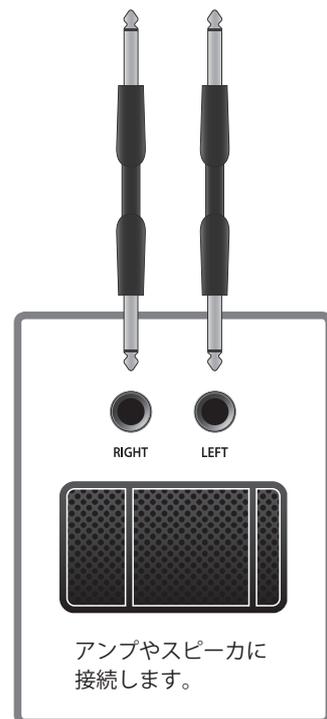
USB端子(A端子)

パーソナルコンピュータに接続します。(MIDI)



フットスイッチを接続します。

GFP-3(3本ペダル・別売)を接続します。



RIGHT LEFT

アンプやスピーカに接続します。

セクションの内部接続

■ アンプ・スピーカの接続

MP7SEはスピーカを内蔵していませんので、PA機器やキーボードアンプ、またはヘッドホンと接続して演奏します。

オーディオ出力機器へ接続後、リアパネル右にある電源スイッチをONにしてMP7SEの電源を入れてください。

■ MP7SEのZONEについて

MP7SEは4つのZONE (MAIN, SUB1, SUB2, SUB3) をコントロールでき、それぞれのZONEは個別にON/OFFスイッチとボリュームがあります。それぞれのZONEは内部音色を制御するINTモード、外部MIDI機器をコントロールするEXTモード、またはその両方を制御するBOTHモードを備えています。

INTモードでは、ZONEに音色を割り当てる手順は各ゾーン共通です。ただし、MAIN ZONEと3つのSUB ZONEの間にはいくつかの相違点があります。MAIN ZONEは2つのEFXモジュールと1つのアンプシミュレータを持っていますが、SUB ZONEは1つのEFXモジュールのみです。

さらに、MAIN ZONEは2つのEFXモジュールにそれぞれ129種類のEFXを使用することが可能ですが、SUB ZONEの1つのEFXモジュールでは22種類のエフェクトのみ使用可能です。

最後に、MP7SEのトーンホイールオルガンモードはMAINゾーンでのみ使用することが可能です。

全ての音色はエディットメニュー内のパラメータ設定により、好みの音色に調整することが可能です。

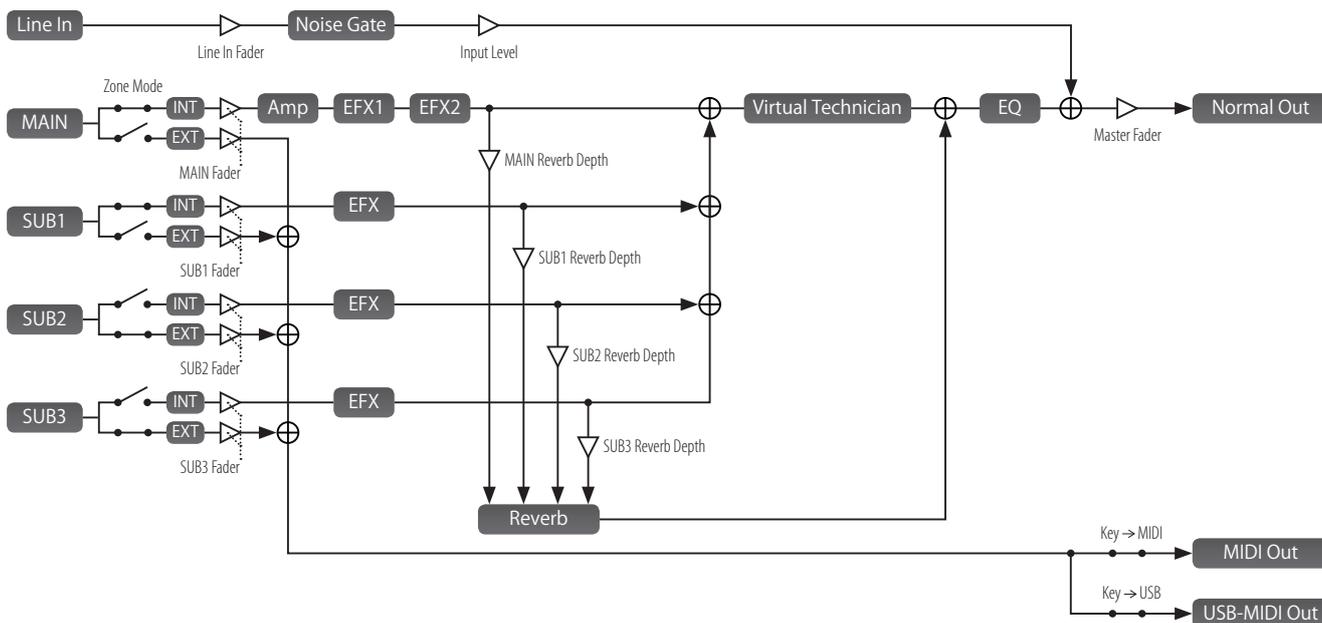
リバーブのセッティングは全てのZONEで共通ですが、Depth (深さ) パラメータはZONEごとに設定可能です。またEQも全てのZONEで共通ですが、エディットメニューのパラメータを調整することにより、個々の音色を個別に調整可能です。

ZONEをEXT(またはBOTH)に設定すると、外部MIDI機器をコントロールすることができます。MAINとSUB ZONEは同じ機能を備え、4つのMIDIチャンネルを同時にコントロール可能です。INTモードと同様に様々なパラメータを設定でき(送信/受信チャンネル、MMC、鍵域指定、ノブアサイン等)、外部機器と通信します。

個々の音色を調整したら、それを音色のプリセットとして保存することができます。また全体の設定を256個のセットアップメモリに保存することができます。

■ MP7SEのブロック図

下の絵はMP7SEのブロック図を示します。



演奏ガイド

電源ケーブル、外部アンプ/ヘッドホン、ペダルを接続し、演奏の準備をしてください。
このページでは電源を入れ、MAIN ZONEとマスターボリュームの調整方法を説明します。

1. MP7SEの電源を入れる

電源スイッチを押します。

MP7SEの電源が入り、起動画面の後、通常演奏画面がディスプレイに表示されます。



* 通常演奏画面についてはP. 24をご確認ください。

* MP7SEは省エネのための自動電源OFF機能が搭載されています。
詳細はP. 106をご確認ください。

2. MAIN ZONEのボリュームを調整する

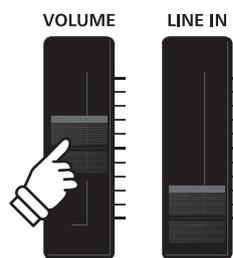
MAIN ZONEのボリュームフェーダーを動かします。



* ZONEボリュームの調整についてはP. 20をご確認ください。

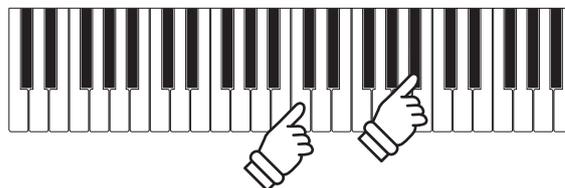
3. MP7SEのマスターボリュームを調整する

マスターボリュームを動かして全体の音量を調整します。

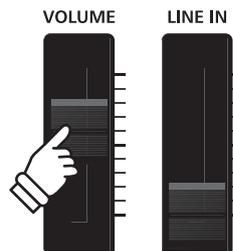


4. 演奏する

鍵盤を弾くと、“SK Concert Grand”の音がなります。



マスターボリュームを操作し、好みの音量に合わせてください。



音色を選択する

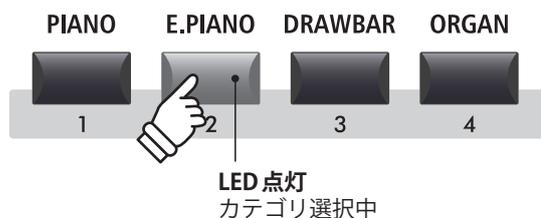
MP7SEは8つの音色カテゴリ、8つのサブカテゴリ、4つのバリエーションの組み合わせで合計256種類の様々な音楽スタイルに適したリアルで多彩な音色を選択可能です。
内蔵音色リストについてはP. 125をご確認ください。

* 下の例は“60's EP 2”を選択する方法を書いています。その他の音色を選択するときも選択手順は同じです。

1. 音色カテゴリを選択する

目的の音色カテゴリボタンを押します。

カテゴリを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイに音色リストが表示されます。

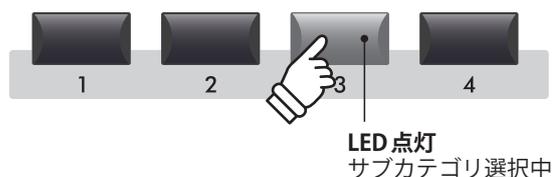


例) Electric Piano 音色カテゴリを選ぶときは[E.PIANO]ボタンを押します。

2. 音色のサブカテゴリを選択する

目的の音色サブカテゴリボタンを押します。

サブカテゴリを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイに音色リストが表示されます。

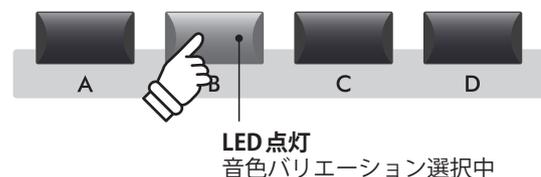
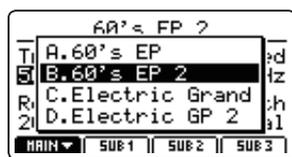


例) 3番目のサブカテゴリを選択する際はサブカテゴリの[3]ボタンを押します。

3. 音色バリエーションを選択する

目的の音色バリエーションボタンを押します。

バリエーションを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイの音色リストが表示されます。



例) “60' EP 2”音色を選択するには、バリエーションボタンの[B]を押します。

* 音色はカテゴリ→サブカテゴリ→バリエーションを順に押すことで選択します。

* 異なる音色カテゴリやサブカテゴリを選んだ場合、前回選んだバリエーションが選択されます。

ZONE 機能

1 ZONEについて

MP7SEには4つのZONE (MAIN, SUB1, SUB2, SUB3)があります。この項では各ZONEのON/OFF、ボリューム調整と、2音色のレイヤー（音色を重ねて演奏すること）の操作方法について説明します。

■ ZONEのON/OFF

関連するZONEのボタンを押すとZONEがON/OFFします。

LEDが点灯しているときはそのZONEが有効、消灯しているときはそのZONEが無効となります。

ZONEのLEDが消灯しているときは、ディスプレイ上の音色名の隣に「*」マークが付きます。



ZONEが OFF 状態 → *SK Concert Grand

* ZONEがOFFのとき、ディスプレイには自動的に前回選んだZONEの情報が表示されます。

* Receive Mode (P. 109) で「Multi」が選ばれている場合、MIDI入力はZONEのON/OFFに関わらず発音します。

■ ZONE ボリュームの調整

それぞれのZONEボタンの上のボリュームフェーダーでそのZONEの音量を調節します。

対応するZONEのフェーダーを上下することで音量を調整できます。

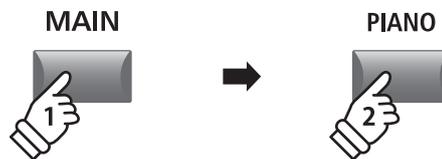
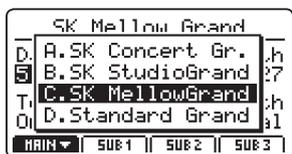
全てのZONEの音量を同時に調整したいときはマスターボリュームを操作してください。
(P. 10参照)



* トーンホイール音色を選択し、音色エディット画面をディスプレイに表示しているときは、これらのボリュームフェーダーをドローバーとして使用します。詳細はP. 30をご確認ください。

■ 2音色を重ねる(ピアノとストリングスのレイヤー)

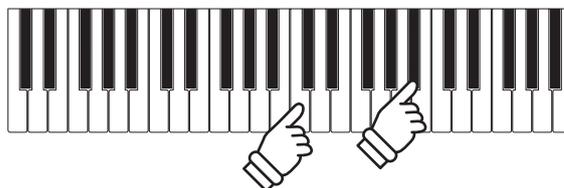
最初にMAIN ZONEをONにして、ピアノ音色を選択します。



次にSUB1 ZONEをONにして、ストリングス音色を選択します。



鍵盤を弾くとピアノ音とストリングス音が重なってなります。ZONEフェーダーを使って個別に音量を調節します。



2 ZONE MODE について (INT/EXT/BOTH)

MP7SEの4つのZONEはそれぞれ内部音色をコントロールするINTモード、外部MIDI機器をコントロールするEXTモード、その両方をコントロールするBOTHモードを備えています。この項では、それぞれのモードの違いの概要と、モードの変更方法について説明します。

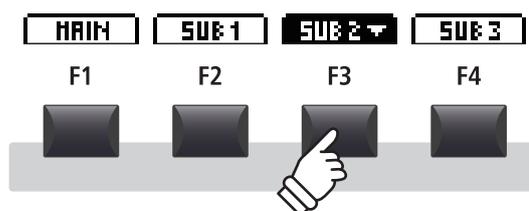
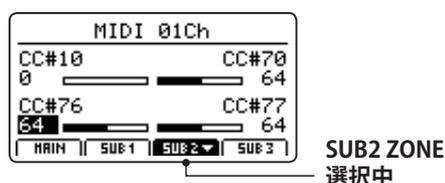
■ ZONE MODEの種類

Zone mode	説明	パネルの表示
INT	内部音色のみコントロールします。	INT EXT ● ○
EXT	外部MIDI機器のみコントロールします。	INT EXT ○ ●
BOTH	内部音色と外部MIDI機器を同時にコントロールします。	INT EXT ● ●

■ ZONEの選択

[F1] ~ [F4] ボタンを押して、目的のZONEを選択します。

選択されたZONEのパラメータがLCDに表示されます。

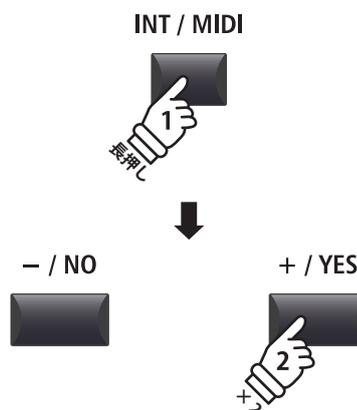
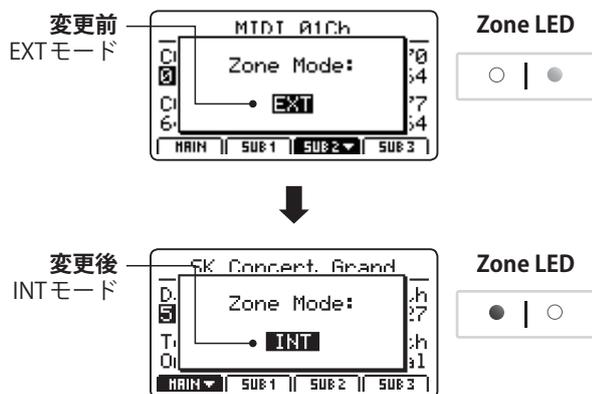


例) SUB2 ZONEを選択するには[F3]ボタンを押します。

■ ZONE MODEを変更する

[INT/MIDI] ボタンを押しながら、[+ / YES] [- / NO] ボタンを押すことでZONE MODEが変わります。

ZONE MODEを表示するLEDとディスプレイに表示されるZONE MODEが変わります。



例) SUB2 ZONEをEXTモードからINTモードに変更するには、[F3]ボタンでSUB2 ZONEを選択し、その後[INT/MIDI]ボタンを押しながら[+ / YES]ボタンを2回押します。

* 初期設定では、MAIN ZONEとSUB1 ZONEはINTモード、SUB2 ZONEとSUB3 ZONEはEXTモードに設定されています。

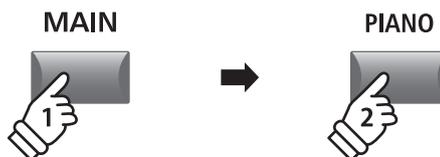
3 ZONE Key Range (ZONEの鍵域指定)

初期状態ではすべてのZONEは88鍵全部発音します。この鍵域指定機能を使うと、それぞれのZONEは指定した鍵盤間のみ発音可能となり、指定した範囲外の鍵盤は発音(またはMIDI OUT)しません。

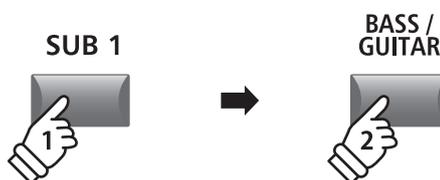
* 下の例はMAINとSUB1 ZONEにピアノ音とベース音を割り当て、鍵域を指定して演奏する手順を説明しています。

1. MAIN ZONE と SUB1 ZONE に音色を割り当てる

最初に、MAIN ZONEをONにして、ピアノ音色を選択します。

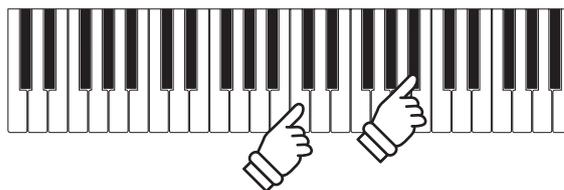


次に、SUB1 ZONEをONにして、ベース音を選択します。



鍵盤を弾くと、88鍵全ての鍵盤でピアノ音とベース音が重なって演奏されます。

次の手順では、MAINとSUB1の2つのZONEで鍵域を指定し、ピアノとベースを個別に演奏します。



■ ZONEの鍵域を確認する

[MAIN] ボタンを長押しします。

現在のMAIN ZONEの鍵域がディスプレイに表示されます。



次に[SUB1] ボタンを長押しします。

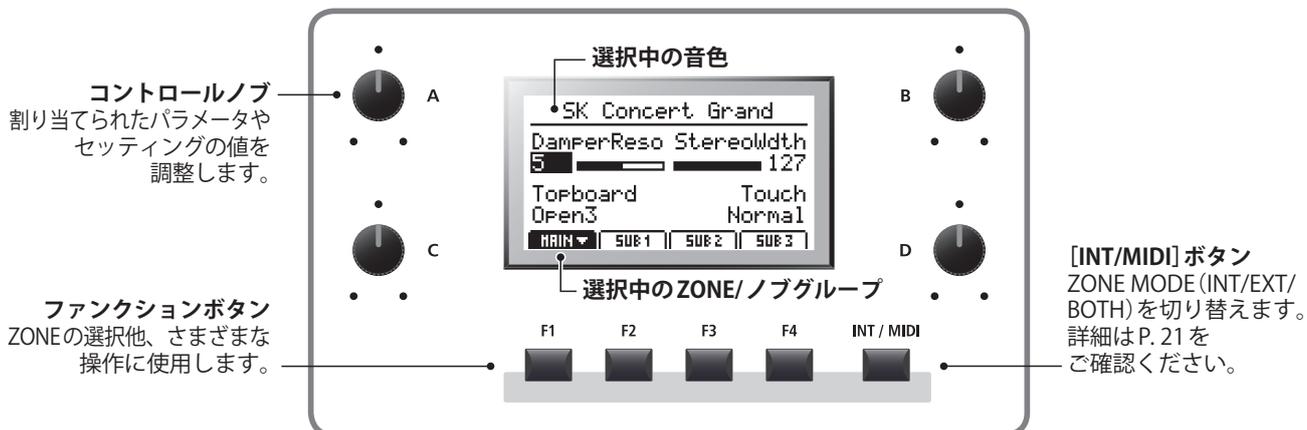
現在のSUB1 ZONEの鍵域がディスプレイに表示されます。



ディスプレイ/コントロールノブ

通常の演奏モードでは、ディスプレイに選択されたセクションの音色名と4つの[A] [B] [C] [D]ノブのパラメータが表示されています。

それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができ、様々なパラメータを、4つのノブを使って演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。さらに、MAIN、SUB1、SUB2、SUB3の4つのZONEのノブパラメータはそれぞれ2つのグループを持ち、幅広いコントロールが可能です。



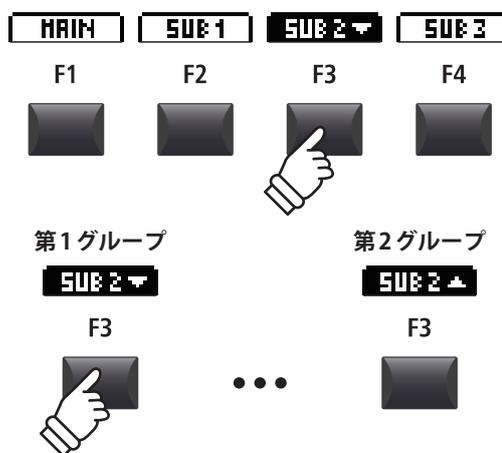
■ ZONEとノブグループを選ぶ

ディスプレイ下の[F1] [F2] [F3] [F4] ボタンを押して、目的のZONEを選択します。

選んだZONE名が反転し、選択中の音色のノブパラメータの第1グループが表示されます。

再度同じファンクションボタンを押すと、ノブパラメータの第2グループが表示されます。

* エディットメニュー内で同じファンクションボタンを押すと、次のパラメータページに移動します。



■ ZONE MODEを変更する ([INT/MIDI] ボタン)

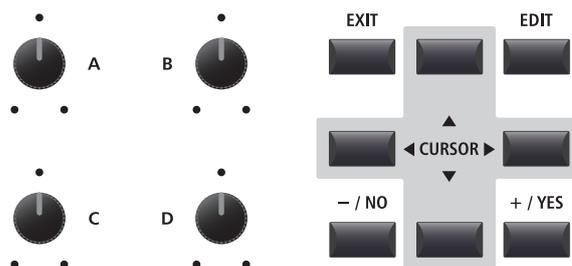
ZONE MODEの変更についての詳細はP. 21をご確認ください。

■ パラメータを調整する

ディスプレイ横の4つのコントロールノブを回して、表示されたノブグループのパラメータを調整します。

* それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができます。
(P. 49の「7 Knob Assign (ノブアサイン)」参照)

[CURSOR] ボタンでカーソルを移動し、[+ / YES] [- / NO] ボタンで、値を調整することもできます。



1 Reverb(リバーブ)

リバーブは、MP7SEの音に残響効果を加えます。MP7SEは6種類の高品位なリバーブを用意しています。リバーブの種類といくつかのパラメータは全ZONEで共通ですが、各ZONEごとに[ON/OFF]ボタンがあり、DEPTH(リバーブの深さ)はZONEごとに調整できます。

* エディットメニューのREVERB Type/Pre Delay/Timeパラメータは全てのZONEで共通です。

■ リバーブタイプ

Reverb type	説明
Room	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
Lounge	ラウンジでの残響音をシミュレートしています。
Small Hall	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
Concert Hall	コンサートホールでの残響音をシミュレートしています。
Live Hall	ライブホールでの残響音をシミュレートしています。
Cathedral	大聖堂での残響音をシミュレートしています。

■ リバーブのON/OFF

目的のZONEの[REVERB]ボタンを押して、そのZONEのリバーブをON/OFFします。

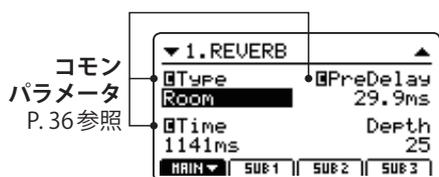
[REVERB]ボタンが点灯/消灯して、リバーブの現在の状態を示します。



■ リバーブタイプやパラメータを変更する

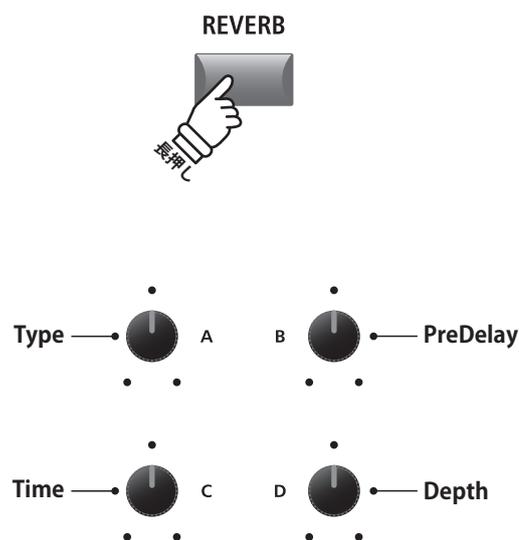
変更したいZONEの[REVERB]ボタンを長押しします。

現在選ばれているZONEのエディットメニューのリバーブ設定ページがディスプレイに表示されます。



4つのコントロールノブを回して、リバーブタイプやその他のパラメータを調整します。

再度[REVERB]ボタンを長押しし、設定ページから抜けます。



■ リバーブパラメータ

ノブ	パラメータ	説明	値
A	Type	リバーブの種類を選びます。	—
B	PreDelay	残響が始まるまでの時間を設定します。	0 ~ 200 ms
C	Time	残響の長さを設定します。	300 ms ~ 10.0 s(タイプにより異なる)
D	Depth	残響の深さを設定します。	0 ~ 127

2 EFX(エフェクト)

リバーブ以外にもそれぞれのZONEに割り当てた音色にエフェクトを加えることができます。

MP7SEは129種類の高品位なエフェクトを用意しており、ユーザーの好みのエフェクトを割り当てることができます。

内蔵音色にはあらかじめ推奨のエフェクトが割り当てられており、ボタンによりON/OFFの切り替えができます。

エフェクトはZONEごとにシステムが用意されていますので、各ZONEに異なるエフェクトを加えることができます。

MAIN ZONEとSUB1/SUB2/SUB3 ZONEは同じ操作ですが、これらのZONE間にはいくつかの違いがあります。

MAIN ZONEには129種類(2系統)のエフェクトを加えることができます。

SUB1/SUB2/SUB3 ZONEには22種類(1系統)のエフェクトを加えることができます。

■ EFX(エフェクト)の仕様：MAINとSUB1/SUB2/SUB3

	MAIN ZONE	SUB1/SUB2/SUB3 ZONE
エフェクトの系統数	2系統(直列、個別に調整可能)	1系統ずつ(個別に調整可能)
使用可能なエフェクトの種類	129種類	22種類
アンプシミュレータ	有り	無し

■ 使用可能なエフェクトの種類：MAIN ZONEとSUB1/SUB2/SUB3 ZONE

カテゴリ	M	S	カテゴリ	M	S	カテゴリ	M	S	カテゴリ	M	S
1 Chorus	8	2	7 Delay/Rev	8	2	13 Groove	4	1	19 Enhancer+	8	-
2 Flanger	5	2	8 PitchShift	3	1	14 Misc.	2	-	20 P.Shift+	6	-
3 Phaser	6	1	9 Compressor	2	1	15 Chorus+	6	-	21 Comp+	8	-
4 Wah	6	3	10 OverDrive	3	2	16 Phaser+	6	-	22 OverDrive+	8	-
5 Tremolo	6	3	11 EQ/Filter	5	2	17 Wah+	6	-	23 Parallel	6	-
6 AutoPan	4	1	12 Rotary	5	1	18 EQ+	8	-	TOTAL	129	22

* 15～23はコンビネーションエフェクトです

* カテゴリ、タイプ、パラメータについての詳細はP.127をご確認ください。

■ エフェクトをON/OFFする

ON/OFFしたいZONEのEFXボタン(MAIN ZONEは[EFX1][EFX2]ボタン)を押すと、そのZONEのエフェクトがON/OFFします。

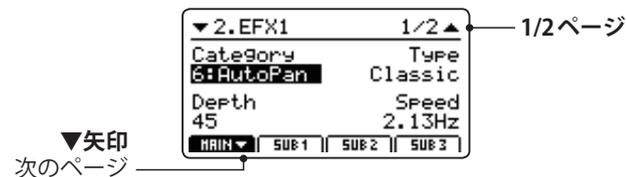
[EFX]ボタンのLEDがON/OFFして、エフェクトの現在の状態を示します。



■ エフェクトのカテゴリ、タイプ、パラメータを変更する

エフェクトを変更したいZONEの[EFX]ボタンを長押しします。

エディットメニュー、EFX調整ページの最初のページがディスプレイに表示されます。

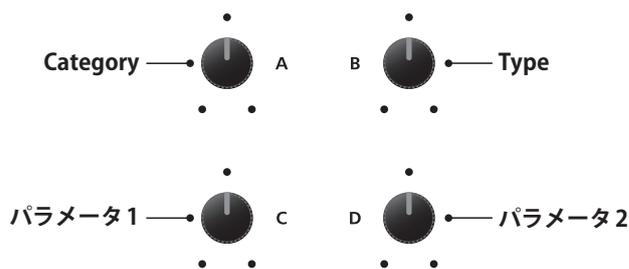


ノブ[A][B][C][D]を操作し、エフェクトカテゴリ、タイプ、パラメータを変更します。

* エフェクトのパラメータ名やパラメータ数はタイプによって異なります。
詳細はP.127をご確認ください。

* 現在選択中のZONEに対応した[F1] ~ [F4]ボタンを押すことで、次のパラメータのページに移動します。

再び[EFX]ボタンを長押しすると、エフェクトのエディット画面の最初のページに戻り、さらにもう一度長押しすると通常演奏画面に戻ります。



* 上記のノブの機能はエフェクトのページによって変わります。

■ 気に入ったエフェクト設定を他の音色で利用する

システムメニューのEff.SWモードパラメーターを使用してエフェクト設定を他の音色へコピーすることができます。詳細はP.105を参照してください。

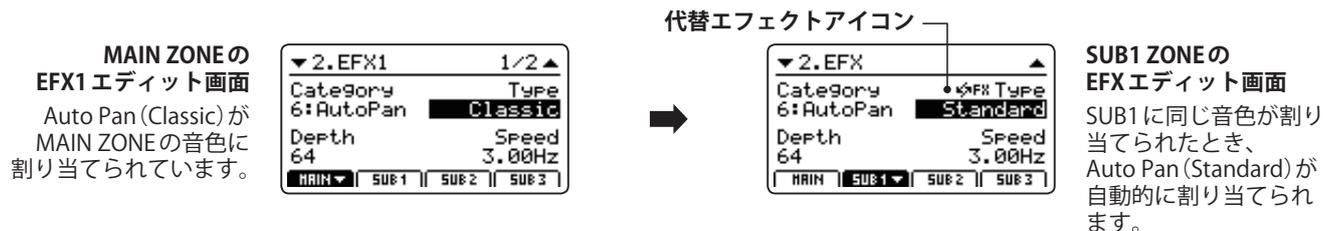
■ SUB1/SUB2/SUB3 ZONEの代替エフェクトについて

エフェクトタイプはMAIN ZONEには129種類、SUB ZONEには22種類選択可能です。

MAIN ZONEでしか使うことのできないエフェクトを音色に割り当てた状態で、その音色をSUB ZONEに割り当てると、SUB ZONEで使用可能なエフェクトに自動的に置き換わります。☞ EFX アイコンは現在代替エフェクトが割り当てられていることを示します。

下の例ではMAIN ZONEでのみ使用可能なAuto Pan (Classic)をMAIN ZONEの音色に割り当て、その後その音色をSUB ZONEに割り当てると、SUB ZONEで使用可能なAuto Pan (Standard)に自動的に置き換えられる例を示しています。

* EFX1のみが置き換えられます。EFX2に割り当てられているエフェクトはSUB ZONEでは無視されます。



3 アンプシミュレータ (MAIN ZONEのみ)

アンプのスピーカやキャビネットの音色のキャラクターはビンテージエレピやオルガンなどの音色にとって、重要な要素です。

MP7SEのアンプシミュレータは5つのアンプタイプと様々なパラメータを調整することができます。

■ アンプの種類

Amp type	説明
S. Case	スーツケースタイプのアンプで主にビンテージエレピに使用されます。
M. Stack	ポピュラーなスタックタイプの真空管アンプをシミュレートしています。
J. Combo	代表的なトランジスタアンプをシミュレートしています。
F. Bass	真空管ベース・アンプをシミュレートしています。
L. Cabi	ドローバーオルガン等に好んで使用されるアンプをシミュレートしています。

■ アンプシミュレータのON/OFF

MAIN ZONEの[AMP] ボタンを押して、アンプシミュレータをON/OFFします。

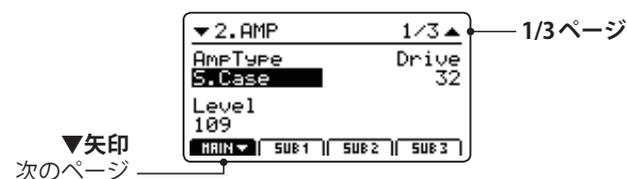
[AMP] ボタンが点灯/消灯して、アンプシミュレータの現在の状態を示します。



■ アンプの種類の変更とドライブ、レベルの調整

MAIN ZONEの[AMP] ボタンを長押しします。

エディットメニューのアンプのページがディスプレイに表示されます。

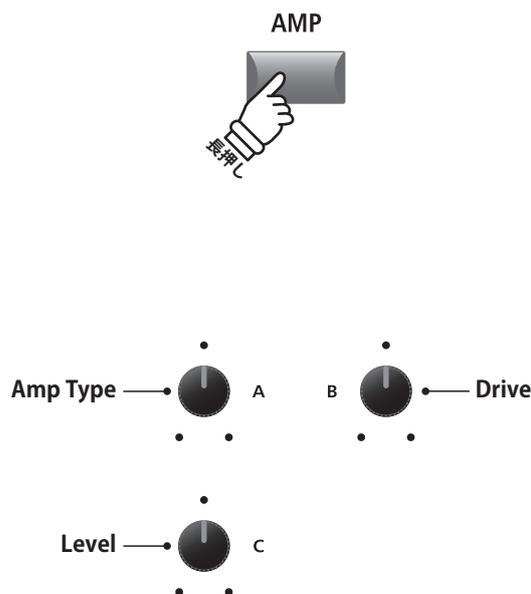


ノブ[A] [B] [C]を操作し、アンプの種類、ドライブ、レベルを調整します。

* アンプシミュレータのパラメータの詳細はP. 39をご確認ください。

* [F1] ボタンを押すと別のパラメータのページに移動します。

[AMP] ボタンを長押しするとアンプのエディット画面の最初のページに戻り、さらにもう一度長押しすると通常演奏画面に戻ります。



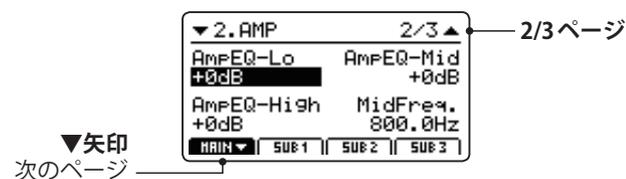
* 上記のノブに割り当てられるパラメータはアンプのページによって変わります。

■ アンプシミュレータのパラメータ

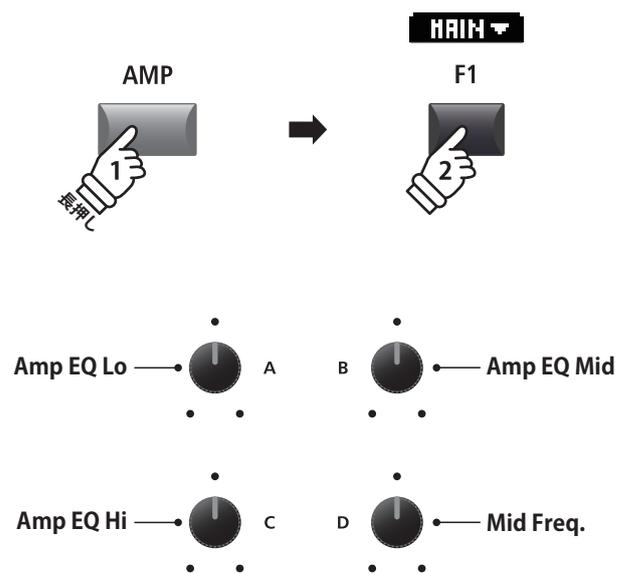
ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Amp Type	アンプタイプを変更します。	P. 28参照
	B	Drive	アンプのドライブレベルを調整します。	0 ~ 127
	C	Level	アンプのボリュームを調整します。	0 ~ 127
2	A	Amp EQ Lo	アンプの低音域のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	B	Amp EQ Mid	アンプの中音域のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	C	Amp EQ Hi	アンプの高音域のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	D	Mid Frequency	アンプの中音域の中心周波数を調節します。	200 Hz ~ 3150 Hz
3	A	Mic Type	アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。	Condenser, Dynamic
	B	Mic Position	マイクの配置を調整します。	OnAxis, OffAxis
	C	Ambience	遠くに配置されたステレオマイクのみキシング割合を調整します。	0 ~ 127

■ アンプシミュレータのパラメータ調整

MAIN ZONEの[AMP]ボタンを長押しし、さらに[F1]ボタン(MAIN)を押すと、アンプの調整ページの2ページ目のパラメータがディスプレイに表示されます。



ノブ[A] [B] [C] [D]を回すと表示されているEQ Lo、Mid、HighのゲインとMidの周波数を調整することができます。

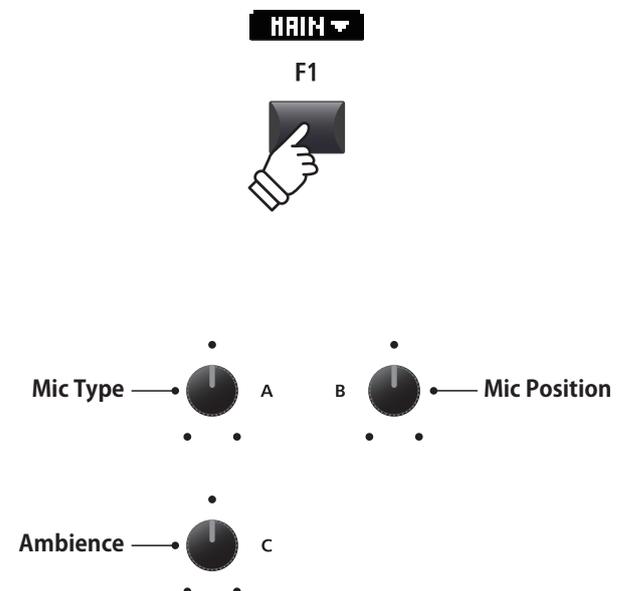


[F1]ボタンを再度押します。

エディットメニュー、アンプ調整ページの3ページ目のパラメータがディスプレイに表示されます。



ノブ[A] [B] [C]を回すと、マイクタイプ、ポジション、及びアンビエンスのパラメータを調整することができます。



トーンホイールオルガンモード

MP7SEはトーンホイールオルガンをモデリングした音色を持っています。トーンホイール音色は16', 5 1/3', 8', 4', 2 2/3', 2', 1 3/5', 1 1/3', 1'の合計9本のドローバーの引き出し具合、またパーカッションのセッティングでその音色を決定します。

トーンホイール音色はMAIN ZONEでのみ使用可能で、[DRAWBAR] 音色カテゴリのサブカテゴリ[1] [2] [3]がトーンホイール音色です(バリエーション[A] ~ [D])。

トーンホイールオルガンモードでドローバー、パーカッション、ロータリースピーカーのコントロールなどの調整を行います。ディスプレイにトーンホイール音色エディット画面が表示されているときは、ZONE フェーダーとノブ、[+ / YES] [- / NO] ボタンをドローバーのコントローラーとして使用し、ZONE ON/OFF スイッチ ([MAIN] [SUB1] [SUB2] [SUB3]) をパーカッションのコントローラーとして使用します。

1. トーンホイール音色を選択する

MAIN ZONE を選択した状態で：

音色カテゴリから [DRAWBAR] を選択し、サブカテゴリの [1] [2] [3] のいずれかを選択します。

選択したボタンが点灯し、選択されたドローバー音色がディスプレイに表示されます。

DRAWBAR



* トーンホイール音色はMAIN ZONEでのみ使用可能です。

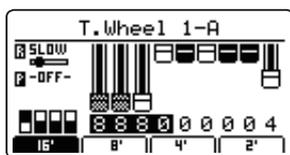
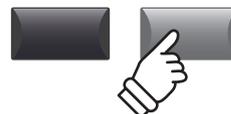
2. トーンホイール音色エディット画面を表示する

[SW2] ボタンを押します。

[SW2] ボタンが点灯し、トーンホイール音色のエディット画面がディスプレイに表示されます。

* トーンホイール音色エディット画面は、トーンホイール音色を選択した状態でエディットメニューの "3.SOUND" のページに入ることでも表示されます。

SW 1 SW 2



* 初期設定では [SW2] ボタンに "TW Control" が割り当てられておりますが、設定を変更した場合はトーンホイール音色エディット画面は表示されません。

* [SW1] [SW2] ボタンへ割り当てられる機能の詳細についてはP. 47 をご確認ください。

トーンホイール音色エディット画面

ロータリースピード
ロータリーエフェクトのスピードを表示します。
[SW1]/FSW を押す度に 'Fast' ⇄ 'Slow' が切り替わります。

パーカッション設定
オルガン音色の音の立ち上がりにはアタック音を加えます。
ZONE ON/OFF ボタンで切りかえます。
左から (ON/OFF, Soft/Normal, Fast/Slow, 3rd/2nd)

選択中のトーンホイール音色
この例では DRAWBAR-1-A

T.Wheel 1-A	
FAST	
SOFT	
FAST	
3rd	
8 4 8 0 0 1 2 3 4	
16'	8' 4' 2'

選択中のドローバーグループ
現在のドローバーがフェーダー/ノブ/ボタンに割り当てられているかを表示します。

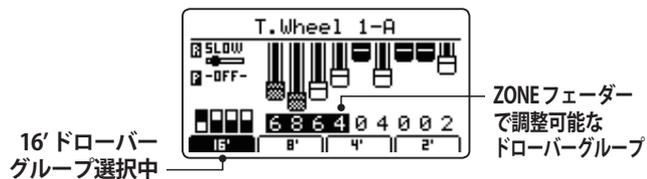
ドローバーレジストレーション
オルガンのドローバーセッティングを表示します。
フェーダー、ノブ、ボタンで調整します。

* トーンホイール音色のドローバーレジストレーションは外部MIDIコントローラーでも調整可能です。
詳細はP. 42 をご確認ください。

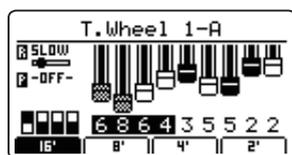
■ ドローバーレジストレーションの調整

トーンホイール音色エディット画面で16'グループが選択された状態で：

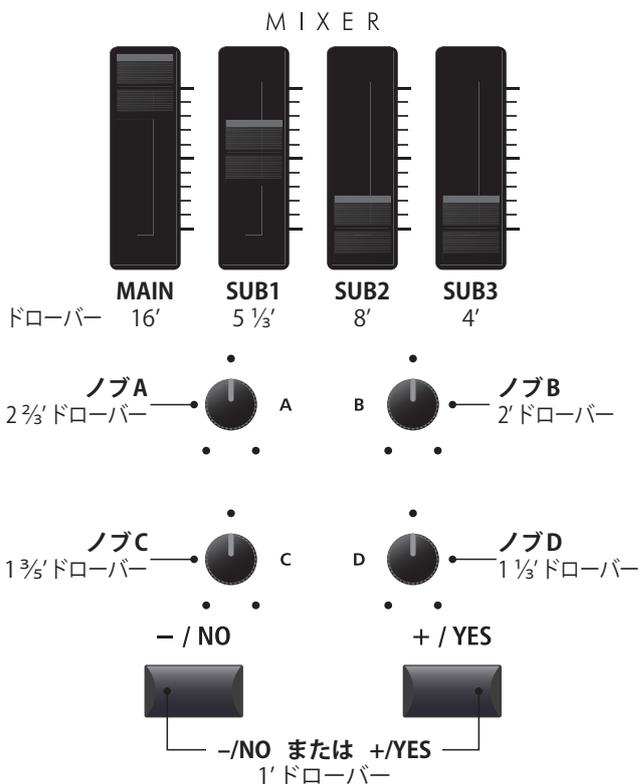
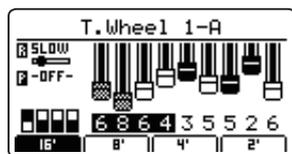
ZONEフェーダー（MIXERフェーダー）を操作すると、16'から最初の4本を操作できます。



[A] [B] [C] [D] ノブを回すと次の4本のドローバーを操作できます。

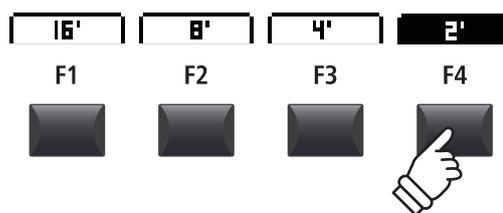
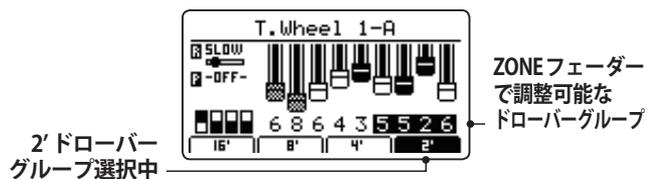


最後に[+ / YES] [- / NO] ボタンを押すことで最後のドローバーを操作できます。



■ ドローバーグループを変更する

[F1] ~ [F4] ボタンを押すことで、どのドローバーをZONEフェーダーで操作するか(ドローバーグループ)を選択します。

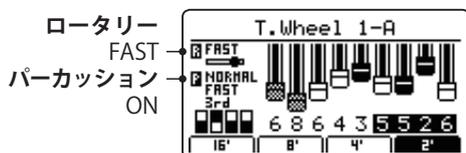


* ノブと[+ / YES] [- / NO] ボタンへのドローバー割り当ては選択されているドローバーグループによって変わります。

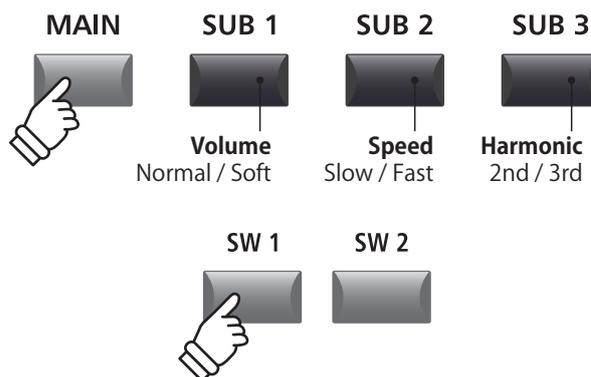
■ パーカッションセッティングとロータリーエフェクトのスピード

トーンホイール音色エディット画面で：

[MAIN] ボタンを押すとパーカッションがON/OFFできます。[SUB1] [SUB2] [SUB3] ボタンでパーカッションの音色を調整できます。



[SW1] ボタンを押す(またはFSWをONする)と、ロータリースピードが変化します。(SLOW ⇄ FAST)



* [SW1] [SW2] ボタンへ割り当てられる機能の詳細についてはP. 47をご確認ください。

GLOBAL セクション

1 EQ

EQは4バンドのグラフィックイコライザで、MID1とMID2の周波数と帯域は調整可能です。
内部音色全体に効きます。

イコライザのセッティングは全ZONEで共通です。

* コモンパラメータの詳細についてはP.36をご確認ください。

■ EQをON/OFFする

[EQ] ボタンを押すとEQがON/OFFします。

[EQ] ボタンのLEDがON/OFFの状態を示しています。



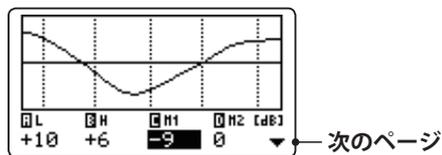
■ EQのパラメータ

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Low Gain	低音域(20 ~ 100Hz)のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	B	High Gain	高音域(5k ~ 20kHz)のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	C	Mid1 Gain	中音域1(200 ~ 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
	D	Mid2 Gain	中音域2(200 ~ 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	-10 dB ~ +10 dB
2	A	Mid1 Q	中音域1のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ~ 4.0
	B	Mid2 Q	中音域2のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ~ 4.0
	C	Mid1 Freq.	中音域1の中心周波数を調整します。	200 Hz ~ 3150 Hz
	D	Mid2 Freq.	中音域2の中心周波数を調整します。	200 Hz ~ 3150 Hz

■ EQのパラメータの調整

[EQ] ボタンを長押しします。

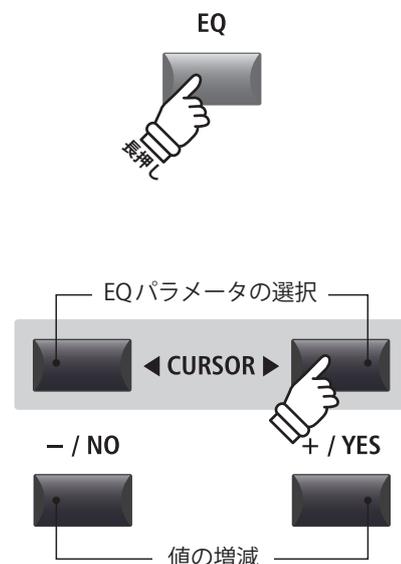
周波数特性を表すページがディスプレイに表示されます。
(ゲイン調整のページ)



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+ / YES] ボタンまたは[- / NO] ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整することができます。

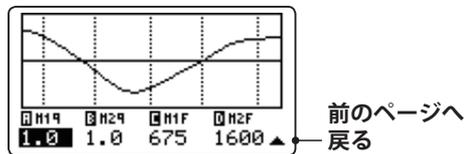
* [F1] ~ [F4] ボタンはパラメータ選択にも使用できます。また、選択されているパラメータに対応する[F1] ~ [F4] ボタンを再度押し、帯域・周波数設定ページに移動します。



■ EQのパラメータの調整(続き)

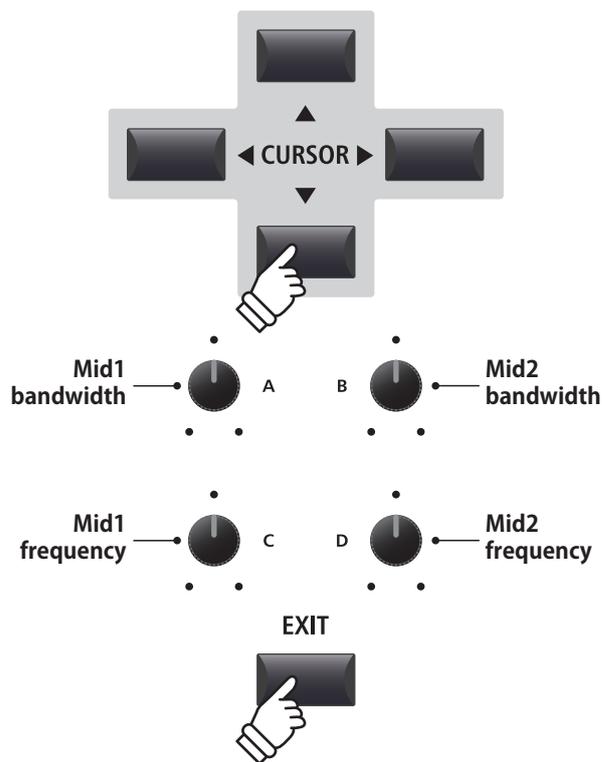
EQのゲイン調整ページが表示されている状態でカーソルボタンの[▼]ボタンを押します。

帯域・周波数設定ページがディスプレイに表示されます。



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+ / YES]ボタンまたは[- / NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整することができます。



[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

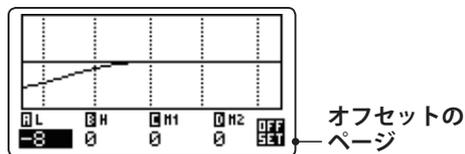
■ EQ Offsetへのショートカット

EQ Offsetはシステムメニューのパラメータで、EQで設定された値を補正(オフセット)する機能です。設定されたEQを変更することなく、システム全体のEQを補正することで、演奏環境に合わせてEQ設定を調整することができます。このショートカット機能により、EQオフセット機能の調整ページに移動することができます。EQ OffsetのON/OFFはシステムメニュー内にあります。

ショートカットの方法：

[EQ]ボタンを長押ししたまま[F1] ~ [F4]ボタンを押します。

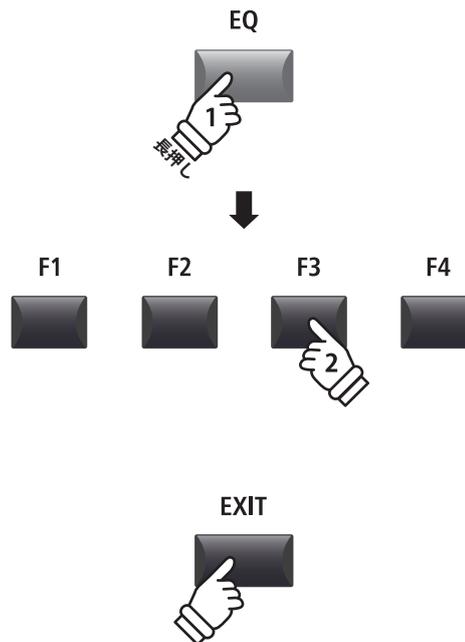
EQ Offsetの画面がディスプレイに表示されます。



EQ OffsetパラメータはEQパラメータの調整方法と同じです。

* EQ Offsetで調整された値はGlobalセクションのEQで設定された値に加算されます。(-10dB ~ +10dBを最大とする)

[EXIT]ボタンを押すとEQ画面に戻ります。
再度[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。



2 Transpose

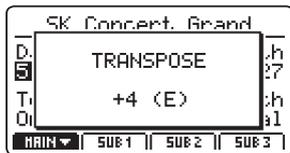
トランスポーズ(移調)機能を使って、本機全体の音程を半音単位で変更することができます。

キー(調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときにとても便利です。弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ トランスポーズ値の設定：方法1

[TRANSCOPE] ボタンを押さえたまま、[-/NO] [+/YES] ボタンを押して、半音単位でトランスポーズ値を増減します。

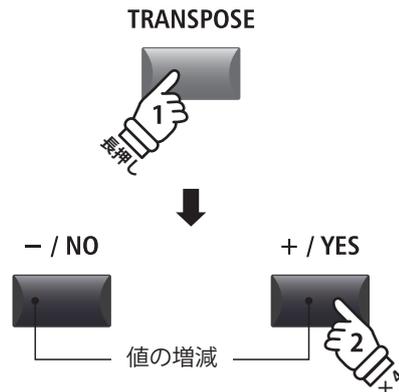
* トランスポーズ値は、-24 ~ +24(4オクターブ)の範囲で設定できません。



[TRANSCOPE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で[-/NO] [+/YES] ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。このとき、[TRANSCOPE] ボタンは自動的に消灯します。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



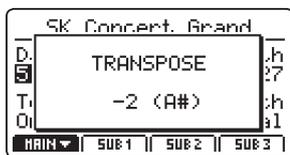
例) 4半音分、移調(上げる)したい場合
[TRANSCOPE] ボタンを長押しし、押したまま [+/YES] ボタンを4回押し、[TRANSCOPE] ボタンを離します。

■ トランスポーズ値の設定：方法2

[TRANSCOPE] ボタンを押さえたまま、中央のC(ド)の左右の鍵盤を押さえます。

押さえた鍵が、新たなトランスポーズ値となります。

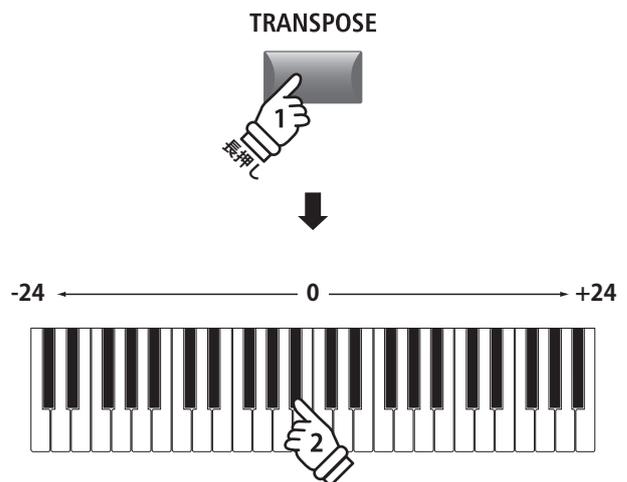
* トランスポーズ値は、-24 ~ +24(4オクターブ)の範囲で設定できません。



[TRANSCOPE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で[-/NO] [+/YES] ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。このとき、[TRANSCOPE] ボタンは自動的に消灯します。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



例) 2半音分、移調(下げる)したい場合
[TRANSCOPE] ボタンを長押しし、押したまま中央のCの下B^b 鍵を押し、[TRANSCOPE] ボタンを離します。

■ トランスポーズのON/OFF

[TRANSPOSE] ボタンを押して、トランスポーズをON/OFFします。

[TRANSPOSE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズがOFFされた後もトランスポーズ値を覚えていますが、[TRANSPOSE] ボタンのON/OFFで簡単に設定した調に切り換えることができます。

TRANSPOSE



TRANSPOSE



LED点灯
トランスポーズON

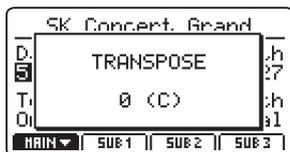
■ トランスポーズの値を表示させる

[TRANSPOSE] ボタンを長押しします。

現在のトランスポーズの値がディスプレイに表示されます。

* 値が0(初期値)のときは、トランスポーズはかかりません。

TRANSPOSE



3 LOCAL OFF (ローカルオフ)

ローカルオフボタンでMP7SEの鍵盤と内部音源の接続をコントロールします。

内部音色のON/OFF設定を変えずに、外部のMIDI機器をコントロールするときなどに便利です。

■ LOCAL OFF 機能

[LOCAL OFF] ボタンのLED	説明
OFF (初期状態)	外部機器と内部音源の両方に鍵盤演奏情報を送ります。
ON	外部機器にのみ鍵盤演奏情報を送り、内部音源は発音しません。

■ ローカルオフ機能のON/OFF

[LOCAL OFF] ボタンを押します。

LEDがローカルオフの状態を表示します。

LOCAL OFFの状態がLCDに表示されます。

LOCAL OFF



LOCAL OFF



LED点灯
ローカルオフ状態



エディットメニューの概要 (INTモード)

エディットメニューには、MP7SEのMAIN/SUB ZONEのINTモード時の設定を変更することができる様々なパラメータがあります。パラメータはカテゴリごとにまとめられており、容易に目的のパラメータにアクセスできます。

* エディットメニューはEXTモードのZONEでも使用することが可能です。(P. 52をご確認ください)

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます(P. 63の「ストアセットアップ」参照)。MP7SEは、 $8 \times 8 \times 4 = 256$ 個のセットアップメモリを用意しています。

■ コモンパラメータ (Eアイコン) について

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、Eアイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。例えば、E Reverb TypeをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEのE Reverb Typeパラメータも変更されます。

■ INTモードのZONEパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	REVERB	E Type, E Pre Delay, E Time, Depth
2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
	AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
3	Sound	E Master Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Portamento, Porta. Time, Porta. Mode tonewheel: Drawbar Position, Percussion, Perc. Level, Perc. Decay, Perc. Harmonic, EWS Ext. Control
4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
5	Key Setup	Touch Curve, Dynamics, Trigger Mode, Minimum Touch, Octave Shift, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Solo, Solo Mode, Key Volume
6	Controllers	Damper Pedal, E Damper Pedal Assign, Damper Pedal Mode, Pitch Bend, P. Bend Range, Soft Pedal Depth, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, SW1 Button, E SW1 Button Assign, SW2 Button, E SW2 Button Assign, Footswitch Pedal, E Footswitch Pedal Assign, Expression Pedal, E Expression Pedal Assign, Right Pedal, E Right Pedal Assign, Center Pedal, E Center Pedal Assign, Left Pedal, E Left Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
8	Virtual Technician	piano: Voicing, String Resonance, Undamped Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Stereo Width e.piano/harpsi/bass: Key-off Noise, Key-off Delay drawbar: Key Click Level, Wheel Noise Level

■ エディットメニューに入る

選択中のZONEがINTモードの状態:

[EDIT] ボタンを押します。

[EDIT] ボタンのLEDが点灯し、選ばれているZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

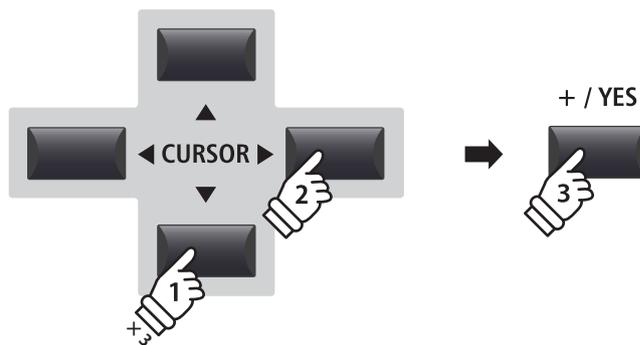
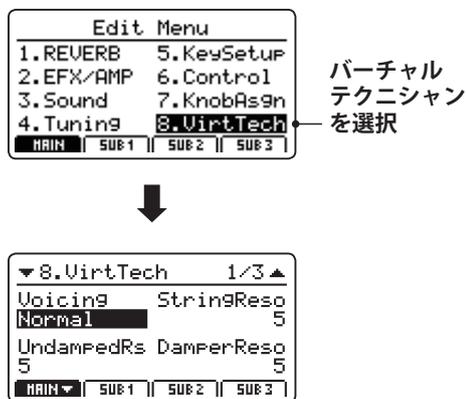


* ZONEを変更するには[F1] ~ [F4] ボタンを押します。

■ パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニュー画面を表示した状態で：

十字カーソルボタンを押して設定したいカテゴリに移動し、[+/YES]ボタンを押してそのカテゴリを選択します。



例) バーチャルテクニシャンカテゴリを選択するには、カーソル[▼]ボタンを3回押し、その後カーソル(▶)を一度押し、[+/YES]ボタンを押します。

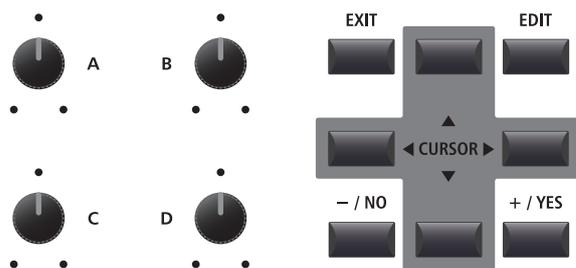
■ パラメータの調整

パラメータのカテゴリを選択した状態で：

各ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整することができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+/YES] [-/NO]ボタンでも調整することが可能です。

[EXIT]ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すとメイン画面に戻ります。



! 他の音色を選ぶと、パラメータの設定内容は失われてしまいますのでご注意ください。
* 設定した内容は、[STORE]ボタンを使って本体のメモリに保存します。(P.62の「STOREボタン」参照)

■ クイックコンペア

選択中のバリエーションボタンを押すと、「クイックコンペア」機能により、エディット中の音色と保存されている元の音色と、即座に比較することができます。

エディットモード中に：

現在調整している音色ボタンを押します。

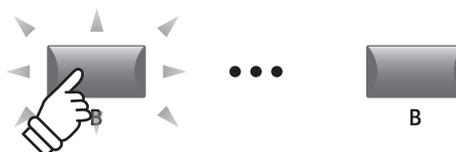
バリエーションボタンのLEDが点滅し、調整前の音色で発音します。



再度バリエーションボタンを押すと点滅が点灯に戻り、調整中の音色で発音します。



例えば、SK Studio Grand (PIANO-1カテゴリ、バリエーションB)の調整中に比較する場合は、バリエーション[B]ボタンを押します。[B]ボタンが点滅し、鍵盤を弾くと、保存されている調整前の音色が発音します。再度、[B]ボタンを押すと、点滅が点灯に戻り、調整中の音色に戻ります。



エディットメニューのパラメータ (INTモード)

1 Reverb (リバーブ)

1. Type (タイプ)

6タイプ

リバーブタイプを選びます。

- * 詳細はP. 25をご確認ください。
- * このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

2. Pre Delay (プリディレイ)

VALUE : 0 ~ 200ms

リバーブの残響効果が開始するまでの遅延時間を調整します。

- * 詳細はP. 25をご確認ください。
- * このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
- * このパラメータはセットアップ(SETUP)にのみ保存され、各音色のリセット(SOUND)には保存されません。

3. Time (タイム)

VALUE : 300ms ~ 10.0s

リバーブの残響時間を調整します。

- * 詳細はP. 25をご確認ください。
- * このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
- * このパラメータはセットアップ(SETUP)にのみ保存され、各音色のリセット(SOUND)には保存されません。

4. Depth (デプス)

VALUE : 0 ~ 127

リバーブの残響効果の深さを調整します。

- * 詳細はP. 25をご確認ください。

2.1 EFX (エフェクト)

1. Category (カテゴリ)

MAIN ZONE : 23カテゴリ
SUB ZONE : 13カテゴリ

エフェクトのカテゴリを選びます。

- * 詳細はP. 26をご確認ください。
- * MAIN ZONEは[EFX1]と[EFX2]の2ページがあります。

2. Type (タイプ)

MAIN ZONE : 129タイプ
SUB ZONE : 22タイプ

エフェクト・タイプを選びます。

- * 詳細はP. 26をご確認ください。
- * MAIN ZONEは[EFX1]と[EFX2]の2ページがあります。

3. Parameters (パラメータ)

N/A

これらのパラメータは、選択されたエフェクト・タイプによって異なります。

エフェクトのかかり具合(Dry/Wet)や、デプス(Depth)、スピード(Speed)、フィードバック(Feedback)などを調整します。

- * 詳細はP. 26をご確認ください。

2.2 AMP(アンプシミュレータ)(MAIN ZONE)

1. Amp Type(アンプ・タイプ)

5タイプ

アンプシミュレータのタイプを選択します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

2. Drive(ドライブ)

VALUE : 0 ~ 127

アンプシミュレータの歪みの量を調整します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

3. Level(レベル)

VALUE : 0 ~ 127

アンプシミュレータの音量を調整します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

4. Amp EQ Lo(アンプEQ低音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの低音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

5. Amp EQ Mid(アンプEQ中音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの中音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

6. Amp EQ Hi(アンプEQ高音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの高音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

7. Mid Frequency(中音域の周波数)

VALUE : 200Hz ~ 3150Hz

AMP EQ Midパラメータの中心周波数を設定します。

* アンプEQはGLOBAL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

8. Mic Type(マイクの種類)

Condenser/Dynamic

アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。

Mic Type	説明
Condenser	周波数レンジが広く、繊細なサウンドが特長で、スタジオレコーディングなどによく使用されます。
Dynamic	中音域の強調されたパワフルなサウンドが特長で、ライブなどによく使用されます。

* 詳細はP.28をご確認ください。

9. Mic Position(マイクの配置)

OnAxis/OffAxis

マイクの配置の違いをシミュレートします。

Mic Position	説明
On Axis	スピーカの中心軸を狙った配置です。中高域が強く出るのが特徴です。
Off Axis	スピーカの中心軸からずらした配置です。滑らかで拡がりがあるのが特徴です。

* 詳細はP.28をご確認ください。

10. Ambience

VALUE : 0 ~ 127

少し離れた場所に置かれたステレオマイクの音をミックスします。音の拡がりや空気感が再現されます。

* 詳細はP.28をご確認ください。

3 Sound

1. Master Volume (マスターボリューム) VALUE : 0 ~ 127

セットアップ全体の音量を設定します。STORE (P. 63) したセットアップを呼び出す際の各セットアップ間の音量バランスを調節します。

* このパラメータは4つのZONE全てに共通です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

3. Filter Cut-off (カットオフ) VALUE : -64 ~ +63

カットオフ周波数を調整します。値を大きくすると、サウンドが明るくなり、値を小さくすると、こもったサウンドになります。

5. DCA Attack Time VALUE : -64 ~ +63

音の立ち上がりの時間を調整します。値を大きくすると立ち上がりの時間が長くなり、音色のアタックが遅くなります。

7. DCA Sustain Level VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を押さえている間に到達する音量レベルを調整します。

9. DCF Attack Time VALUE : -64 ~ +63

フィルタの立ち上がりの時間を調整します。値を大きくするとフィルタの立ち上がりの時間が長くなります。

11. DCF Decay Time VALUE : -64 ~ +63

アタックレベルからサステインレベルまでフィルタが到達する時間を調整します。

13. DCF Release Time VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を離してからカットオフ周波数までの到達時間を調整します。

15. DCA Touch Depth VALUE : -64 ~ +63

タッチによる音量変化の効きを調整します。

2. Panpot (パンポット) VALUE : L64 ~ R63

ステレオの音像の中での左右の定位を調整します。

4. Filter Resonance (レゾナンス) VALUE : -64 ~ +63

カットオフ周波数周辺の倍音の量を調整します。

6. DCA Decay Time VALUE : -64 ~ +63

アタック後のサステインのレベルまで音量が下がる時間を調整します。

8. DCA Release Time VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を離してから音が消えるまでの時間を調整します。

10. DCF Attack Level VALUE : -64 ~ +63

フィルタの立ち上がりの目標レベルを調整します。

12. DCF Sustain Level VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を押さえている間に到達するフィルタのレベルを調整します。

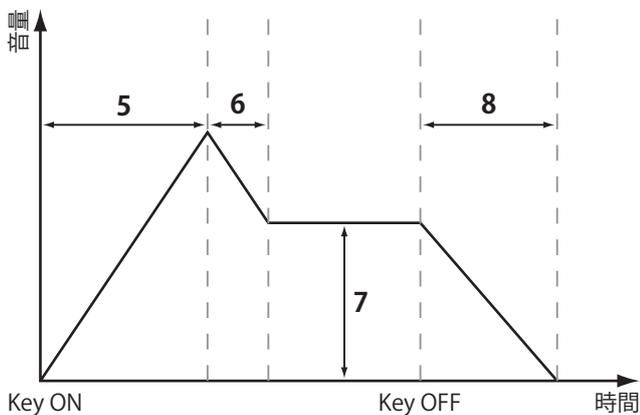
14. DCF Touch Depth VALUE : -64 ~ +63

タッチによるフィルタ変化の効きを調整します。

* トーンホイール音色のエディットメニューではボリューム以外の3.SOUNDのパラメータはありません。

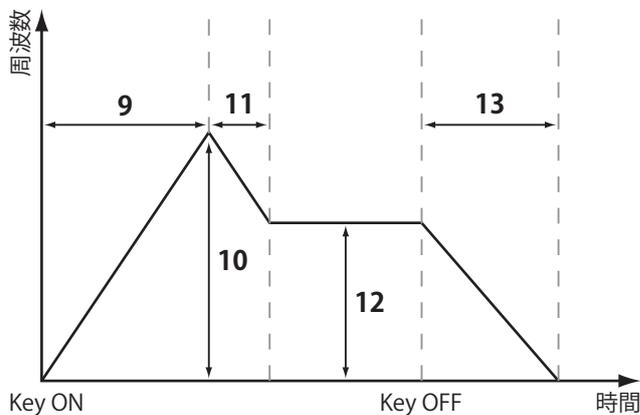
■ DCAパラメータについて

DCA (Digitally Controlled Amplifier) パラメータはエンベロープのボリューム調整に使用します。
下の図はMP7SEのDCAパラメータを示しています。



■ DCFパラメータについて

DCF (Digitally Controlled Filter) パラメータは音色に付加されるローパスフィルタの調整に使用します。
下の図はMP7SEのDCFパラメータを示しています。



16. Vibrate Depth

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートの深さを調整します。

18. Vibrate Delay

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートが始まるまでの時間を調整します。

19. Octave Layer Switch

OFF, ON

SUBセクションの音色に追加するオクターブ音をON/OFFします。

21. Octave Layer Range

VALUE : -2 ~ +2

オクターブレイヤーに使用するオクターブ音のシフト量を設定します。

23. Portamento

OFF, ON

ポルタメント機能をON/OFFします。

ポルタメント：ある音からある音まで滑らかにピッチを変更します。

25. Portamento Mode

Rate, Equal

ポルタメントモードを変更します。

17. Vibrate Rate

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートのスピードを調整します。

20. Octave Layer Level

VALUE : 0 ~ 127

追加されるオクターブ音の音量を調整します。

22. Octave Layer Detune

VALUE : -64 ~ +63

オクターブレイヤーのチューニングを調整します。

24. Portamento Time

VALUE : 0 ~ 127

ポルタメントの時間を設定します。

(ある音からある音へピッチが変わっていく時間を設定します。)

Portamento Mode	説明
Rate	Portament Timeの設定によって音から音へピッチが移動するスピードが変化します。
Equal	Portament Timeの設定にかかわらず、一定のスピードで変化します。

3 Sound (MAIN ZONE, トーンホイールモード)

1. External Control OFF, MIDI CC# MIDI ch

トーンホイールオルガンのドローバー設定を外部MIDIコントロールするかどうかを指定します。"MIDI CC#"または"MIDI CH"に設定したときは、追加のパラメータページが現れ、それぞれのドローバーにCC#またはMIDI CHを割り当てることができます。

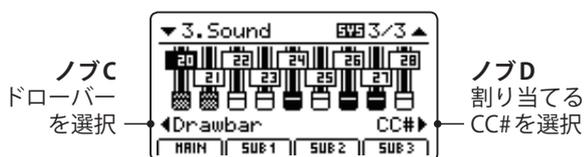
* このパラメータはシステムパラメータですので、本体に自動的に保存されます。
システムパラメータについての詳細はP. 105をご確認ください。

2. MIDI CC# VALUE : CC#0 ~ CC#119

トーンホイールオルガンのドローバーの設定をCC#を使ってコントロールします。

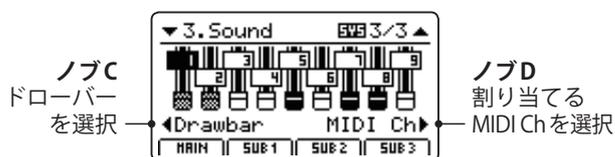
* このパラメータはシステムパラメータですので、本体に自動的に保存されます。
システムパラメータについての詳細はP. 105をご確認ください。

■ MIDI CC# Drawbar Assign VALUE : CC#0 ~ CC#119



ノブCを調整してドローバーを選択し、ノブDを調整してそのドローバーに割り当てるCC#を指定します。

■ MIDI Ch Drawbar Assign VALUE : 01ch ~ 16ch



ノブCを調整してドローバーを選択し、ノブDを調整してそのドローバーに割り当てるMIDI Chを指定します。

4 Tuning (チューニング)

1. Fine Tune

VALUE : -64 ~ +63

セクション間での音程調整を約± 1/2半音の間で設定します。

2. Stretch Tuning (ストレッチチューニング)

9タイプ+5 USER

ストレッチチューニングに関する設定を行います。OFF, Narrow1/2, Normal, Wide1/2/3/4/5の9種類から、選択できます。

また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。

“Normal”は標準的なチューニング、“Wide”はピアノの独奏に適したチューニングです。

* ユーザーストレッチチューニングを設定する方法についてはP. 114をご確認ください。

3. Temperament (音律)

7タイプ+2 USER

音律を選択します。

* USER音律を設定する方法についてはP. 112をご確認ください。

4. Key of Temperament (音律の主音)

RANGE : C ~ B

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。

演奏する曲の調号に合わせます。

* Fine Tuneを除いて、トーンホイール音色を選択しているときはこれらのTuningパラメータは無効です。

■ 音律の種類

種類	内容
Equal Temperament (Equal)	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きを得られるという特徴があります。
Pure Temperament (Pure Maj./Pure Min.)	純正律(長調)。3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律(短調)。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagorean Temperament (Pythagorean)	Pythagorean(ピタゴラス音律)。5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone Temperament (Meantone)	Meantone(中全音律)。3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeister III Temperament (Werkmeis) Kirnberger III Temperament (Kirnberg)	Werkmeister(ヴェルクマイスター第三法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正3度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。 Kirnberger(キルンベルガー第三法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3度が純正に響く調と5度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
User Temperament (Sys.User1/2)	音律を自由に設定することができます。

* User1/2を調整するにはP. 112をご確認ください。

5 Key Setup (キーボードセットアップ)

1. Touch Curve

6タイプ+5 USER

選択した ZONE のタッチカーブを選択します。

- * タッチカーブについての詳細は P. 44 をご確認ください。
- * ユーザータッチカーブの作成については P. 111 をご確認ください。
- * このパラメータはトーンホイールオルガン音色を選択しているときは無効です。

2. Dynamics

VALUE : OFF, 1 ~ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが 10 (初期値) のとき、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。
 値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。
 値を Off にすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

* 詳細は P. 44 をご確認ください。

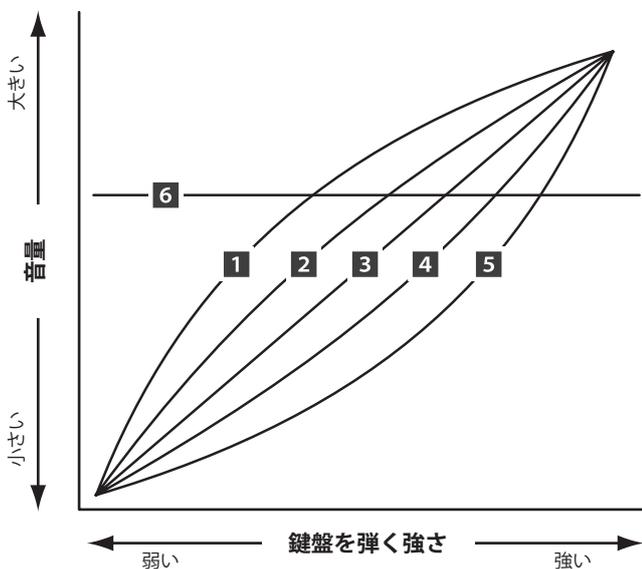
■ タッチカーブの種類

タッチカーブ	No	説明
Light +	1	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
Light	2	オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。
Normal	3	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
Heavy	4	強いタッチでの演奏に向いています。
Heavy +	5	指の力の強い人向けのタッチカーブです。
Off (constant)	6	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
User* (User 1~User 5)	-	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

* ユーザータッチカーブの作成方法は P. 111 をご確認ください。

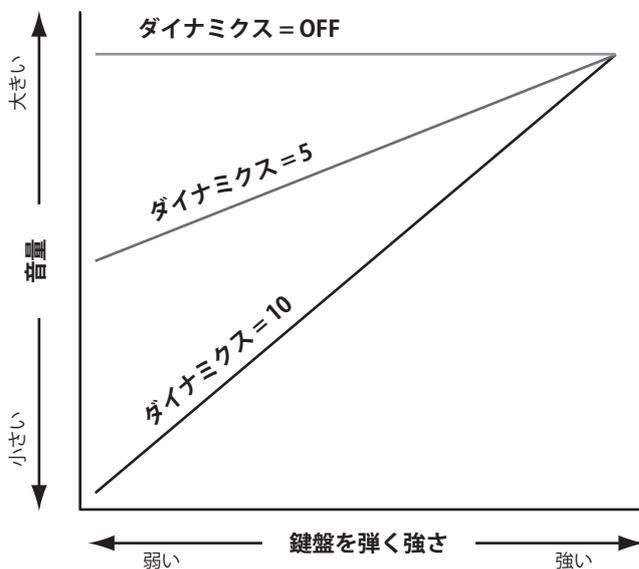
■ タッチカーブのグラフ

このグラフは異なるタッチカーブの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



■ ダイナミクスグラフ

このグラフはダイナミクスの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



3. Trigger Mode

Normal, Fast

鍵盤のどの位置で発音開始するかを設定します。
シンセやオルガンなどはFAST設定が向いています。

Trigger Mode	説明
Normal	通常のポイントで発音します。
Fast	NORMAL設定より早い時点で発音開始します。

* Fastを選択しているときはタッチレスポンス(ベロシティ)が一定になります。タッチレスポンスに関するパラメーター TouchCurve、Dynamics、Min.Touch、VeloSW、VeloSW Valは、アスタリスク(*)が表示され無効となります。

* このパラメータはMAINゾーンのみ設定可能です。MAINゾーンの設定が、全ゾーン共通に効きます。

7. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

キースケーリングとは：

高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

9. Key Range Zone Lo

RANGE : A0 ~ C8

ZONE(鍵域)の低音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

4. Minimum Touch

VALUE : 1 ~ 20

一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

5. Octave Shift

VALUE : -3 ~ +3オクターブ

選択したZONEのオクターブシフト量を設定します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

6. Zone Transpose

VALUE : -12 ~ +12

選択したZONEの移調量を設定します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

8. Key Scaling Key

RANGE : A0 ~ C8

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

10. Key Range Zone Hi

RANGE : A0 ~ C8

ZONE(鍵域)の高音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

5 Key Setup (キーボードセットアップ) (続き)

11/12. Velocity Switch / Velocity Switch Value

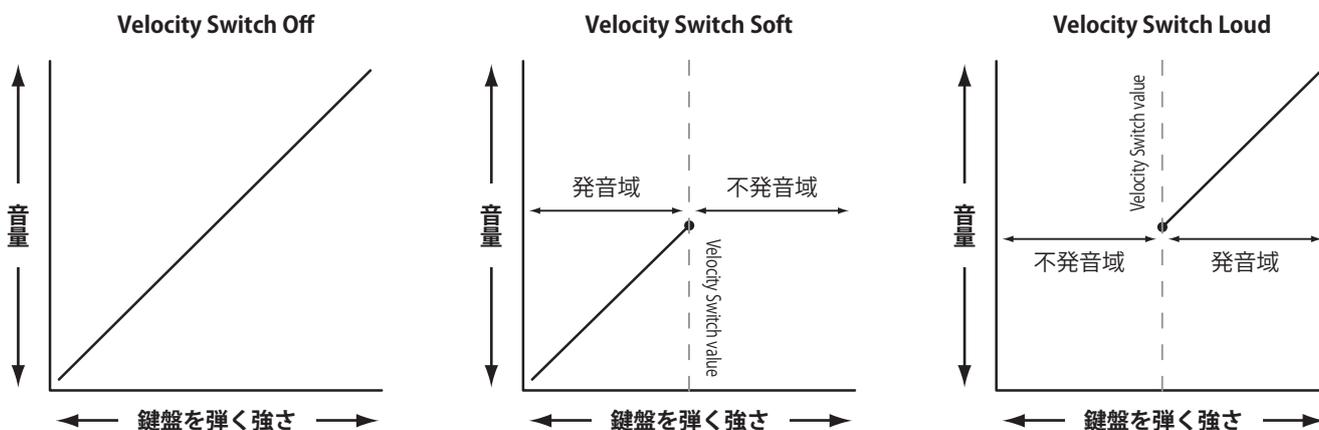
MODE : Off, Soft, Loud / VALUE : 0 ~ 127

ベロシティスイッチのON/OFFとタイプを選択します。

ベロシティスイッチは複数のZONEで音色を重ねるときに有効で、ベロシティ (鍵盤を弾く強さ) による発音域を設定します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

モード	説明
Off	通常(ベロシティスイッチ無し)
Soft	Vel SW Valで設定した値より強く弾いたとき発音します。
Loud	Vel SW Valで設定した値より弱く弾いたとき発音します。



13. Solo

ON, OFF

ソロ(単音発音)モードのON/OFFの設定をします。

ソロモードはモノシンセ音色の演奏を行うときなどに効果的です。

14. Solo Mode

Last, High, Low

ソロ(単音発音)の優先順位のモードを指定します。

モード	説明
Last	押さえた鍵の中で、最後に押さえた鍵の音程を発音します。
High	押さえた鍵の中で、一番高い音程を発音します。
Low	押さえた鍵の中で、一番低い音程を発音します。

15. Key Volume

5タイプ + 5 USER

鍵盤ごとの音量を調整します。オフと4種類のプリセットから選択できます。また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

名称	説明
Off	通常の状態です。
High Damping	上の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
Low Damping	下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
High&Low Damping	上と下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
Center Damping	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
User	88鍵それぞれの音量(88鍵ボリューム)をお好みに調整できます。

* ユーザー 88鍵ボリュームを設定する方法についてはP. 113をご確認ください。

6 Controllers (コントローラー)

1. Damper Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、F-10H ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

3. Damper Pedal Mode

Normal, Hold

ダンパーペダルの効果を選択します。“HOLD”に設定すると、ストリングス等の持続音は減衰せずに発音を保持し続けることができます。

4. Pitch Bend

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

6. Soft Pedal Depth

VALUE : 1 ~ 10

ソフトペダルの効果のかかる強さを調整します。

7. Modulation Wheel

ON, REVERSE, OFF

選択している ZONE の音色に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ホイールを上げるにしたがって小さな値が出力されます。

9. Modulation Depth Range

VALUE : 0 ~ 127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。

600/127cent ステップで変化幅を設定します。

10. SW1 Button

ON, OFF

アサインブルスイッチの [SW1] の動作を許可/禁止の設定をします。

12. SW2 Button

ON, OFF

アサインブルスイッチの [SW2] の動作を許可/禁止の設定をします。

2. Damper Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

F-10H ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

5. Pitch Bend Range

VALUE : 0 ~ 7

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、INT モード (0 ~ 7) と EXT モード (0 ~ 12) で異なります。

8. Modulation Wheel Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

11. SW1 Button Assign

10 functions

[SW1] ボタンに割り当てる機能を設定します。

* このパラメータは全 ZONE で共通です。

13. SW2 Button Assign

10 functions

[SW2] ボタンに割り当てる機能を設定します。

* このパラメータは全 ZONE で共通です。

6 Controllers (コントローラー) (続き)

14. Footswitch Pedal ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、フットスイッチの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

16. Expression Pedal ON, REVERSE, OFF

選択している ZONE の音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ペダルを踏み込むにしたがって出力される値が小さくなります。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

18. Right Pedal ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 ペダルの右ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

20. Center Pedal ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

22. Left Pedal ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

15. Footswitch Pedal Assign 28 functions (MAIN) 18 functions (SUB)

フットスイッチペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

17. Expression Pedal Assign 28 functions (MAIN) 18 functions (SUB)

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

19. Right Pedal Assign 28 functions (MAIN) 18 functions (SUB)

GFP-3 の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ての ZONE 共通です。

21. Center Pedal Assign 28 functions (MAIN) 18 functions (SUB)

GFP-3 の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

23. Left Pedal Assign 28 functions (MAIN) 18 functions (SUB)

GFP-3 の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

■ ペダル・ホイールに割り当て可能な機能

機能
Modulation
Panpot
Expression
Damper
Sostenuto
Soft
Resonance
Cut-off
EFX1 Parameter 1 ~ 10, EFX2 Parameter 1 ~ 10 (main) EFX Parameter 1 ~ 10 (sub)

■ [SW1] [SW2] ボタンに割り当て可能な機能

機能
Octave Layer
Rotary Slow/Fast
Solo
Portamento
Pitch Bend Lock
Modulation Wheel Lock
Center Pedal Lock
Left Pedal Lock
Expression Pedal Lock
Tonewheel Control

7 Knob Assign (ノブアサイン)

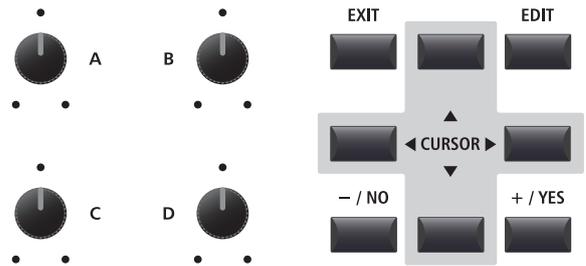
通常の演奏モードでの[A] [B] [C] [D]の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。ノブアサインは、各ZONEごとに2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2=8パラメータまでのコントロールを可能にします。

■それぞれのノブにパラメータを割り当てる

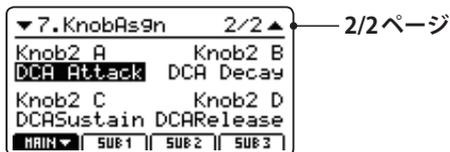
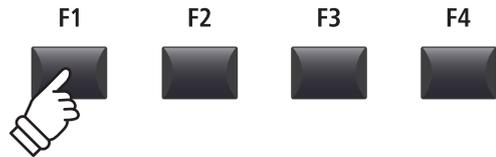
目的のZONEのノブアサイン画面を表示します。

4つのコントロールノブを回して、演奏モードでコントロールしたいエディットモードのパラメータを割り当てます。
(P.36の「INTモードのZONEパラメータ」参照)

パラメータは十字カーソルボタンと[+/YES] [-/NO]ボタンで変更することもできます。



[F1] ([F2] [F3] [F4]) ボタンまたは[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンを押して、第1、第2のノブグループを切り替えることができます。



* 割り当て可能な機能はZONEによって若干異なります。詳細はP.149をご確認ください。

* 演奏モードでのパラメータ調整方法についてはP.24をご確認ください。

■ EFX(エフェクト)パラメータ名の代用語

調整可能なパラメータ名や数はエフェクトごとに異なります。

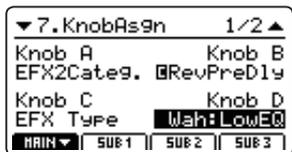
EFXパラメータを4つのノブに割り当てると、選択しているエフェクトに有効なパラメータ名が表示されます。

(下の例ではWah:LowEQが割り当てられています)

この設定の状態と異なるエフェクトに変更した場合、(下の例ではPhaserを選択)ノブに割り当てられたパラメータ番号がない場合があります。(調整可能なパラメータが少なくなった場合)

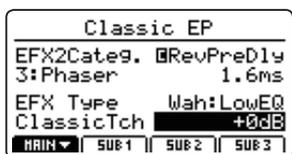
その場合、代替名がディスプレイに表示され、そのノブを使用しても何も起こりません。

ノブアサイン画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQパラメータが割り当てられています。



ノブアサイン画面
エフェクトを変更しLpfPdWahを選ぶとノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されます。(無効なパラメータ)

演奏画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQが表示され、値を調整できます。



演奏画面
エフェクトを変更しLpfPdWahが選ばれておりノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されています。(無効なパラメータ)

8 Virtual Technician (PIANO 音色)

1. Voicing

6タイプ+5 USER

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の6種類の中より選べます。また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

Voicing types

Voicing Type	説明
Normal	通常の設定です。
Mellow 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
Mellow 2	Mellow 1 よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
Dynamic	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
Bright 2	Bright 1 より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
User	任意の鍵盤に対してハンマーフェルト調整が可能になります。

* ユーザー VOICING を設定する方法についてはP.115をご確認ください。

2. String Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ストリングレゾナンスの音量を調整します。

ピアノは各鍵盤ごとに弦が張られていますが、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生し、ピアノ特有の響きが生まれます。これを「ストリングレゾナンス」と呼んでいます。

4. Damper Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ダンパーレゾナンスの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだとき、全てのダンパーが持ち上げられて全ての弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んだ状態で演奏すると、弾いた音だけでなく、他の弦全体の共鳴が発生します。これを「ダンパーレゾナンス」と呼んでいます。

6. Damper Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ダンパーノイズの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだときと、離れたとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

8. Fall-back Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 10

鍵盤を離れた後、鍵盤アクションが戻ったときに発生するノイズ音の音量を調整します。

10. Stereo Width

VALUE : 0 ~ 127

ステレオ音の拡がり具合を調整します。

0にするとモノラルになります。

3. Undamped Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

開放弦レゾナンスの音量を調節します。

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む/踏まないにかかわらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

5. Key-off Effect

VALUE : OFF, 1 ~ 10

キーオフエフェクトの音量を調整します。

特に鍵盤の低音域で、鍵盤を強く弾いて急に離れたときに、弦の振動が止まる直前にダンパーが弦に触れる音が発生します。このキーオフ時の効果音の音量を調整できます。

7. Hammer Delay

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ピアノシモで弾いたときは、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整します。

9. Topboard

Close, Open1, Open2, Open3

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

Virtual Technician (E.PIANO, HARPSICHORD, BASS 音色)

1. Key-off Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 127

エレクトリックピアノ音色選択時、離鍵時にハンマーが戻るときのシミュレート音の大きさを調整します。

ハーブシコード、ベース音選択時、リリース時の音をシミュレートしています。

2. Key-off Delay

VALUE : 0 ~ 127

離鍵時のKey-off Noiseが聞こえるまでの遅延時間を調整します。

Virtual Technician (DRAWBAR 音色)

1. Key Click Level

VALUE : OFF, 1 ~ 127

DRAWBAR 音色を演奏時に付与するキークリック音の音量を調整します。

2. Wheel Noise Level

VALUE : 0 ~ 127

DRAWBAR 音色を演奏時に付与するトーンホイールのノイズの音量を調整します。

実際のトーンホイールオルガンで発生するノイズをシミュレートしたもので、ノイズを加えることでオルガン音色にビンテージの雰囲気ができます。

0に設定することで、ノイズを無くすこともできます。

エディットメニューの概要 (EXTモード)

エディットメニューはEXTモードのZONEでも使用することができます。INTモードと同様に、パラメータはグループごとに分類されており、外部MIDI機器を直接コントロールできるように設計されています。

INTモードと同様に、このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。(P.63の「ストアセットアップ」参照)MP7SEは256個のセットアップメモリを用意しています。

■ コモンパラメータについて (🔲アイコン)

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、🔲アイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。例えば、🔲 Right Pedal AssignパラメータをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEの🔲 Right Pedal Assignパラメータも変更されます。

■ システムパラメータについて (SYSアイコン)

SYSアイコンマークのあるEXTモードのZONEのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。([STORE] ボタンを使う必要がありません)

■ EXTモードのZONEのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	Channel/Program	MIDI Transmitting Channel, Program, Bank MSB, Bank LSB
2	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
3	Transmit SYS	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder, Fader Assign
4	MMC SYS	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands
5	Key Setup	Touch Curve, Dynamics, Trigger Mode, Octave Shift, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Solo, Solo Mode, Transmit Keyboard
6	Controllers	Damper Pedal, 🔲 Damper Pedal Assign, Half Pedal Values, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, Footswitch Pedal, 🔲 Footswitch Pedal Assign, Expression Pedal, 🔲 Expression Pedal Assign, Right Pedal, 🔲 Right Pedal Assign, Center Pedal, 🔲 Center Pedal Assign, Left Pedal, 🔲 Left Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign

■ エディットメニューに入る

ZONEをEXTモードに設定した状態で：

[EDIT] ボタンを押します。

モードに入ると [EDIT] ボタンのLEDが点灯し、選択されたZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

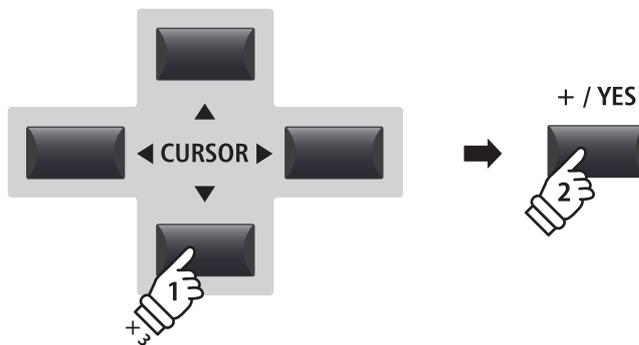
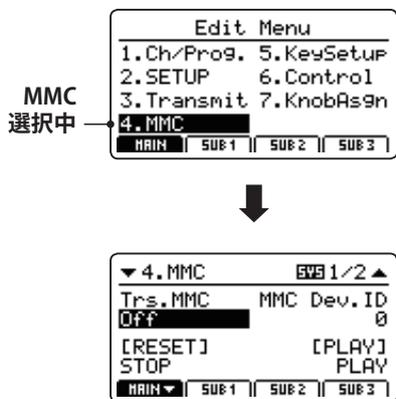


* ZONEを変更するには [F1] ~ [F4] ボタンを押してください。

■ パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニューが表示された状態で：

カーソルボタンで所望のカテゴリを選択し[+ / YES]ボタンを押してカテゴリを選択します。



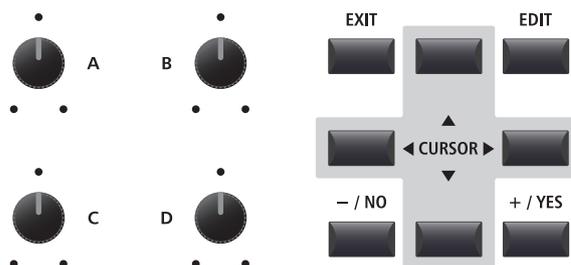
例) MMCカテゴリに入るには、カーソル[▼]ボタンを3度押し、その後[+ / YES]ボタンを押します。

■ パラメータの調整

パラメータが表示された状態で：

各ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整することができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+ / YES] [- / NO]ボタンでも調整することが可能です。



[EXIT]ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すと通常演奏画面に戻ります。



エディットメニューのパラメータ (EXTモード)

1 Channel/Program

1. MIDI Transmitting Channel VALUE : 01Ch ~ 16Ch

選択されているゾーンのMIDI送信チャンネルを指定します。

* 初期設定ではSUB2がCh01、SUB3はCh02に設定されています。
MAINはCh03、SUB1はCh04に設定されています。

* 指定されているMIDIチャンネルと接続されているMIDI機器の受信チャンネルを合わせてください。

2. Program VALUE : 1 ~ 128

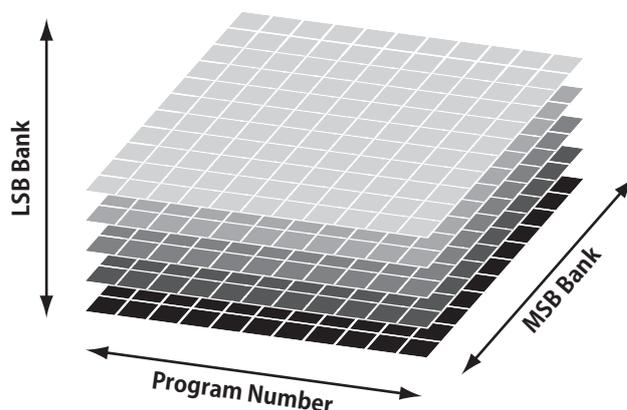
セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。外部MIDI機器で選択したい音色に対応したプログラム番号を選択してください。

3/4. Bank MSB/Bank LSB VALUE : 0 ~ 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位(MSB)と下位(LSB)を設定します。

MIDI規格は128のプログラム番号を用意していますが、バンク番号により、そのスペースを拡張することができます。

* バンク、プログラム番号の詳細については、接続されたMIDI機器の取扱説明書を参照してください。



2 SETUP

1. Send Program ON, OFF

セットアップを選択したとき、プログラム・チェンジを送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器の音色を変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

2. Send Bank ON, OFF

セットアップを選択したとき、バンク番号(MSB, LSB)を送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

プログラム・チェンジ送信する際、外部MIDI機器のバンクを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

3. Send Volume ON, OFF

セットアップを選択したとき、ボリューム・メッセージを送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器のボリュームを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのボリューム・フェーダーを動かしたときはボリュームメッセージが送信されます。

4. Send Knobs ON, OFF

セットアップを選択したとき、コントロールノブの設定を送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのコントロールノブを動かしたときは各メッセージが送信されます。

■ システムメニュー内のセットアップパラメータについて

上記の送信パラメータはシステムメニュー内MIDIカテゴリのSETUP PROGRAM, BANK, Volume, KnobパラメータがONになっていないと効きません。

システムメニュー内のSETUPパラメータがOFFにセットされるとき、関係しているパラメータの横にアスタリスク(*)が表示され、無効となります。

アスタリスク
パラメータは
システムメニューで
OFFになっているため
無効です。



3 Transmit

Transmitカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存するため、それぞれのSETUPにSTORE(保存)する必要はありません。

1. Transmit System Exclusive ON, OFF

外部のMIDI機器にシステムエクスクルーシブ(SYSEX)データを送信するかどうかを設定します。

* System Exclusive データについての詳細はP. 140をご確認ください。

2. Transmit Recorder ON, OFF

内部に録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定します。

3. Fader Assign CC#0 ~ CC#119, AfterTouch

EXTモードZONEの4つのフェーダーに、お好みのコントロールチェンジ番号やAfterTouchメッセージを割り当てることができます。

* 工場出荷時の初期値はCC#7(ボリューム)に設定されています。

* FaderAssignはシステムパラメータですので、SETUPごとに切り替えることはできません。

4 MMC

MMCカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存するため、それぞれのSETUPにSTORE(保存)する必要はありません。

1. Transmit MMC ON, OFF

外部のMIDI機器にMP7SEのレコーダーコントロールボタンでMMC(MIDI Machine Control)を送信するかどうかを設定します。

2. MMC Dev. ID VALUE : 0 ~ 127

MMC(MIDIMachineControl)のデバイスIDを決定します。

3. MMC Commands 13 MMC COMMANDS, 3 REALTIME COMMANDS

MMCやリアルタイムコマンドを6つのレコーダーコントロールボタンに割り当てます。

* 初期値では、主要なMMCコマンドはレコーダーセクションのボタンに割り当てられています。

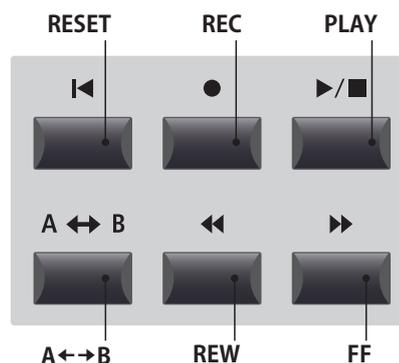
■ 割り当て可能なレコーダー制御コマンド

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

Realtime Commands	
FA	Realtime START
FB	Realtime CONTINUE
FC	Realtime STOP

■ レコーダ制御ボタン

下の絵は6つのレコーダー制御ボタン名を示しています。:



5 Key Setup (キーボードセットアップ)

1. Touch Curve

6タイプ+5 USER

選択した ZONE のタッチカーブを選択します。

- * タッチカーブについての詳細は P. 44 をご確認ください。
- * ユーザータッチカーブの作成については P. 111 をご確認ください。
- * このパラメータはトーンホイールオルガン音色を選択しているときは無効です。

3. Trigger Mode

Normal, Fast

鍵盤のどの位置で発音開始するかを設定します。

シンセやオルガンなどは FAST 設定が向いています。

Trigger Mode	説明
Normal	通常のポイントで発音します。
Fast	NORMAL 設定より早い時点で発音開始します。

- * Fast を選択しているときはタッチレスポンス(ベロシティ)が一定になります。タッチレスポンスに関するパラメーター TouchCurve、Dynamics、VeloSW、VeloSW Val は、アスタリスク(*)が表示され無効となります。
- * このパラメータは MAIN ゾーンのみ設定可能です。MAIN ゾーンの設定が、全ゾーン共通に効きます。

6. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能を On/Off します。

キースケーリングとは：

高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

8. Key Range Zone Lo

RANGE : A0 ~ C8

ZONE (鍵域) の低音側の鍵盤を指定します。

- * Key Range についての詳細は P. 22 をご確認ください。

2. Dynamics

VALUE : OFF, 1 ~ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが 10 (初期値) のとき、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。

値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。

値を Off にすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

- * 詳細は P. 44 をご確認ください。

4. Octave Shift

VALUE : -3 ~ +3 オクターブ

選択した ZONE のオクターブシフト量を設定します。

5. Zone Transpose

VALUE : -12 ~ +12

選択した ZONE の移調量を設定します。

7. Key Scaling Key

RANGE : A0 ~ C8

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。

この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

9. Key Range Zone Hi

RANGE : A0 ~ C8

ZONE (鍵域) の高音側の鍵盤を指定します。

- * Key Range についての詳細は P. 22 をご確認ください。

10/11. Velocity Switch / Velocity Switch Value

MODE : Off, Soft, Loud / VALUE : 0 ~ 127

ベロシティスイッチのON/OFFとタイプを選択します。

ベロシティスイッチは複数のZONEで音色を重ねるときに有効で、ベロシティ (鍵盤を弾く強さ) による発音域を設定します。

モード	説明
Off	通常(ベロシティスイッチ無し)
Soft	Vel SW Valで設定した値より強く弾いたとき発音します。
Loud	Vel SW Valで設定した値より弱く弾いたとき発音します。

* Velocity Switchについての詳細はP. 46をご確認ください。

12. Solo

ON, OFF

ソロ(単音発音)モードのON/OFFの設定をします。

ソロモードはモノシンセ音色の演奏を行うときなどに効果的です。

13. Solo Mode

Last, High, Low

ソロ(単音発音)の優先順位のモードを指定します。

モード	説明
Last	押さえた鍵の中で、最後に押さえた鍵の音程を発音します。
High	押さえた鍵の中で、一番高い音程を発音します。
Low	押さえた鍵の中で、一番低い音程を発音します。

14. Transmit Keyboard

ON, OFF

鍵盤のON/OFFイベントをMIDI送信するかどうかを設定します。

6 Controllers (コントローラー)

1. Damper Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、F-10H ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

2. Damper Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

F-10H ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

3. Half Pedal Values

Normal, High, Low, Mid High, Mid Low

選択している ZONE でのハーフペダルを送信するレンジを決定します。

外部音源を制御する際、ダンパーペダルの効きはじめのポイントが機器によって異なる場合に便利です。

タイプ	値	説明
Normal (初期状態)	0 ~ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって 0 ~ 127 の値を出力します。
High	0, 64 ~ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 64 ~ 127 までの値を出力します。
Low	0 ~ 63, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって 0 ~ 63 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。
Mid High	0, 50 ~ 100, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 50 ~ 100 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。
Mid Low	0, 25 ~ 75, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 25 ~ 75 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。

4. Pitch Bend

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

5. Pitch Bend Range

VALUE : 0 ~ 12

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、INT モード (0 ~ 7) と EXT モード (0 ~ 12) で異なります。

6. Modulation Wheel

ON, REVERSE, OFF

選択している ZONE に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ホイールを上げるにしたがって小さな値が出力されます。

7. Modulation Wheel Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

8. Modulation Depth Range

VALUE : 0 ~ 127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。600/127cent ステップで変化幅を設定します。

9. Footswitch Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、フットスイッチの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

11. Expression Pedal

ON, REVERSE, OFF

選択している ZONE の音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ペダルを踏み込むにしたがって出力される値が小さくなります。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

13. Right Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 ペダルの右ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

15. Center Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

17. Left Pedal

ON, OFF

選択している ZONE の音色に対して、GFP-3 の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについては P. 16 をご確認ください。

10. Footswitch Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

フットスイッチペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

12. Expression Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

14. Right Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ての ZONE 共通です。

16. Center Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

18. Left Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全 ZONE 共通です。

7 Knob Assign (ノブアサイン)

通常の演奏モードでの[A] [B] [C] [D]の4つのコントロールノブに、お好みのコントロールチェンジ番号やAfterTouchメッセージを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。

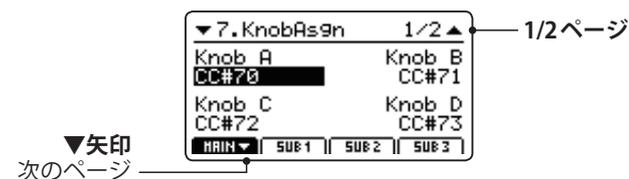
ノブアサインは、各ZONEごとに2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2(ページ)=8パラメータのコントロールが可能です。

■ ノブにパラメータを割り当てる

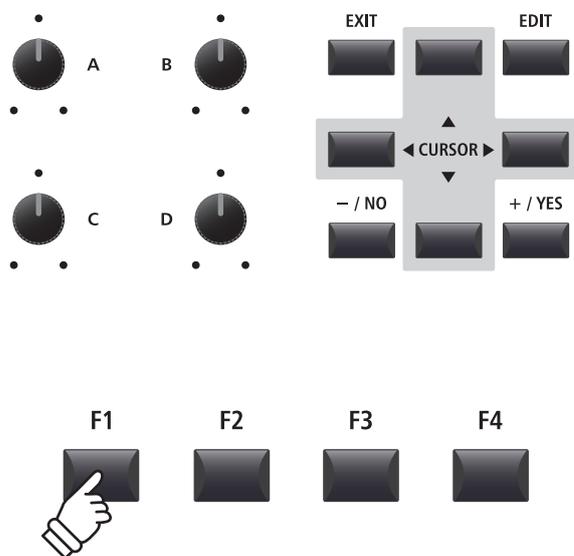
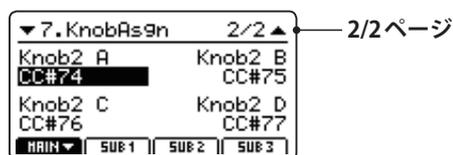
目的のZONEのKnob Assign画面で：

4つのコントロールノブを操作して、希望するCC#をそれぞれのノブに割り当てます。

割り当てるMIDI CCメッセージはカーソルボタンと[+/YES] [-/NO]ボタンでも変更できます。



[F1] ~ [F4] ボタンを押すと該当するZONEが選択され、もう一度押すとページが切り替わります。



* 詳細はP.24をご確認ください。

エディットメニューの概要 (BOTHモード)

ZONEがBOTHモードに設定されているとき、エディットメニューはINTモードとEXTモードのパラメータが混在した状態で表示されます。

最初の8個のカテゴリはINTモードのパラメータ、後ろの4個のカテゴリはEXTモードのパラメータです。

* INTモードとEXTモードのパラメータの詳細についてはP. 36とP. 52をご確認ください。

INT/EXTモードで設定した方法と同様に、セットアップメモリに保存できます。(P. 63の「ストアセットアップ」参照)MP7SEは256個のセットアップメモリを用意しています。

■ コモンパラメータについて (🔲アイコン)

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、🔲アイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。例えば、🔲 Right Pedal AssignパラメータをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEの🔲 Right Pedal Assignパラメータも変更されます。

■ システムパラメータについて (🔲🔲アイコン)

🔲🔲アイコンマークのあるEXTモードのZONEのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。([STORE] ボタンを使う必要がありません)

■ BOTHモードのZONEのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ	
INTモード	1	REVERB	🔲 Type, 🔲 Pre Delay, 🔲 Time, Depth
	2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
		AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
	3	Sound	Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Portamento, Porta. Time, Porta. Mode tonewheel: Drawbar Position, Percussion, Perc. Level, Perc. Decay, Perc. Harmonic, Volume, 🔲 External Control
	4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
	5	Key Setup	Touch Curve, Dynamics, Trigger Mode, Minimum Touch, Octave Shift, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Solo, Solo Mode, Key Volume
	6	Controllers	Damper Pedal, 🔲 Damper Pedal Assign, Damper Pedal Mode, Pitch Bend, P. Bend Range, Soft Pedal Depth, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, SW1 Button, 🔲 SW1 Button Assign, SW2 Button, 🔲 SW2 Button Assign, Footswitch Pedal, 🔲 Footswitch Pedal Assign, Expression Pedal, 🔲 Expression Pedal Assign, Right Pedal, 🔲 Right Pedal Assign, Center Pedal, 🔲 Center Pedal Assign, Left Pedal, 🔲 Left Pedal Assign
	7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
8	Virtual Technician	piano: Voicing, String Resonance, Undamped Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Stereo Width e.piano/harpsi/bass: Key-off Noise, Key-off Delay drawbar*: Key Click Level, Wheel Noise Level	
EXTモード	9	Ch/Program	MIDI Transmitting Channel, Program*, Bank MSB*, Bank LSB*
	10	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
	11	Transmit 🔲🔲	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder
	12	MMC 🔲🔲	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands

* ZONEがBOTHモードに設定されている状態ではProgram、Bank MSB、Bank LSBパラメータは調整できません。

* Send Program, Send Bank(P. 54)をOnに設定すると、内部音色を選択したときにProgram, BankメッセージをMIDI送信します。

STORE ボタンの概要

エディットメニューとコントロールノブを使って調整した音色の設定は、[STORE(ストア)] ボタンで内部メモリに保存できます。

他の音色を選択したり、電源OFFを行うと、調整した音色の設定は失われてしまいますので、必要な設定は[STORE] ボタンを使って保存してください。

[STORE] ボタンには、各音色ごとの設定(SOUND)、パネル全体の設定(SETUP)、電源オン時のパネルの設定(POWERON)のそれぞれを保存する3つの機能があります。

■ STORE ボタンの機能

機能	説明
SOUND	各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色のエディットメニューの設定*を保存します。
SETUP	選択したセットアップメモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。
POWERON	電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

* コモンパラメータは除きます。コモンパラメータについての詳細はP.36をご確認ください。

1 STORE SOUND(ストアサウンド)

各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の(コモンパラメータを除く)エディットメニューの設定を保存します。

1. STORE(ストア)画面へ入る

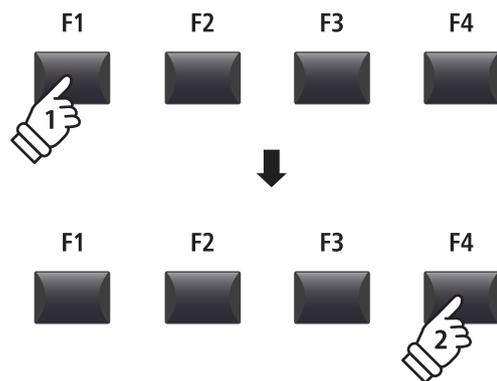
[STORE] ボタンを押してボタンを点灯させます。
LEDが点灯し、ディスプレイにSTORE(ストア)画面が表示されます。



2. STORE SOUND(ストアサウンド)機能を選ぶ

[F1] ボタン(SOUND)を押してSTORE SOUND(ストアサウンド)機能を選びます。

* MIDIセクションが選ばれている場合は、[F1] (SOUND) ボタンは表示されません。



[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



3. STORE SOUND(ストアサウンド)を実行する

[+]/YES または [F2] を押すと、選択したセクションのサウンドに保存されます。

[-]/NO ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE(ストア)画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでの音色の設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 STORE SETUP(ストアセットアップ)

ストアセットアップはそれぞれのZONEのエディットメニューのパラメータ設定、各ZONEのボタン、ノブの状態、EQの設定を256個のセットアップメモリに保存します。

1. STORE(ストア)画面へ入る

[STORE]ボタンを押してボタンを点灯させます。

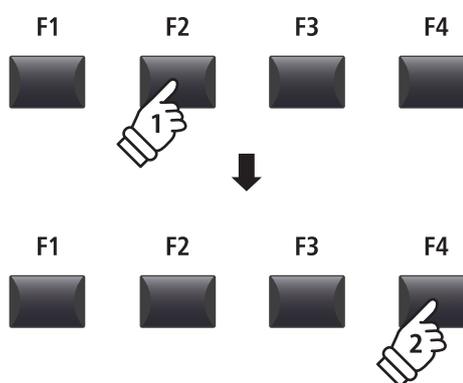
ディスプレイにSTORE(ストア)画面が表示されます。



2. STORE SETUP(ストアセットアップ)機能を選ぶ

[F2] (SETUP)ボタンを押してSTORE SETUP(ストアセットアップ)機能を選びます。

[F4] (EXEC)ボタンを押すと、ディスプレイにセットアップ名編集画面が表示されます。



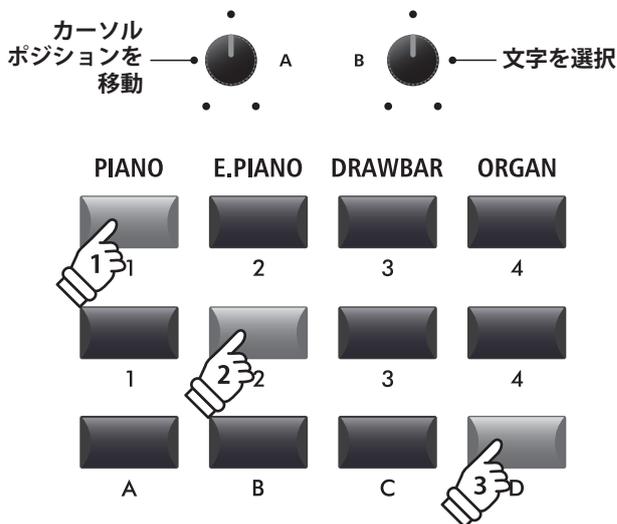
3. セットアップ名を編集し、保存先を指定する

ノブ[A][B]を使って、セットアップ名を編集します。

音色ボタンを押して、保存先を指定します。



[F4]ボタン(EXEC)を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



例) セットアップメモリ1-2Dを選択するには、音色カテゴリの[PIANO]ボタンを押し、サブカテゴリの[2]ボタンを押し、最後にバリエーションの[D]ボタンを押します。

4. STORE SETUP(ストアセットアップ)を実行する

[+]/YESまたは[F2]ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-]/NOボタンまたは[F3]ボタンを押すと、STORE(ストア)画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのセットアップの設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。ご注意ください。



3 STORE POWER ON (ストアパワーオン)

電源オン時の設定として、4つのゾーンのボタンの状態、EQの設定を保存します。

* 電源オン時の設定として保存される音色の設定は、“SK Concert Grand”などのSOUNDの種類のみです。String Resonanceなどの各SOUNDのEDITメニューの内容は保存されませんのでご注意ください。

1. STORE (ストア) 画面へ入る

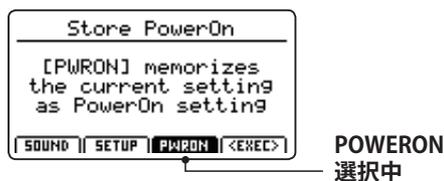
[STORE] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

ディスプレイにSTORE (ストア) 画面が表示されます。

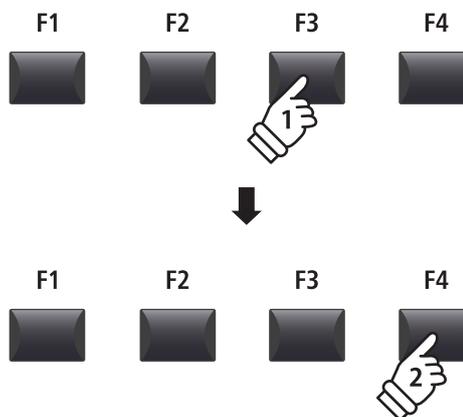
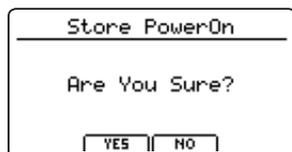


2. STORE POWERON (ストアパワーオン) 機能を選ぶ

[F3] (POWERON) ボタンを押してSTORE POWERON (ストアパワーオン) 機能を選びます。



[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



3. STORE POWERON (ストアパワーオン) を実行する

[+/YES] または [F2] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE (ストア) 画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのパワーオン設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。ご注意ください。

* 電源オン時の設定として保存される音色の設定は、“SK Concert Grand”などのSOUNDの種類のみです。String Resonanceなどの各SOUNDのEDITメニューの内容は保存されませんのでご注意ください。全ての設定を保存したい場合は、選択されているSOUNDをそれぞれ保存してください。(P.62参照)



セットアップメモリ

MP7SEではZONEに割り当てた音色やその設定、各種パラメータの設定やEQ設定等をセットアップに保存しておき、いつでもすぐ呼び出すことができます。

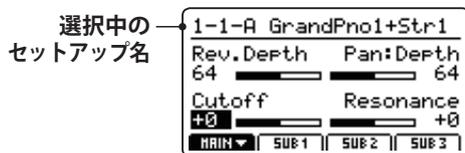
セットアップは8 x 8 x 4の構造に配置され、合計256個のセットアップを保存可能です。

このページではセットアップモードを選択しセットアップメモリを呼び出す方法について説明します。

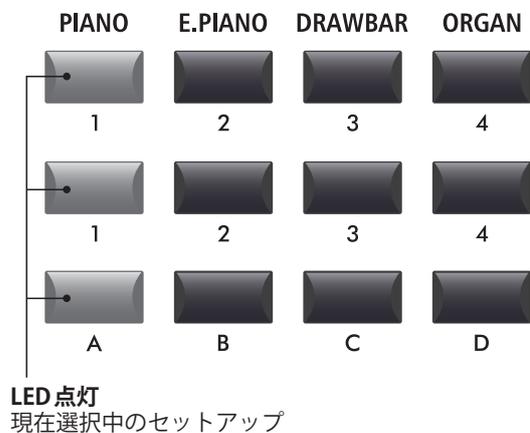
■ セットアップモードをONにする

[SETUP]ボタンを押します。

LEDが点灯し、選択中のセットアップメモリを示します。また、ディスプレイにも選択中のセットアップ名が表示されます。



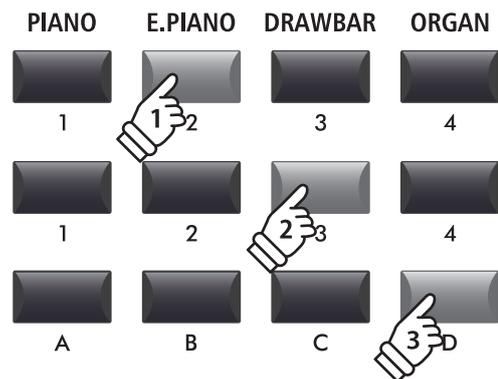
* セットアップセクションをONにすると、前回選択したセットアップメモリが自動的に呼び出されます。



■ セットアップを選ぶ

セットアップモードがONの状態です。

セットアップメモリボタンを押して目的のセットアップを選択します。



例) セットアップメモリ2-3Dを選択するには、音色カテゴリの[E.PIANO]ボタンを選択し、次にサブカテゴリの[3]ボタンを選択し、最後にバリエーションの[D]ボタンを押します。

レコーダーについて

MP7SEは自分の演奏を本体に録音したり、USBメモリに直接録音(保存)することができます。

■ MP7SE レコーダー仕様

	MIDIレコーダー (内部メモリ)	オーディオレコーダー (USBメモリ)
保存フォーマット	SMF (MIDI)	MP3/WAV(オーディオ)
最大曲サイズ	約90,000音	(USBメモリの容量による)
最大曲数	10ソング	(USBメモリの容量による)
使用例	アイディアスケッチ、パフォーマンスの録音、コンピュータでの編集等	友人へのe-mail送信、オーディオCD作成等
再生方法	MP7SE本体で再生/外部MIDI機器で再生	MP7SE本体で再生/オーディオプレイヤー等で再生
テンポ調整	有り	無し
オーバーダビング	無し	有り
データ変換	MP3/WAVに変換録音可	—

■ レコーダー画面へ入る

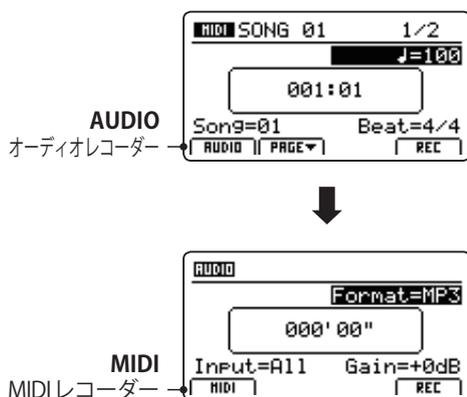
[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。



■ レコーダーモードを選ぶ

[F1] ボタンを押して、MIDIレコーダーと、オーディオレコーダーを切り替えます。



* レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていれば、自動的にUSBオーディオレコーダーが選択されます。

* レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていなければ、自動的に内部MIDIレコーダー選択されます。

■ USB機能

USBメモリに保存されたファイルの消去(Delete)やファイル名変更(Rename)は、USBメニューで行うことができます。(P. 97「USBメニューについて」参照)

MIDI レコーダー (内部メモリ)

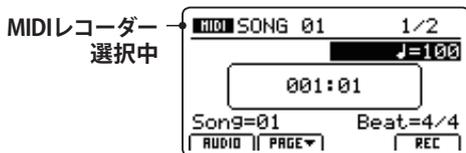
MP7SEのMIDIレコーダーは内部メモリに10曲まで録音することができます。録音した曲はSMF(Standard MIDI File)として、またはMP3/WAV形式に変換してUSBメモリに保存することができます。

1 内部メモリに録音する

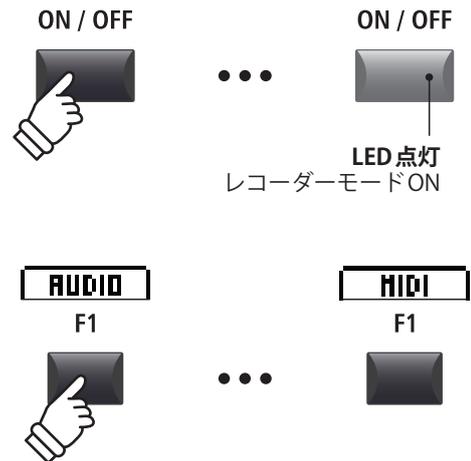
1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにはMIDIレコーダー画面が表示されます。



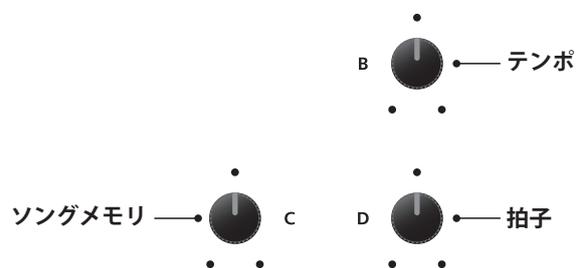
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン(MIDI)を押して、MIDIレコーダー機能を選びます。



2. ソングメモリを選び、テンポ、ビートを選択する

ノブ[C]を回して新しく録音するソングメモリを選びます。

- * 10曲の内部メモリが用意されています。
- *すでに選択したソングメモリに何か録音されていた場合は自動的に消去され、新たなデータが録音されます。
- *リズムパターン/メトロノームを使つての録音に関してはP.95をご確認ください。

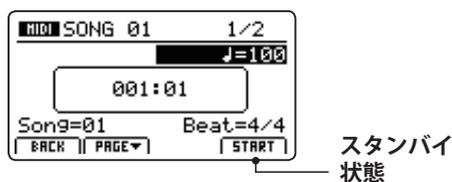


3. 録音の準備

[●]ボタン(REC)を押します。

[●]ボタン(REC)が点滅し、録音スタンバイ状態を示します。

*レコーダー画面で[F4]ボタンを押すことでも録音スタンバイ状態に入れます。

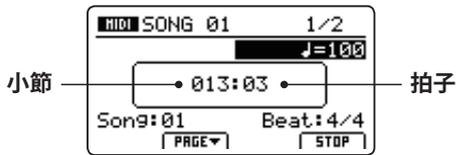


1 内部メモリに録音する (続き)

4. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき [●] (REC) ボタンと [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が点灯します。

録音が始まると録音時間の表示が進みます。



- * 録音待機状態から、[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押すことでも、録音が始まります。
- * [METRONOME] ボタンを点灯させている場合、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。詳細はP.95をご確認ください。

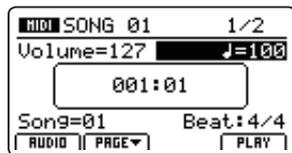
5. 録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

- * [F4] ボタンを押すことでも録音をとめることができます。

録音を停止するとMIDI再生画面が表示されます。



録音されたデータの再生に関してはP.69をご確認ください。



- * 最大録音容量は約90000音です。
- * 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
- * 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。
- * レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

2 MIDIソングを再生する

内部メモリに保存されたMIDIソングを再生します。録音直後に再生する場合はステップ3から始めてください。

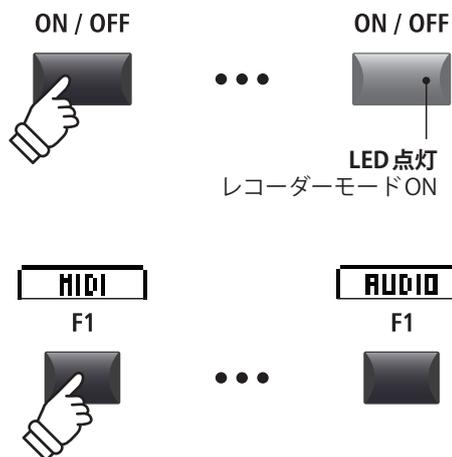
1. MIDIレコーダ画面に入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダ機能がONになり、ディスプレイにレコーダ画面が表示されます。



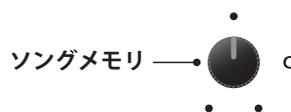
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン(MIDI)を押して、MIDIレコーダ機能を選びます。



2. 再生するソング(曲)を選択する

ノブ[C]を回し、再生するソングメモリを選ぶ。

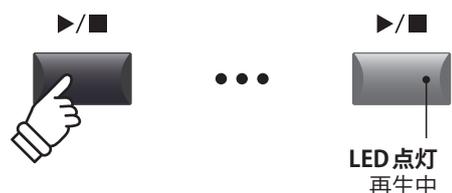
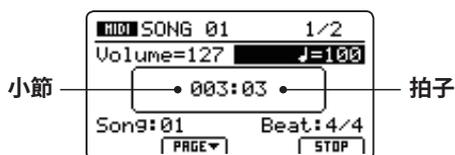
* 再生中はソングの選択はできません。



3. 曲を再生する

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押すと、[▶/■]ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* [F4]ボタンを押すことでも再生を開始できます。



■ 再生音量とテンポの調整

ノブ[A]及び[B]を回して再生の音量と曲のテンポを変更できます。

* 音量とテンポは再生中にも変更可能です。



■ 再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。

* 再生箇所は再生中にも移動可能です。



2 MIDIソングを再生する(続き)

4. 曲を停止する

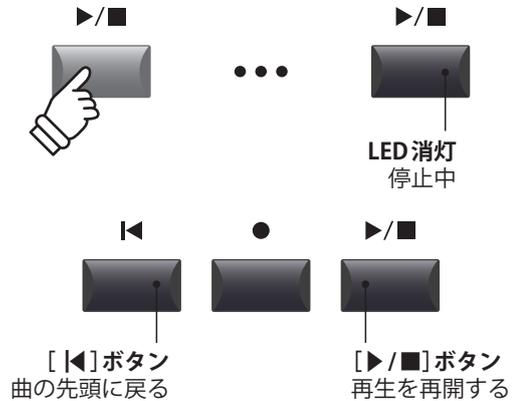
曲を再生している状態で：

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。

再び[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押すと、停止した位置から再生を開始します。[◀]ボタンを押すと曲の先頭に戻ります。

* [F4] ボタンを押して再生を停止、曲の先頭に戻ることができます。



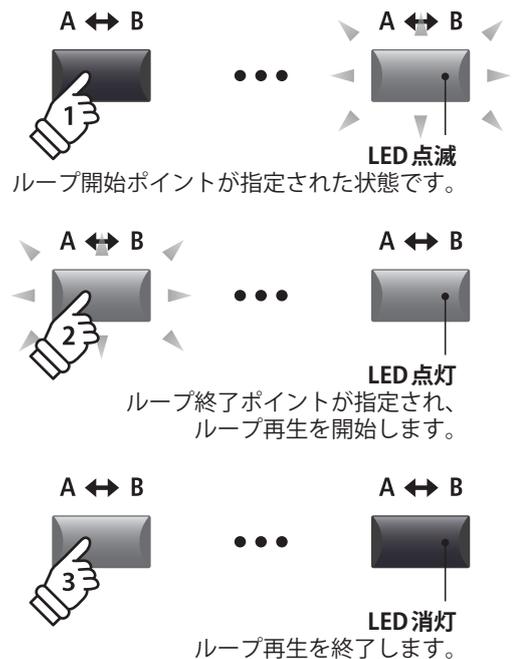
■ A-Bリピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[A↔B]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点滅します。

再度[A↔B]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A↔B]ボタンを押すと、[A↔B]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

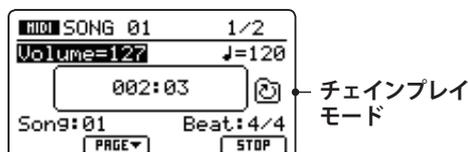


■ 連続再生(チェインプレイ)モード

レコーダーに保存された曲を連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を長押しします。

チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



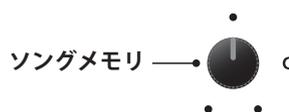
3 SMF形式で保存する

録音したMIDIソングを、SMF(Standard MIDI File)形式でUSBメモリに保存します。

1. 曲を選択する

レコーダーモードをONにして、曲を録音した後：

ノブ[C]を回してUSBメモリに保存したいソングを選びます。



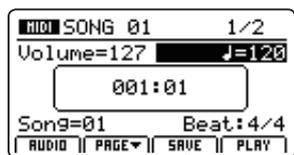
2. USBメモリを接続する

USBポートにUSBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

メモリが認識されると、[F3]ボタン(SAVE)がディスプレイに表示されます。

* このSAVEボタンは、すでに曲がメモリに録音されているときのみ表示されます。

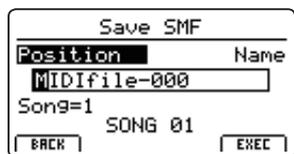
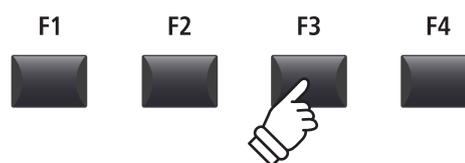


SAVE機能

3. 保存する

[F3]ボタン(SAVE)を押します。

ディスプレイにSave SMF画面が表示されます。



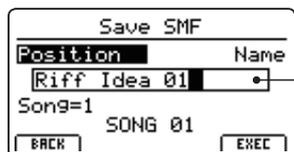
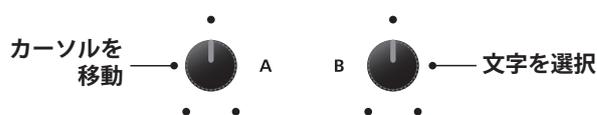
* 使用できる文字一覧はP.99を参照してください。

4. ファイル名を入力する

ノブ[A][B]を回してファイル名を入力する。

* ファイル名は18文字が最大です。

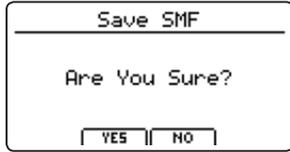
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。



3 SMF形式で保存する（続き）

5. 保存を実行する

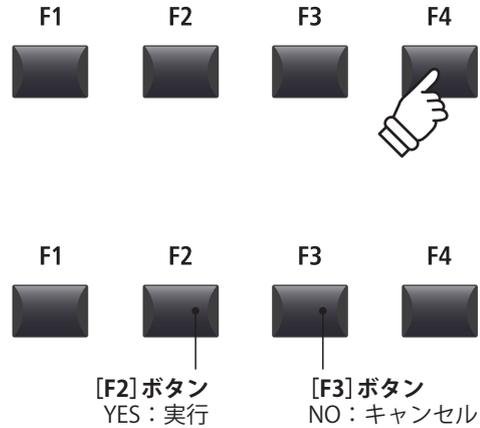
[F4] ボタン (EXEC) を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



[+ / YES] または [F2] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[- / NO] ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE (ストア) 画面に戻ります。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



4 SMFを内部メモリへLOAD(ロード)する

USBメモリのSMFを内部メモリへLOAD(ロード)します。

■ USBメモリの準備

まず、用意したSMFをUSBメモリへコピーします。



1. 空いている内部メモリを選択する

レコーダーモードをONにした状態で：

ノブ[C]を回して空きソングを選択します。

*すでに録音済みのソングを選択し、上書きすることも可能です。



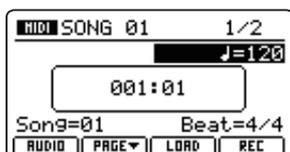
2. USBメモリを接続します

USBポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

USBメモリを認識し、LOADボタンがディスプレイに表示されます。

* LOADボタンは選択されている内部ソングが空のときのみ表示されず。内部ソングを消去したい場合はP.75をご確認ください。

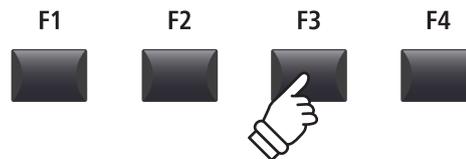


LOAD機能

3. LOAD(ロード)SMF機能を選ぶ

[F3] ボタンを押します。(LOAD)

USB ファイルのルート階層にある SMF ファイルがディスプレイに表示されます。



■ USBのファイル/フォルダリスト画面について

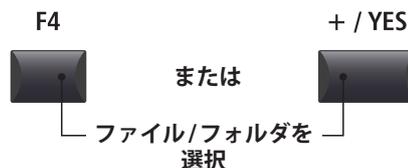
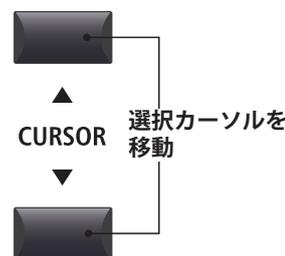
MP7SEのファイルリスト画面はルート階層の関係するファイルとフォルダを表示します。



カーソル上下ボタンで選択カーソルを移動します。

* ノブ[A]でもカーソルを移動することができます。

ファイル/フォルダを選択した状態で[F4] ボタン (EXEC) または「+ / YES」ボタンを押してファイルを選択またはフォルダ内に移動します。



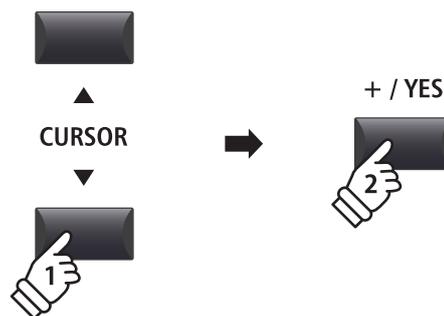
4. SMF ファイルをロードする

カーソル上下ボタンを押して、MIDI ファイルを選択します。



[F4] ボタンまたは「+ / YES」ボタンを押します。

LOAD SMF 画面がディスプレイに表示されます。



レコーダー

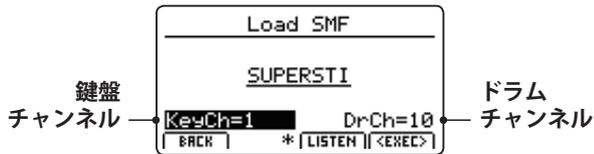
4 SMFを内部メモリへLOAD(ロード)する(続き)

5. 鍵盤チャンネルとドラムチャンネルを選択する

MP7SEのMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに、SMFのどのチャンネルを使用するかをノブ[C][D]を使って指定します。

* MP7SEは、SMFファイルの内容に基づいて自動的に適切なキーボードとドラムトラックを検出します。

* MP7SEで作られたSMFファイルでは、ドラムトラックはOFFになります。



[F3] ボタン (LISTEN) を押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4] ボタン (EXEC) を押すと、選択したSMFファイルを内部メモリにロードします。

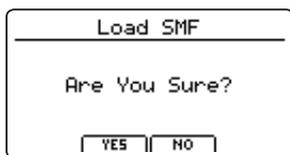
LOAD SMF 確認画面がLCDに表示されます。



6. SMFをLOAD(ロード)する

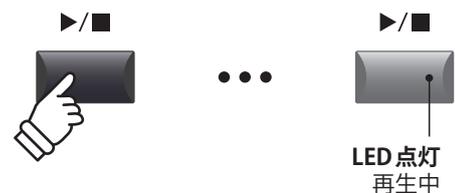
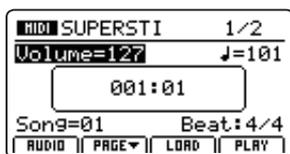
[F2] ボタンまたは[+/YES] ボタンを押すとSMFが内部メモリへロードされます。

[F3] ボタンまたは[-/NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。



7. LOAD(ロード)したSMFファイルを再生する

SMFファイルをLOAD(ロード)すると、レコーダー画面がディスプレイに表示されます。



再生方法についてはP. 69をご確認ください。

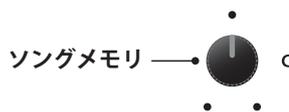
5 内部メモリを消去する

不要なソング(曲)を消去して、メモリを空き状態にします。

1. 消去するソングメモリを選ぶ

MIDIレコーダー画面に入った状態で：

ノブ[C]を回して消去したい内部ソングメモリを選択します。

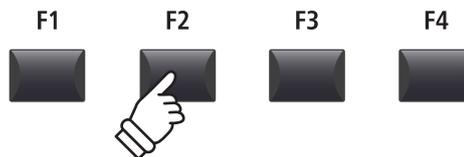


* 全ての曲を一度に消去したい場合は、システムメニューのリセットレコーダー機能を使用してください。(P.116をご確認ください)

2. レコーダー機能の2ページ目を表示する

[F2] ボタンを押します。

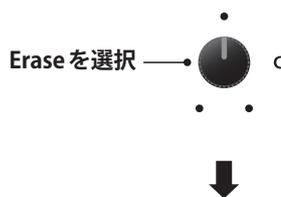
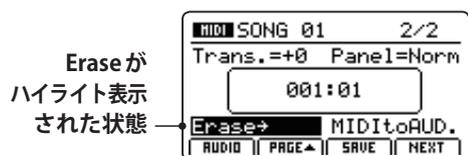
レコーダー機能の2ページ目が表示されます。



* カーソル上下ボタンでもページを行き来できます。

3. Erase (消去) を選択する

ノブ[C]を回して、カーソルを「Erase」に合わせます。(ハイライト表示)



+ / YES



* 十字カーソルボタンでもカーソル移動可能です。

[+ / YES] ボタンを押して、Eraseを選択します。

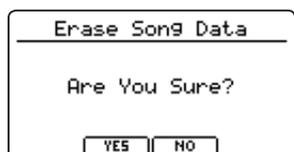
確認画面がディスプレイに表示されます。

* [●] ボタン (REC) と [[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) ボタンを同時に押すことでもソングを消去することができます。

4. 削除する

[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押して、削除します。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。



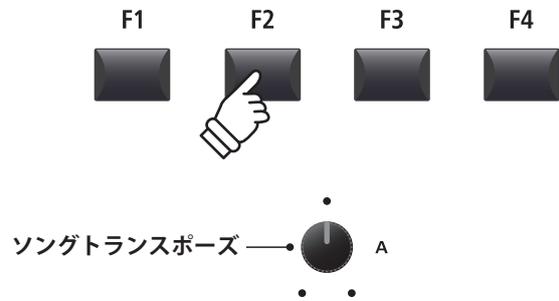
6 曲のトランスポーズ(移調)

MP7SEではLOAD(ロード)したSMFファイルを移調(半音単位)して再生することができます。

■ ソング(曲)のトランスポーズ量を変更する

[F2] ボタンを押して、レコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ[A]を回してトランスポーズ(移調)量を調整します。



* トランスポーズの範囲は-12 ~ +12(半音)です。

7 パネルモード

内部に録音されたデータを再生する際に、パネルセッティングも再現(現在のパネルセッティングに展開)するかどうかを選択します。

■ パネルモードの種類

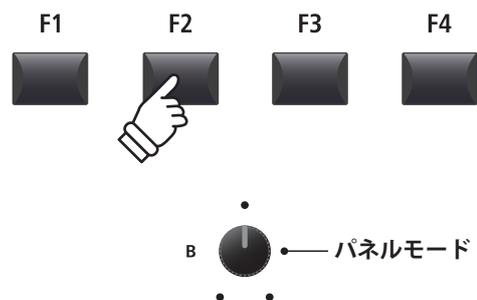
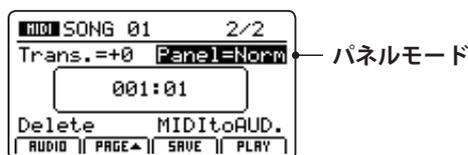
パネルモード	説明
Normal(初期状態)	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現しない。
Play	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現(展開)する。(パネルスイッチが切り替わる)

	Normalパネルモード	Playパネルモード
メリット	再生しても現在のパネルセッティングに影響なし。	全ての機能は完全に再現される。
デメリット	データとパネルが独立しているため、エフェクトなどは現在のパネルセッティングで再生される。エフェクト等は録音状態とは異なる場合がある。	録音データの再生によって、現在のパネルセッティングが変更される。

■ パネルモードを変更する

[F2] ボタン(PAGE ▼)を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ[B]を回してパネルモードタイプを選びます。



8 MIDI to Audio

MIDIをオーディオに変換する機能です。詳細はP.88をご確認ください。

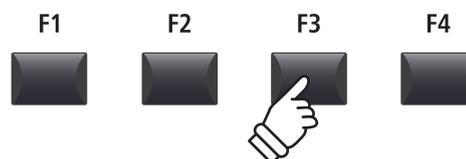
9 SMFダイレクトプレイ

この機能はUSBメモリから直接16トラックのSMFファイルを再生することができます。

1. LOAD(ロード)SMF機能を選ぶ

[F3]ボタンを押します。(LOAD)

USBメモリのルート階層にあるSMFファイルがディスプレイに表示されます。

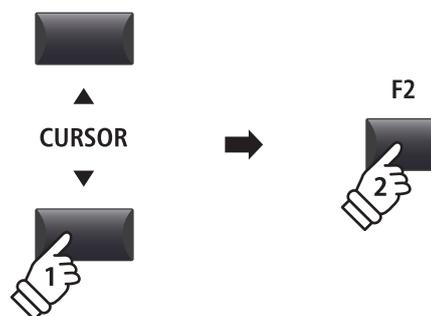


2. 再生するSMFファイルを選択する

カーソル上下ボタンでファイルを選択します。

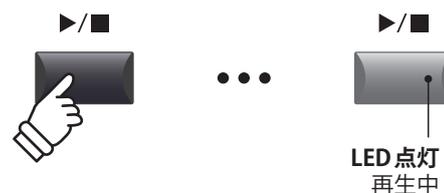


[F2]または[F3]ボタン(DIRECT PLAY)を押します。



3. 選択したSMFファイルを再生する

DIRECT PLAY機能を選択すると、ディスプレイに再生画面が表示されます。



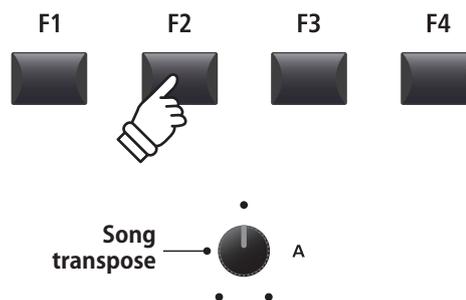
MIDIファイルの再生とチェインプレイ機能の詳細についてはP.69をご確認ください。

* [F1]ボタン(INT)を押すと、SMF DIRECT PLAY機能を抜け、内部ソングプレイヤー画面に戻ります。

■ ソング(曲)のトランスポーズ量を変更する

[F2]ボタン(ページ▼)を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ[A]を操作してトランスポーズ(移調)量を調整します。



* トランスポーズの範囲は-12 ~ +12(半音)です。

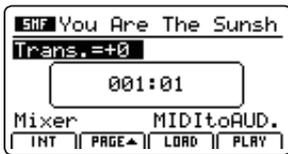
SMF ミキサー

SMF ミキサー画面を使って16トラックのSMFファイルのボリューム及びミュートON/OFFを調整します。

1. SMF ミキサーを選択する

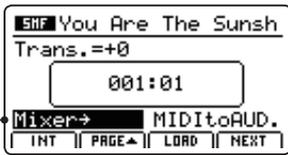
SMF ファイルをロードした状態で：

[F2] ボタン(ページ▼)を押して、再生画面の2ページ目を表示させます。



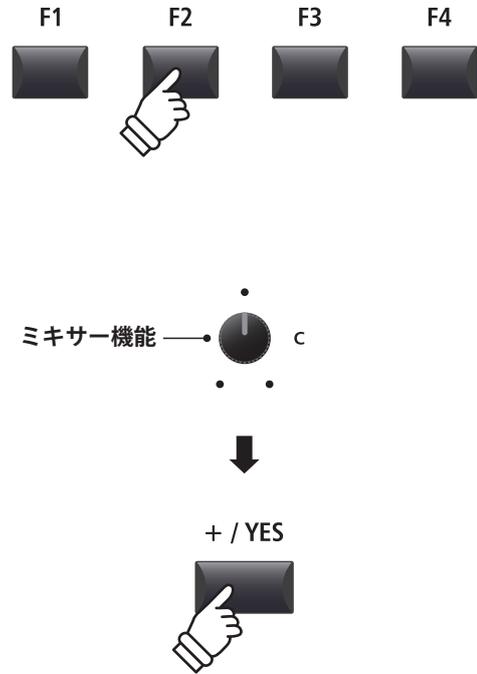
ノブ[C]を操作してミキサー機能を選択(ハイライト表示)します。

ミキサー機能
選択中

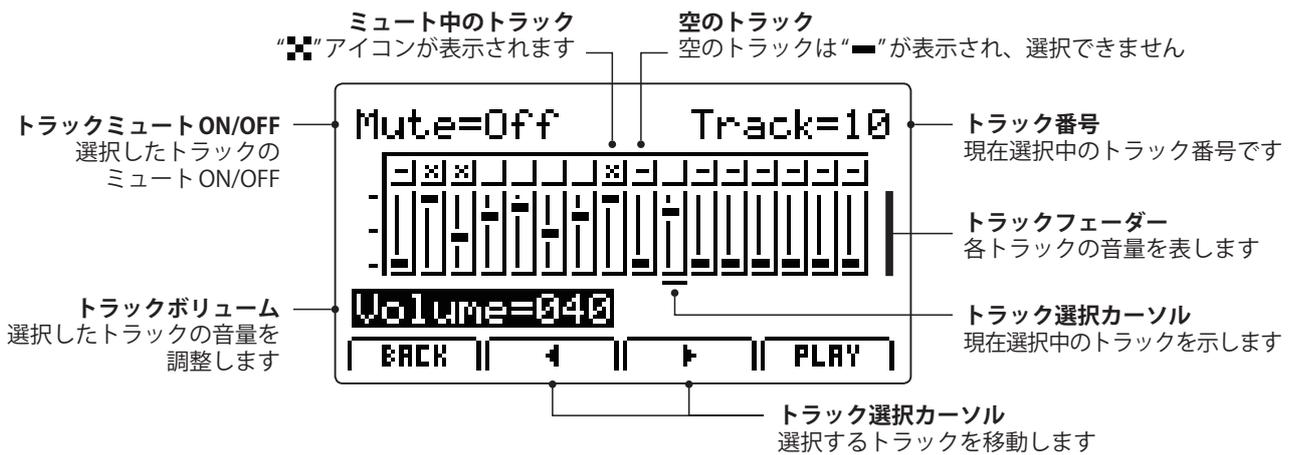


* カーソルボタンでも選択可能です。

[+ / YES] ボタン(NEXT)を押して、ミキサー機能を選択するとディスプレイにSMF ミキサー画面が表示されます。



■ SMF ミキサー画面について

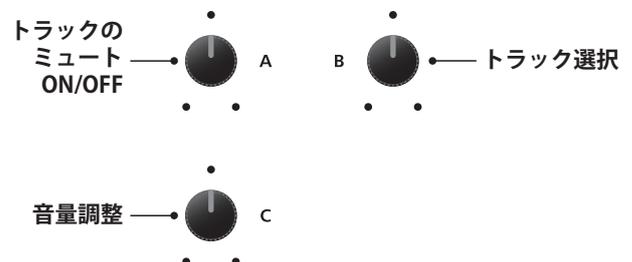


2. トラックを選択し、ミュート・音量を調整する

ミキサー画面を表示した状態で：

ノブ[B]を操作して調整するトラックを選択し、ノブ[C]をで音量を調整します。

ノブ[A]を調整することでトラックのミュートON/OFFを設定できます。



* [F2] [F3] ボタン(◀と▶)でトラックを選択することもできます。

オーディオレコーダー (USBメモリ)

1 オーディオファイルに録音する

MP7SEはラインインも含めたパフォーマンスをMP3やWAV形式で、USBメモリにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションで、リミックスしたりと、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	192 kbit/s (fixed)
WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	1,411 kbit/s (uncompressed)

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

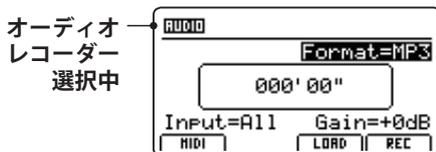


USBメモリが認識されます。

2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

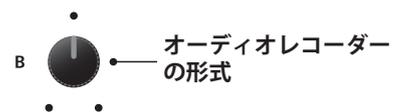
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。



* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン(AUDIO)を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

■ ファイル形式を選択する

ノブ[B]を回して、目的のオーディオ形式を選択します。



* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

1 オーディオファイルに録音する (続き)

■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP7SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



* ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

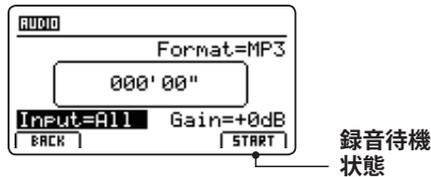
3. 録音待機状態に入る

RECORDERセクションの[●] (REC) ボタンを押します。

このとき[●] (REC) ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4] ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかることがあります。

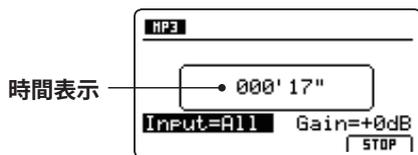
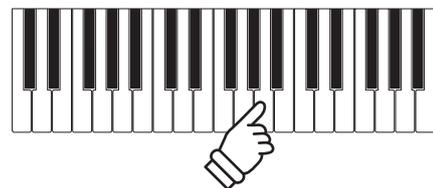


4. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音が始まります。

このとき[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



* 録音待機状態から、[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すことでも、録音が始まります。

* [METRONOME] ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。

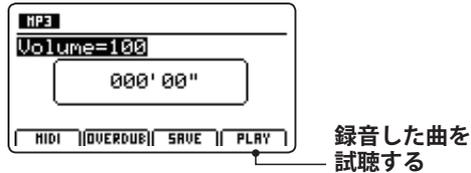
5. 録音をストップし、録音結果を試聴する

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンと [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンでも録音を停止することができます。

録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。

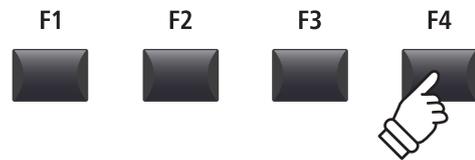


録音した曲を試聴する

[F4] ボタン (PLAY) または [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押すと録音データを保存する前に視聴することができます。



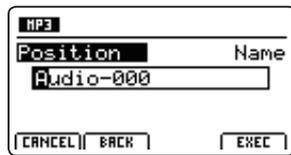
* [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



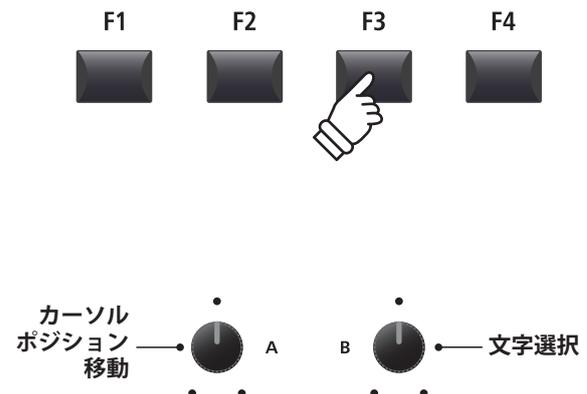
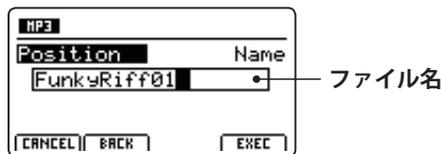
6. ファイル名をつける

[F3] ボタンを押します。(SAVE)

ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A] [B]を使って、ファイル名を編集します。



* ファイル名は最大18文字です。

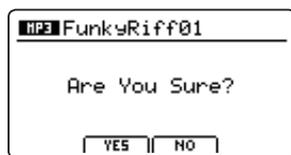
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

* 使用できる文字一覧はP.99を参照してください。

7. オーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

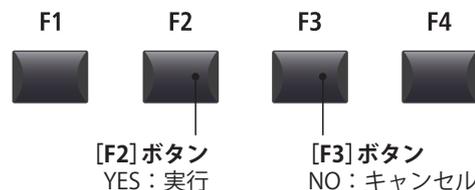
確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 オーディオファイルを再生する

MP7SEはUSBメモリに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。本格的なバックイングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いてコードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生ファイルフォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo	8 ~ 320 kbit/s (fixed & variable)
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, 8 bit/16 bit	—

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

■ USBメモリの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリへコピーします。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

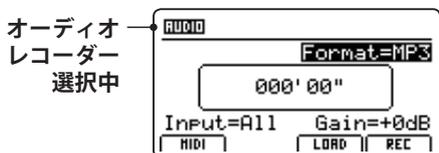
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

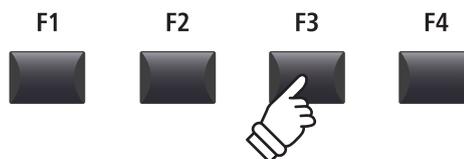


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン(AUDIO)を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. LOAD(ロード)するファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。(LOAD)

USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。



■ USBメモリのファイル/フォルダリストの画面

MP7SEのファイル/フォルダリスト画面はUSBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



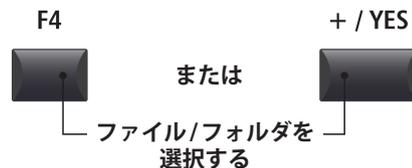
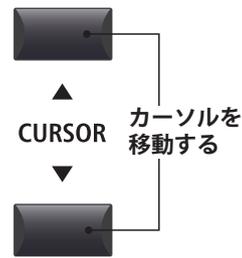
[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

* ノブ[A]を回してもファイルを選択できます。

[F2] [F3] ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

* 初期値ではMP3が選択されています。

[F4] ボタンまたは[+ / YES] ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを選択します。



4. LOAD(ロード)するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンで目的のファイルを選びます。

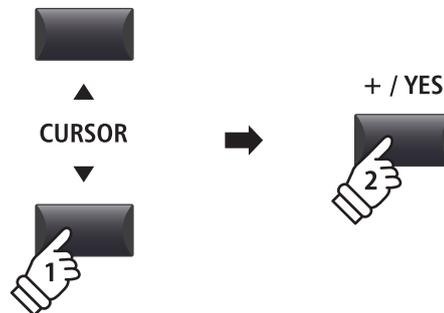


[F4] ボタンまたは[+ / YES] ボタンを押します。

オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



* ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。



5. 再生する

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* [F4] ボタン(PLAY)を押すことでも再生することができます。



■ 再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。



6. 曲を停止する

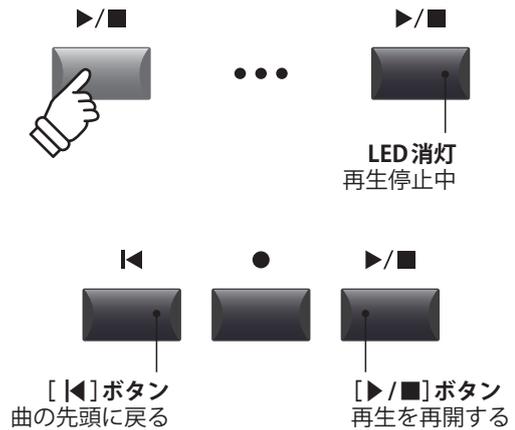
曲を再生している状態で：

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。

再び[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押すと、停止した位置から再生を開始します。また[◀]ボタンでデータの先頭に戻ります。

* [F4] ボタンを押して再生を停止、曲の先頭に戻ることができます。



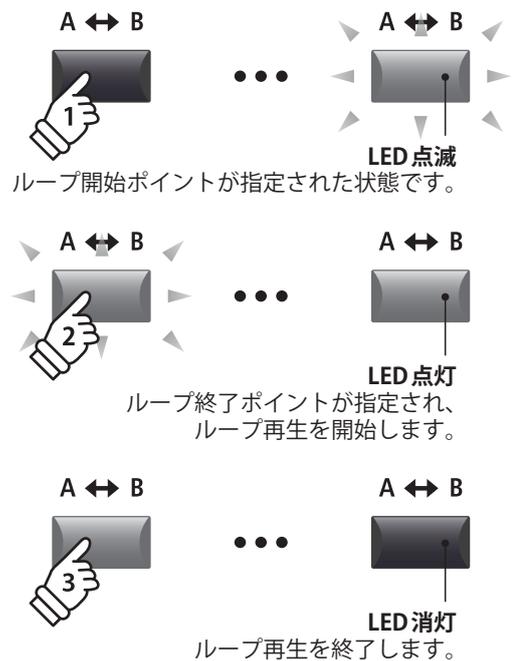
■ A-Bリピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[A↔B]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点滅します。

再度[A↔B]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A↔B]ボタンを押すと、[A↔B]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

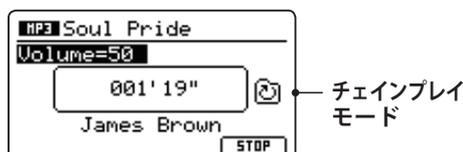


■ 連続再生(チェインプレイ)モード

フォルダ内に保存されたオーディオファイルを連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を長押しします。

チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



3 オーバーダビングする

MP7SE上で直接既存のオーディオのファイルに追加録音し、簡単なマルチトラック録音を行うことができます。またオーバーダビング録音では、毎回一時的にファイルが作成されますので、一度保存したファイル、既存のオーディオファイルが修正されることはありません。

* 最終的に保存作業を行っていないと、そのときの録音結果は次のオーバーダビング録音で失われますのでご注意ください。

1. USBメモリを接続する

USB デバイスポートにUSBメモリを接続します。

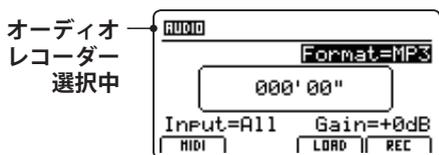
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDER セクションの [ON/OFF] ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDER セクションの [ON/OFF] ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

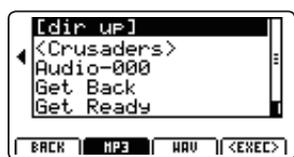
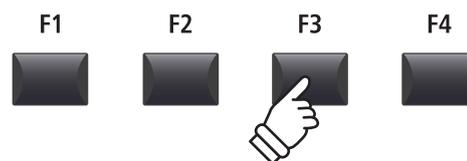


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1] ボタン (AUDIO) を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. オーバーダビングしたいファイルを選択する

[F3] ボタンを押します。(LOAD)

USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。



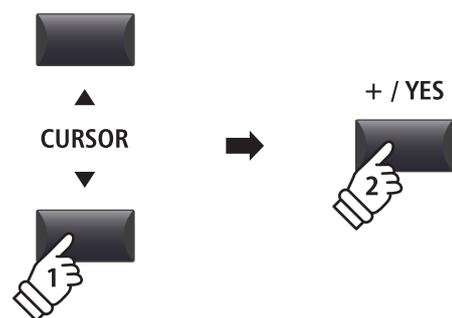
4. LOAD (ロード) するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンで目的のファイルを選びます。



[F4] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押します。

オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



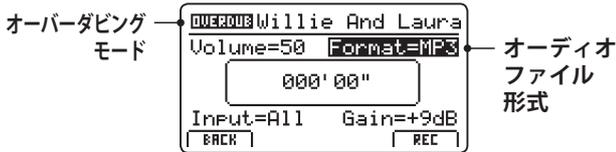
レコーダー

3 オーバーダビングする (続き)

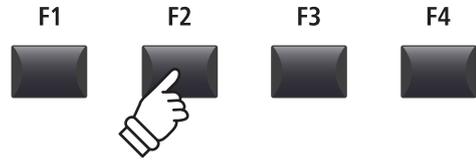
5. オーバーダビングモードへ入る

[F2] (OVERDUB) ボタンを押します。

オーバーダビング画面が表示されますので、ノブ[B]を使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。



- * MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
- * 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。



■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP7SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



- * ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

6. オーバーダビングの待機状態に入る

RECORDERセクションの[●]ボタン(REC)を押します。

このとき[●]ボタン(REC)が点滅し、録音待機状態を示します。

- * レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

- * USBメモリを挿すと認識に時間がかかることがあります。

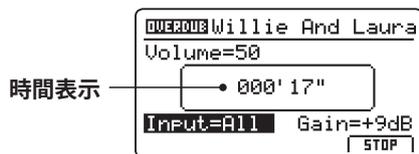


7. オーバーダビング録音をスタートする

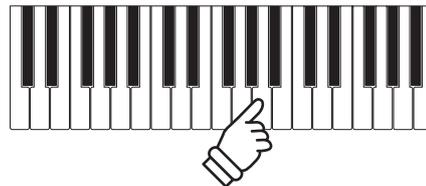
演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



時間表示



* 録音待機状態から、[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME] ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。

8. オーバーダビング録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンでも録音を停止することができます。

録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。

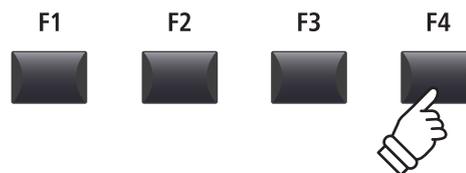


オーバーダビングを試聴する

[F4] ボタンを押すと保存する前に録音を試聴することができます。



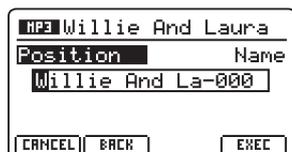
* [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



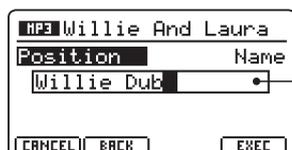
9. ファイル名をつける

[F3] ボタン (SAVE) を押します。

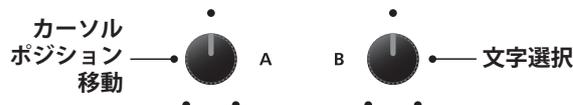
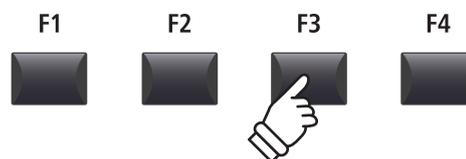
ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A] [B]を使って、ファイル名を編集します。



ファイル名



* ファイル名は最大18文字です。

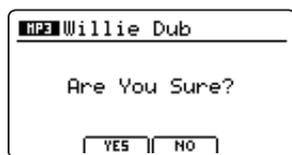
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

3 オーバーダビングする (続き)

10. オーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

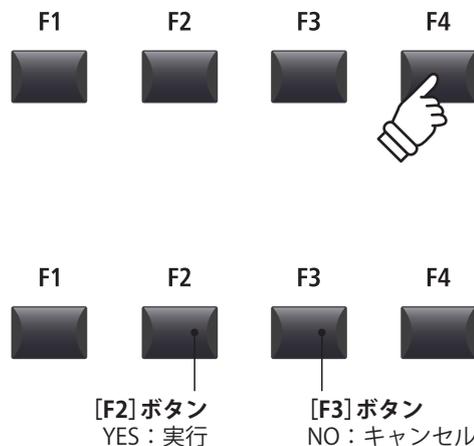
確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



4 MIDI to AUDIO

内部メモリに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリへ録音することができます。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

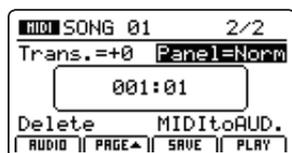


USBメモリが認識されます。

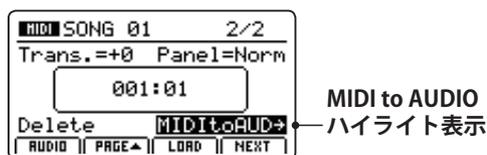
2. MIDIレコーダー画面に入り、MIDI to Audio機能を選択します

MIDIレコーダーを選択した状態で：

[F2] ボタンを押してMIDIレコーダーの2ページ目を表示します。



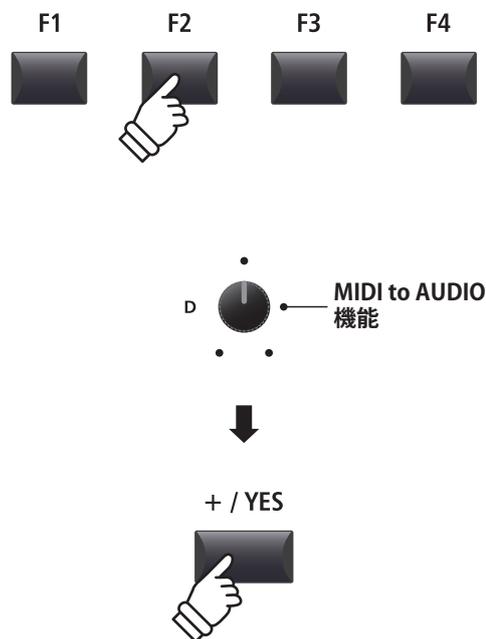
ノブ[D]を回してMIDI to AUDIO機能をにカーソルを合わせます。



* カーソルボタンでも選択可能です。

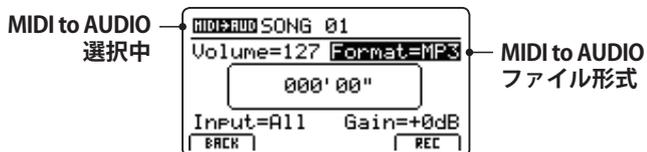
[+ / YES] ボタンを押して、MIDI to AUDIO機能を選択します。

MIDI to AUDIO機能がディスプレイに表示されます。



3. オーディオフォーマットを選ぶ

ノブ[B]を使って目的のオーディオフォーマットを選び、ノブ[A]で再生音量を調整します。



- * MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
- * 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP7SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



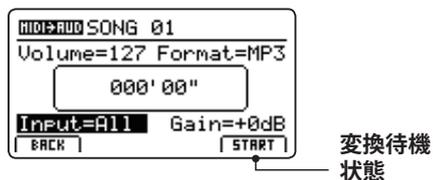
- * ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

4. 変換の待機状態に入る

RECORDERセクションの[●] (REC) ボタンを押します。

このとき[●] (REC) ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

- * レコーダーモードから、[F4] ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。



オーディオレコーダー (USBメモリ)

5. 変換を開始する(録音)

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

このとき[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。
ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



録音された曲の最後まで再生されると、変換は自動的に終了します。

* [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンまたは[F4] ボタンを変換中に押すと、変換は途中で終了します。

[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが消灯し、変換が終了します。



* 変換は[F4] ボタンを押すことでも開始されます。

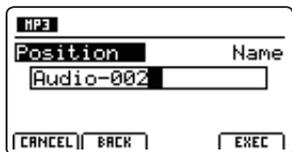
* このとき鍵盤を弾くと、鍵盤の演奏音も同時にオーディオ録音されます。



6. 変換を保存し、ファイル名をつける

[F3] ボタンを押します。(保存)

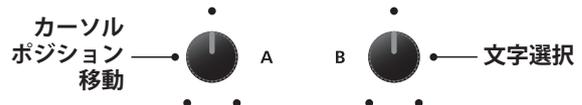
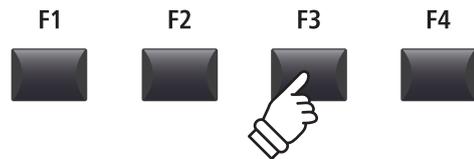
ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



ファイル名



* ファイル名は最大18文字です。

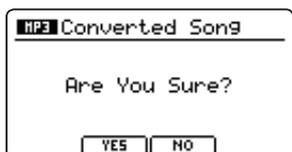
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

* 使用できる文字一覧はP.99を参照してください。

7. 変換したオーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは[+/YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは[-/NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



[F2] ボタン
YES: 実行

[F3] ボタン
NO: キャンセル

メトロノーム

メトロノームを鳴らしてテンポを確認したり、リズムパターンを加えて演奏することができます。

通常のメトロノーム音による拍子他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

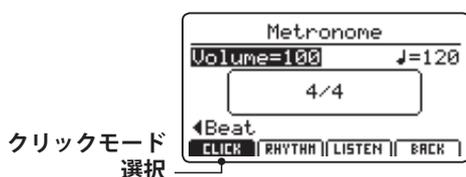
1 クリックモード

クリックモードでは、数種類の異なる拍子で単純なクリック音のメトロノームを鳴らすことができます。

■メトロノーム機能を使う

[METRONOME] ボタンを押します。

[METRONOME] ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



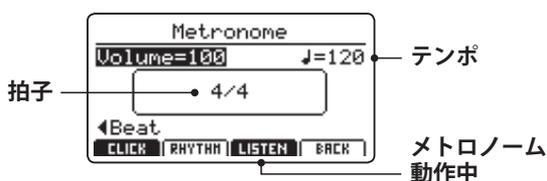
*メトロノームはまだ発音しません。

*メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

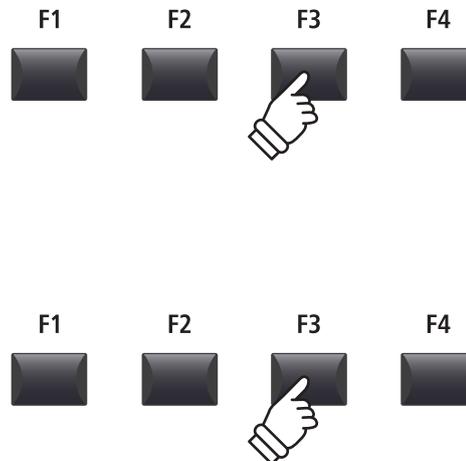
■メトロノームの発音開始、停止

[F3] ボタン (LISTEN) を押します。

画面下の [LISTEN] アイコンが反転し、メトロノームが発音します。

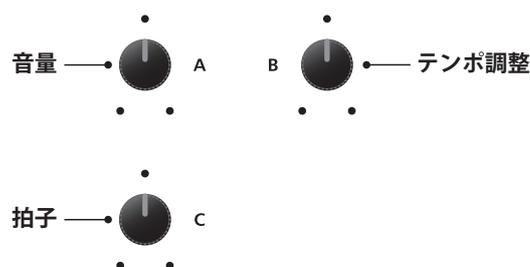
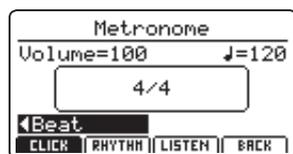


再び [F3] ボタン (LISTEN) を押すと、メトロノームのカウントが止まり、[LISTEN] アイコンの反転が戻ります。



■メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定

ノブ [A] [B] [C] を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。



*メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

*拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

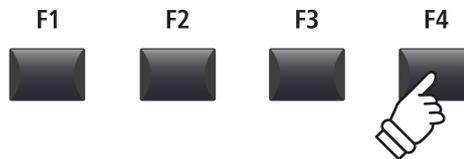
*好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

1 クリックモード(続き)

■ 通常演奏画面に戻る

メトロノームが鳴っている状態で：

[F4] ボタン(バック)を押すと、メトロノームを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻ることができます。



[METRONOME] ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



2 リズムモード

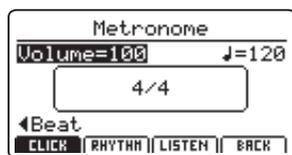
リズムモードではメトロノーム機能としてリズムパターンを鳴らすことができます。13のカテゴリに分かれた100種類の異なるドラムパターンがあります。

* ドラムパターンのリストはP.94をご確認ください。

■ メトロノーム機能を使う

[METRONOME] ボタンを押します。

[METRONOME] ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



* メトロノームはまだ発音しません。

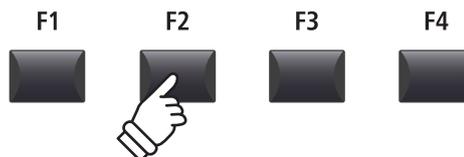
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

■ リズムモードを選択する

[F2] ボタン(RHYTHM)を押します。

画面下の[RHYTHM]アイコンが反転し、リズムモードが選択されます。

現在のリズムパターンのカテゴリとバリエーションがディスプレイに表示されます。

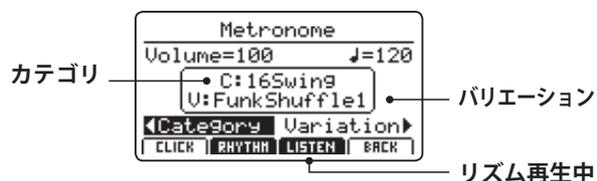


リズムモード
選択

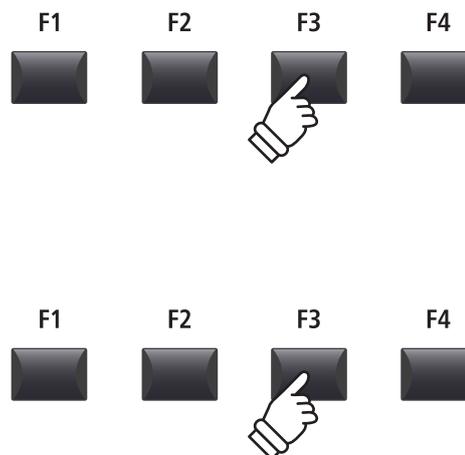
■ ドラムパターンの発音開始、停止

[F3] ボタン (LISTEN) を押します。

画面下の [LISTEN] アイコンが反転し、選択したリズムカテゴリ・バリエーションのドラムパターンが発音開始します



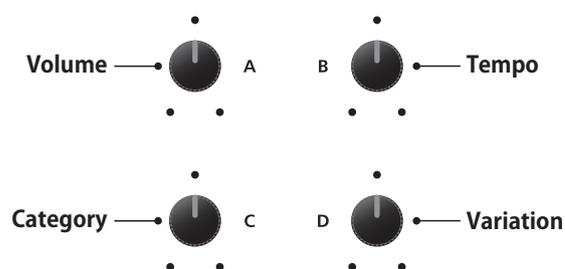
ドラムパターンを停止するには [F3] ボタン (LISTEN) をもう一度押してください。



■ ドラムパターンの音量、テンポ、カテゴリ、バリエーションの選択

ノブ [A] [B] を回してドラムパターンの音量とテンポを調整します。

ノブ [C] [D] を回してドラムパターンのカテゴリとバリエーションを選択します。



* メトロノームのテンポは、30～300の範囲で設定できます。

* ドラムパターンのリストはP. 94をご確認ください。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

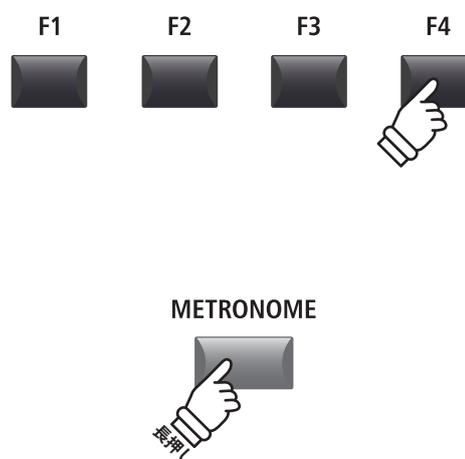
■ 通常演奏画面に戻る

ドラムパターンが鳴っている状態で：

[F4] ボタン (バック) を押すと、ドラムパターンを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻ることができます。



[METRONOME] ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



2 リズムモード(続き)

■ ドラムパターン一覧

16 Swing		16 Ballad		Triplet	
1	Funk Shuffle 1	40	Ballad 1	76	Triplet Rock 1
2	Funk Shuffle 2	41	Ballad 2	77	Triplet Rock 2
3	Hip Hop 1	42	Ballad 3	78	Bembe
4	Hip Hop 2	43	Ballad 4	79	Rock Shuffle 1
5	Hip Hop 3	44	Ballad 5	80	Rock Shuffle 2
6	Hip Hop 4	45	Light Ride 2	81	Boogie
7	16 Shuffle 1	46	Electro Pop 1	82	Triplet 1
8	16 Shuffle 2	47	Electro Pop 2	83	Triplet 2
9	16 Shuffle 3	48	16 Shuffle 4	84	Reggae
16 Funk		8 Ballad		Jazz	
10	Funky Beat 1	49	Slow Jam	87	H.H. Swing
11	Funky Beat 2	50	50's Triplet	88	Ride Swing
12	Funky Beat 3	51	R&B Triplet	89	Fast 4 Beat
13	Funk 1	8 Straight		90	Afro Cuban
14	Funk 2	52	8 Beat 1	91	Jazz Waltz 1
15	Funk 3	53	8 Beat 2	92	Jazz Waltz 2
16 Straight		54	Smooth Beat	93	5/4 Swing
16	Jazz Funk	55	Pop 1	8 Latin	
17	16 Beat 1	56	Pop 2	94	H.H. Bossa
18	16 Beat 2	57	Ride Beat 1	95	Ride Bossa
19	16 Beat 3	58	Ride Beat 2	96	Beguine
20	16 Beat 4	59	Ride Beat 3	97	Mambo
21	Ride Beat 4	60	Slip Beat	98	Cha Cha
22	Rim Beat	8 Rock		99	Tango
23	Roll Beat	61	Jazz Rock	100	Habanera
24	Light Ride 1	62	8 Beat 3		
25	Dixie Rock	63	Rock Beat 1		
16 Latin		64	Rock Beat 2		
26	Surdo Samba	65	Rock Beat 3		
27	Latin Groove	66	Rock Beat 4		
28	Light Samba	67	Blues/Rock		
29	Songo	68	Heavy Beat		
30	Samba	69	Hard Rock		
31	Merenge	70	Surf Rock		
16 Dance		71	R&B		
32	Funky Beat 4	8 Swing			
33	16 Beat 5	72	Motown 1		
34	Disco 1	73	Fast Shuffle		
35	Disco 2	74	Motown 2		
36	Techno 1	75	Country 2 Beat		
37	Techno 2				
38	Techno 3				
39	Heavy Techno				

3 メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音することは、録音される曲のテンポを一定に保つのに有効です。

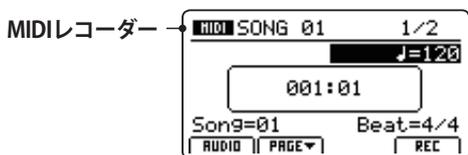
以下の説明は例として内部レコーダーへ録音する手段を記載します。

USBファイルへのMP3/WAV録音も可能です。

1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

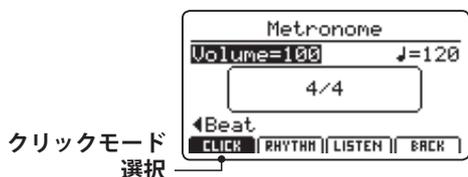
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。



2. メトロノーム機能をONにする

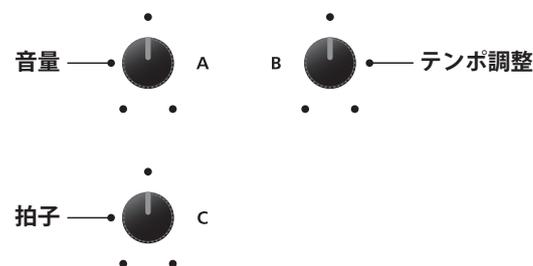
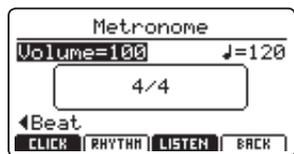
[METRONOME]ボタンを押します。

[METRONOME]ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



3. メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定をし、メトロノームを鳴らす

ノブ[A] [B] [C]を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。

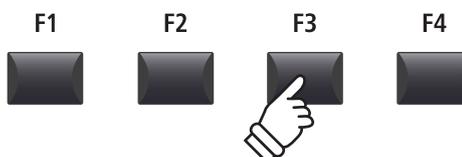


[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、現在のメトロノームセッティングで発音します。

* メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

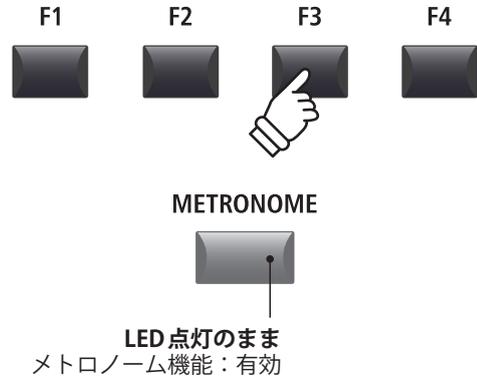


3 メトロノームを使って録音する (続き)

4. レコーダー画面に戻る

[F4] ボタン (BACK) を押すと、レコーダー画面に戻ります。

[METRONOME] ボタンは点灯したままで、メトロノーム機能が有効であることを示します。



5. 録音待機状態

[●] (REC) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンが点滅を開始し、待機状態を表します。

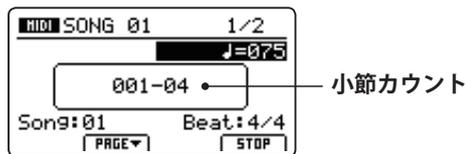
* [F4] ボタン (REC) でも録音待機状態に移行します。



6. 録音を開始する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) または [F4] ボタン (REC) を押します。

1小節分のカウントインの後、録音が始まります。



* 録音待機状態で鍵盤を弾きはじめると自動的に録音が始まりますが、その場合はカウントインはありません。

* クリックモードで録音した場合、クリック音は録音されません。リズムモードで録音した場合、ドラムパターンも録音されます。

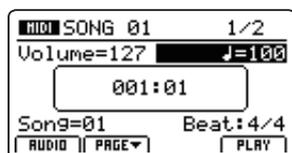
7. 録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンを押すことでも録音をとめることができます。

録音を停止すると MIDI 再生画面が表示されます。



* 最大録音容量は約90000音です。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

USBメニューについて

USBメモリに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USBメモリのフォーマットを行うことができます。

■ ファイルの種類

ファイルの種類	説明	拡張子
SOUND	サウンド設定のバックアップ。	.km5
SETUP	セットアップ設定のバックアップ。	.km6
SMF	SMF形式のMIDIソングファイル。	.mid
Song	MP3/WAV形式のオーディオソングファイルまたはSMFソングファイル。	.mp3, .wav, .mid
All Sound	全音色のサウンドパラメータのバックアップ。	.km2
All Setup	全セットアップメモリのバックアップ。	.km3
All Backup	全セットアップメモリ、全音色のサウンドパラメータ、システム設定のバックアップ。	.km4

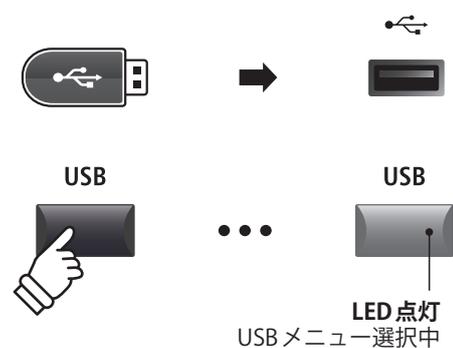
■ USBメニューへ入る

USBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

[USB]ボタンを押します。

[USB]ボタンが点灯し、ディスプレイにUSBメニューリストが表示されます。

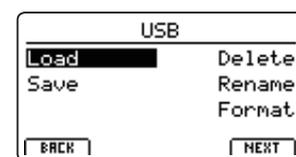


■ USBメニュー選択画面

カーソルボタンを押して、目的のファイル操作のカテゴリを選び、[+ / YES]ボタンまたは[F4]ボタン(NEXT)ボタンを押します。

次にカーソルボタンで目的のファイルの種類を選び、[+ / YES]ボタンまたは[F4]ボタン(NEXT)ボタンを押します。

[- / NO]または[F1] (BACK)ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



■ ファイル/フォルダリスト画面

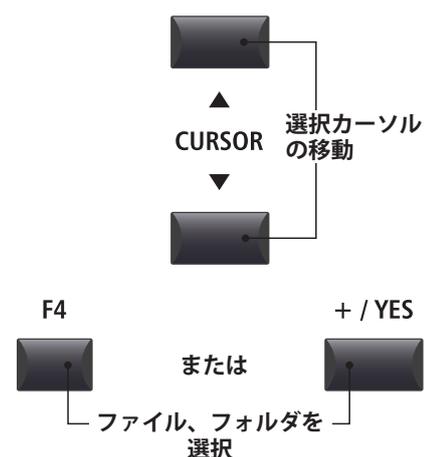
MP7SEのファイル/フォルダリスト画面は、USBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



カーソル上下ボタンでカーソルを動かします。

* ノブ[A]を回すことでもカーソルを移動できます。

[F4]ボタン(EXEC)または[+ / YES]ボタンを押すとファイル選択、または選択したフォルダ内に移動します。



1 Load(ロード/読込)

USBメモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングを読み込みます。LoadSMF(ロードSMF)機能を除いて、各操作方法は同じです。

 ロード機能は現在保存されているデータを上書きします。
必要なデータを消してしまわないようご注意ください。

1. Load One Sound

USBメモリに保存されたサウンドファイルを読み出して、内部メモリの音色のプリセット設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のサウンドファイルを選択してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、サウンドは自動的に選ばれます。その他のセクションはキャンセルされます。セットアップもキャンセルされます。

3. Load SMF

USBメモリに保存されたSMF形式のソングファイルを読み出して、MIDIレコーダーのソングメモリを書き換えます。
この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のSMFを選択してください。

選択後、MP7SEのMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルにSMFのどのチャンネルを使用するかをノブ[C][D]を使って指定します。またノブ[A]を使って書き込み先の内部ソングメモリを選びます。



[F3] (LISTEN) ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4] (EXEC) ボタンを押すと、選んだSMFが内部メモリへLoad(ロード)され、MIDIレコーダー画面が表示されます。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDIレコーダーの詳細は、P.67を参照してください。

2. Load One Setup

USBメモリに保存されたセットアップメモリを読み出して、内部メモリのセットアップ設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のセットアップファイルを選択してください。

転送先のセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、セットアップは自動的に選ばれます。

4. Load All Sound

USBメモリに保存されたオールサウンドファイルを読み出して、全音色のサウンド設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールサウンドファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

5. Load All Setup

USBメモリに保存されたオールセットアップファイルを読み出して、全てのセットアップメモリを書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールセットアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

6. Load All Backup

USBメモリに保存されたオールバックアップファイルを読み出して、全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールバックアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

2 Save (セーブ/保存)

内部メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングをUSBメモリに書き込みます。
SaveSMF (セーブSMF) 機能を除いて、各操作方法は同じです。

■ ファイル名に使用できる文字一覧

	!	#	\$	%	&	'	()	+	,	-	.	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	;	=	@
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
[]	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
v	w	x	y	z	{	}																			

1. Save One Sound

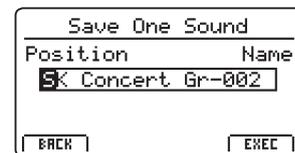
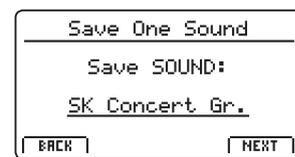
内部メモリに保存されている音色設定をUSBメモリに保存します。
(調整中のサウンドは保存されません。STORE SOUNDの詳細についてはP.62をご確認ください。)

* 選択中のZONEがEXTモードに設定されているときは自動的に現在のMAIN ZONEのサウンド設定が保存されます。

この機能を選択後、保存するサウンドの確認画面が表示されます。

さらにノブ[A] [B]を使ってサウンドファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2] または [F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



2. Save One Setup

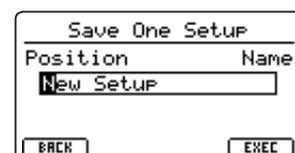
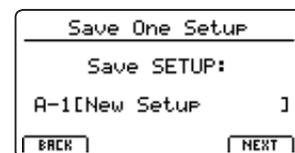
MP7SEのセットアップ設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、保存するセットアップの確認画面が表示されます。

保存したいセットアップメモリを指定するために、[BANK] ボタンと[SETUP] ボタンを押してください。

さらにノブ[A] [B]を使ってセットアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2] または [F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



2 Save(セーブ/保存) (続き)

3. Save SMF

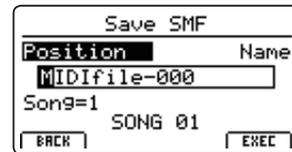
MIDIレコーダーのソングメモリの内容を、SMF形式でUSBメモリに保存します。

この機能選択後、ノブ[C]を使って、保存したいソングメモリを選択します。

さらに、ノブ[A] [B]を使ってシステムファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2]または[F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDIレコーダーの詳細は、P.67を参照してください。



4. Save All Sound

MP7SEの全音色のサウンド設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールサウンドファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

6. Save All Backup

全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を、USBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブを使ってオールバックアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

5. Save All Setup

MP7SEの全てのセットアップメモリの内容をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールセットアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

3 Delete (デリート / 削除)

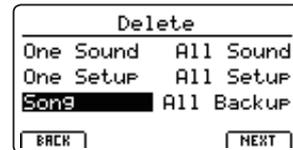
USBメモリに格納されているファイルを削除します。

 接続されたUSBメモリからデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. 削除したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

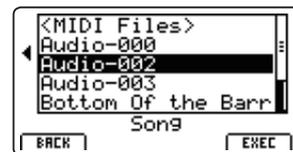


2. 削除したいファイルを選ぶ

ノブ[A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



3. ファイルを削除する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。

[-/NO] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

ファイル削除が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



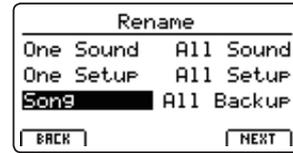
4 Rename (リネーム/ファイル名変更)

USBメモリに格納されているファイル名を変更します。

1. 変更したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



2. 変更したいファイルを選ぶ

ノブ[A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



3. ファイル名を編集する

ノブ[A] [B] を使って、ファイル名を編集します。

[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

* 使用できる文字一覧はP.99を参照してください。

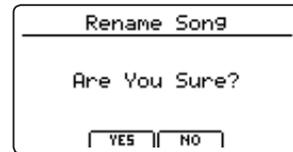


4. ファイル名変更を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイル名変更が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、ファイル名変更はキャンセルされます。

ファイル名変更が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



5 Format(フォーマット/初期化)

USBメモリを初期化して、格納されているデータをすべて消去します。

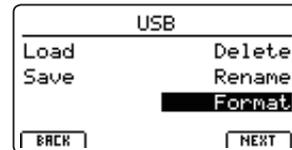


接続されたUSBメモリに格納されている全てのデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. フォーマット機能を選択する

[CURSOR] ボタンを押して、フォーマット機能を選択し、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

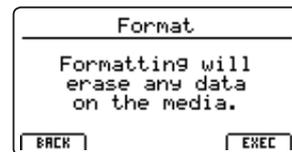


2. メッセージを確認する

最初の確認画面がディスプレイに表示されます。

メッセージを確認し、[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押すと、次の確認画面に進みます。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



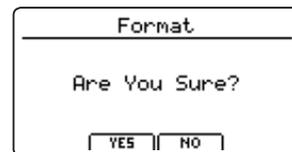
3. フォーマットを実行する

最終確認の画面がディスプレイに表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされません。

フォーマットが終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



システムメニューについて

[SYSTEM] ボタンでは、MP7SEの全体にかかわる基本設定を行います。

パラメータは6つのカテゴリ (Utility, Pedal, MIDI, Offset, User Edit, Reset) に分類されております。

変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

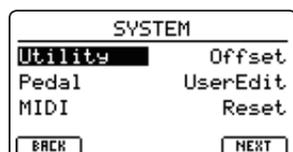
■ システムメニュー・パラメータ

カテゴリ	パラメータ
Utility F4	System Tuning, Eff. SW Mode, Knob Action, Volume Fader Action, LCD Contrast, LCD Reverse, Input Level, Audio Output Mode, Lock SW Mode, Auto Power Off, SW1 Mode, SW2 Mode
Pedal/Mod. F4	Damper Pedal Mode, Half Pedal Adjust, FSW Pedal Mode, FSW Pedal Polarity, Modulation Wheel Curve, EXP Pedal Curve, EXP Pedal Calibrate, Right Pedal Mode, Center Pedal Mode, Left Pedal Mode
MIDI F4	System Channel, Key to MIDI, Key to USB, MIDI to MIDI, MIDI to USB, USB to MIDI, SETUP Program, SETUP Bank, SETUP Volume, SETUP Knobs, Receive Mode, Receive Channel, Program Mode,
Offset F4	EQ Offset On/Off, Reverb Offset, EQ Offset Low, EQ Offset High, EQ Offset Mid1, EQ Offset Mid2
User Edit F4	User Touch Curve, User Temperament, User Key Volume, User Stretch, User Voicing
Reset	One Sound, All Sound, One Setup, All Setup, System, Power On, Recorder, Factory

■ システムメニューに入る

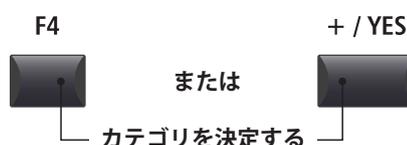
[SYSTEM] ボタンを押します。

[SYSTEM] ボタンが点灯し、システム設定画面が表示されます。



■ システムパラメータのカテゴリを選ぶ

カーソルボタンでカテゴリを選択し、[F4] ボタン (NEXT) または [+ / YES] ボタンを押して目的のカテゴリのパラメータ調整画面に入ります。



■ パラメータを調整する

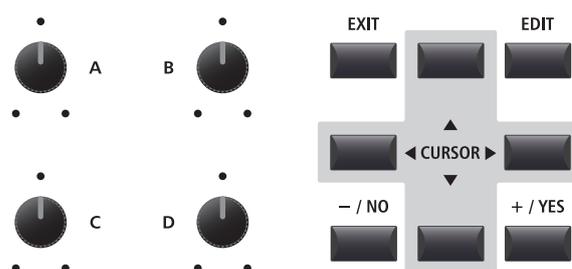
ノブ [A] [B] [C] [D] を回して表示されたパラメータを調整します。

パラメータはカーソルボタンで移動、[- / NO] [+ / YES] ボタンで値を調整することもできます。

[F2] [F3] ボタンでシステムメニューのページを移動することができます。

* カーソル上下でもページ移動が可能です。

* 調整したシステムパラメータは、演奏モードの画面に戻るとき、自動的に保存されます。



システムパラメータと機能について

1 Utility(ユーティリティ)

1. System Tuning(システムチューニング)

VALUE : 427.0 ~ 453.0 Hz

内部音源の全体のチューニングを0.5Hz単位で調整します。

* 初期値はA=440Hzです。

2. Eff. SW Mode

Preset, Temp., Fixed

音色を切り替えたとき、[EFX] [REVERB] [AMP] ボタンの ON/OFF 状態を変更するかどうかを設定します。

気に入ったエフェクト設定を、他のSOUNDで利用したい場合に、EDITの際一時的にFixedモードを選ぶと便利です。(P. 27 参照)

モード	説明
Preset	音色を切り替えたとき ON/OFF 状態を変更します。
Temp.	音色を切り替えたとき ON/OFF 状態を切り換えません。
Fixed	音色を切り替えたとき、エフェクトの設定は一切変更されません。

* 初期値はPresetです。

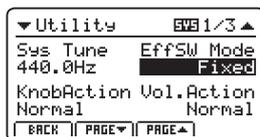
■気に入ったエフェクト設定を他の音色で利用する

以下の手順で、エフェクト設定を他の音色へコピーすることができます。

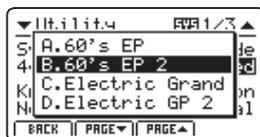
1. 音色ボタンを押して、気に入った設定の音色を選びます。



2. [SYSTEM] ボタンを押して、Utilityメニューで、Eff.SW ModeをFixedに変更します。



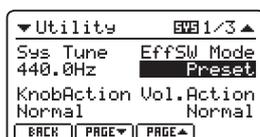
3. 音色ボタンを押して、気に入った設定をコピーしたい音色を選びます。



4. [STORE] ボタンを押して、ストアサウンド機能で、選んだ音色を保存します。



5. 再度[SYSTEM] ボタンを押して、Utilityメニューで、Eff.SW ModeをPreset(初期値)へ戻します。



* EFX/EFX2、AMP、リバーブデプスの設定がコピーされます。その他のパラメータはコピーされません。

システムパラメータと機能について

3. Knob Action (ノブアクション)

Normal, Catch

ノブ[A][B][C][D]がどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	ノブを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とノブの位置が一致するまで値が変わりません。“Catch(キャッチ)”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

5. LCD Contrast(コントラスト)

VALUE : 1 ~ 10

ディスプレイのコントラストを調整します。
値を大きくすると、表示の明暗がはっきりします。

* 初期値は5です。

7. Input Level(インプットレベル)

VALUE : -18 dB ~ +18 dB

[LINE IN]端子の入力レベルを調整します。

外部機器の出力レベルが高すぎる場合は、このパラメータを下げます。また低すぎる場合は、このパラメータを上げます。

* 初期値は+0dBです。

9. Lock SW Mode

6タイプ

 ボタン(LOCK)を押したとき、どの操作をロックするかを設定します。

モード	説明
Panel	鍵盤、ホイール、ペダルと  ボタン(LOCK)以外をロックします。
Bend	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod.	モジュレーションホイールをロックします。
Center	GFP-3の中ペダルをロックします。
Left	GFP-3の左ペダルをロックします。
EXP	エクスプレッションペダルをロックします。

* 初期値はPanelです。

11/12. SW1/SW2 Mode

3 functions

アサインブルスイッチ[SW1]/[SW2]で、セットアップの切り替えを行うことができます。

4. Volume Fader Action

(ボリュームフェーダーアクション)

Normal, Catch

PIANO/E.PIANO/SUBセクションのフェーダがどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	フェーダーを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とフェーダーの位置が一致するまでボリュームが変わりません。“Catch(キャッチ)”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

6. LCD Reverse(LCDリバース)

ON, OFF

ディスプレイ表示を白黒反転させます。状況に応じてディスプレイの見え方を変えることができます。

* 初期値はOFFです。

8. Audio Out Mode

Stereo, 2xMono

MP7SEのL、R端子のラインアウト出力をステレオ出力にするか、2系統のモノラル出力にするかを設定できます。

モニターとミキサーに同時に接続する場合などに便利です。

モード	説明
Stereo	通常のステレオ出力
2xMono	両方のジャックからモノラル出力

* 初期値はStereoです。

* 2xMonoを選択している場合、Auto Panなどのステレオエフェクトは効きません。

10. Auto Power Off

Off, 15 mins., 60 mins., 120 mins.

非操作状態が続いた場合に自動で電源OFFするまでの時間を設定します。

値	説明
Off	自動電源OFFしません。
15 mins.	15分で自動的に電源が切れます。
60 mins.	60分で自動的に電源が切れます。
120 mins.	120分で自動的に電源が切れます。

* 初期値はOffです。

■ SW Modeについて

モード	説明
Normal	エディットメニューで割り当てた機能になります。
Setup+	次の番号のセットアップへ切り替えます。
Setup-	前の番号のセットアップへ切り替えます。

2 Pedal/Mod.(ペダル/モジュレーション)

1. Damper Pedal Mode

5 functions

このパラメータはF-10Hの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

3. FSW Pedal Mode

5 functions

市販のフットスイッチの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

5. Modulation Wheel Curve

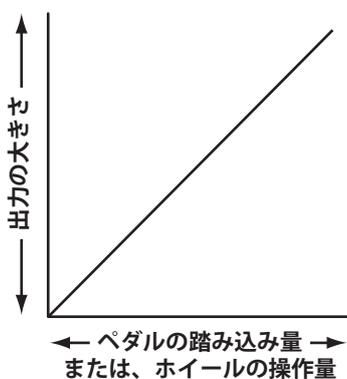
(モジュレーションホイールカーブ)

Normal, Slow, Fast

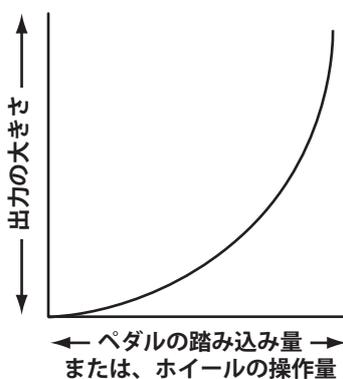
モジュレーションホイールの動作カーブを選択します。

* 初期値はNormalです。

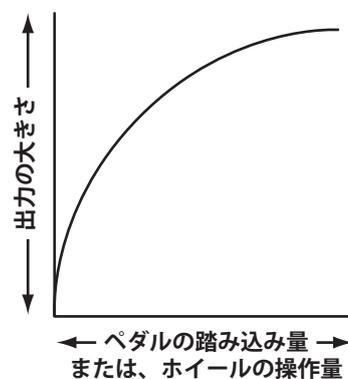
NORMAL



SLOW



FAST



7. Right Pedal Mode

5 functions

別売のGFP-3ペダルの右ペダルの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

9. Left Pedal Mode

5 functions

別売のGFP-3ペダルの左ペダルの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

2. Half Pedal Adjust(ハーフペダル調整) VALUE: 1 ~ 10

ダンパーペダル効果がかかり始める位置を調整します。

* 初期値は5です。

4. FSW Pedal Polarity

(フットスイッチの極性)

Normal, Reverse

市販のフットスイッチの極性を変えられます。

MP7SEのフットスイッチ端子は、極性がノーマルクローズのスイッチに対応しています。

ノーマルオープン仕様のフットスイッチを使用する場合は、動作が逆になりますのでReverseを選択してください。

* 初期値はNormalです。

6. EXP Pedal Curve

(エクスプレッションペダルカーブ)

Normal, Slow, Fast

エクスプレッションペダルのペダルカーブを選択します。

* 初期値はNormalです。

8. Center Pedal Mode

5 functions

別売のGFP-3ペダルの中ペダルの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

■ Pedal Mode について

モード	説明
Normal	エディットメニューで指定した動作をします。
Setup+	次のセットアップメモリに切り替えます。
Setup-	前のセットアップメモリに戻ります。
Playback	曲の再生・停止に使用します。
Metro.	メトロノームを再生・停止します。

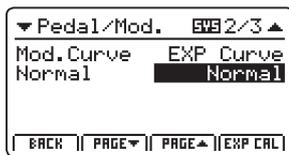
エクスペッションペダルの調整について

接続するエクスペッションペダルはメーカーやモデルによって調整範囲に差があります。

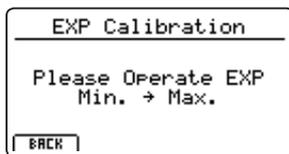
このキャリブレーション(再調整)機能は、実際に使用されるエクスペッションペダルに合わせて動作を調整します。

■ EXPペダルを再調整する

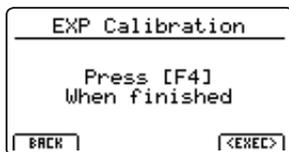
システムメニューのPedalの3ページ目を表示します。



[F4] ボタン (EXP CAL) を押して、再調整画面をディスプレイに表示します。



エクスペッションペダルを最小位置に移動し、その後最大位置に踏み込みます。



[F4] ボタン (EXEC) を押して、再調整を実行します。

自動的に計算され、調整を終了します。



3 MIDI

1. System Channel

VALUE : 01Ch ~ 16Ch

受信モードがPANELに設定されているときに使用する、MIDI受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

3. Key to USB

ON, OFF

操作をUSB端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

5. MIDI to USB

ON, OFF

MIDI INからの情報をUSB-MIDIに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

7. SETUP Program

ON, OFF

セットアップ変更時にプログラムチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP. 54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

9. SETUP Volume

ON, OFF

セットアップ変更時にボリュームの値を送信するかどうかを設定します。

* 詳細はP. 54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

11. Receive Mode

Panel, Multi, Omni ON

受信したMIDIデータをどのように扱うかを設定します。

モード	説明
Panel	MIDI情報はシステムチャンネルで設定されたMIDIチャンネルで受信し、パネル全体を制御します。
Multi	MIDI情報は、MIDI受信チャンネルでOff以外に設定された全てのMIDIチャンネル(1 ~ 16)で受信され、それぞれのMIDIチャンネルまたは、それぞれのZONEにMIDI情報が送られます。
Omni On	MIDIチャンネルにかかわらず、パネル全体を制御します。

* 初期値はPanelです。

13. Receive Channel

ON, OFF,
Main, Sub1, Sub2, Sub3

Receive Modeが“Multi”を設定されている場合の、MIDI受信チャンネルのON/OFF/各ZONEへ転送の設定をします。

* Zone Mode (INT/EXT/BOTH) 設定 (P. 21) に関わらず、MAIN, SUB1, SUB2, SUB3を選んだチャンネルは内部音色を演奏します。

2. Key to MIDI

ON, OFF

操作をMIDI OUT端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

4. MIDI to MIDI

ON, OFF

MIDI INからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

6. USB to MIDI

ON, OFF

USB-MIDIからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

8. SETUP Bank

ON, OFF

セットアップ変更時にバンクチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP. 54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

10. SETUP Knobs

ON, OFF

セットアップ変更時にノブに割り当てられているパラメータをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP. 54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

12. Program Change Mode

Panel, GM

プログラムチェンジモードを切り替えます。

モード	説明
Panel	パネルのボタン配列でバンク/プログラムチェンジ番号が送受信されます。
GM	GM規格を基本にした配列でバンク/プログラムチェンジ番号が送受信されます。 * GM機器と接続している場合はこちらを選択します。

* 初期値はPanelです。

* 本機はGM対応ではありませんので、GMに設定した場合でも、対応しないプログラムチェンジ番号があります。対応していない番号を受信すると、その番号の音色と近似の音色が選択されます。

4 Offset (オフセット)

1. EQ Offset ON/OFF

ON, OFF

EQオフセット機能のON/OFFを設定します。

EQオフセットは設定したEQセッティングを変更することなく、使用する環境の違い(例えば自宅とライブハウス等)に対応するため、EQにオフセットをかける機能です。

* 初期値はOFFです。

* EQオフセットはそれぞれのSETUPに保存されたEQに加算されます。加算後のEQは±10dBに制限されます。

3. EQ Offset Low

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

低音域(Lo)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5. EQ Offset Mid1

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

中音域(Mid1)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

2. Reverb Offset

VALUE : 0% ~ 100%

システム全体のリバーブの補正値を設定します。

リバーブオフセットは設定したリバーブセッティングを変更することなく、使用する環境の違い(例えば自宅とライブハウス等)の残響の違いに対応するため、オフセットをかける機能です。

* 初期値は100%です。

4. EQ Offset High

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

高音域の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

6. EQ Offset Mid2

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

中音域(Mid2)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5 User Edit (ユーザー)

ユーザータッチカーブやユーザー音律を作成します。

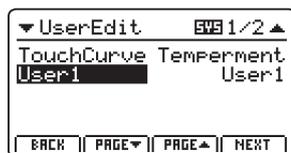
■ ユーザータッチカーブや、ユーザー音律を選択する

ユーザータッチカーブ/ユーザー音律を作成するシステムメニューのUser Editを選択した状態で：

ノブ[A]を回して設定したいタッチカーブを選択します。

ノブ[B]を回して設定したい音律を選択します。

ユーザータッチカーブと音律はカーソルボタンまたは [+ / YES] [- / NO] ボタンで選択することもできます。

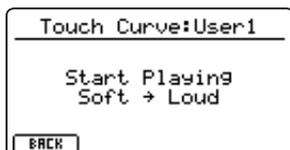


ユーザータッチカーブを作成する

1. タッチカーブの解析の準備をする

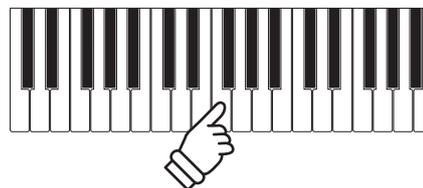
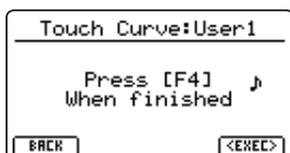
ユーザータッチカーブを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、タッチカーブの解析画面を表示します。



2. 鍵盤を弾いてカーブを作成する

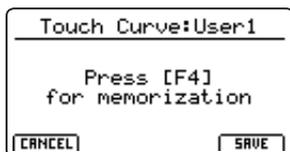
適当な鍵盤を最弱打から最強打まで弾いてください。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成されます。



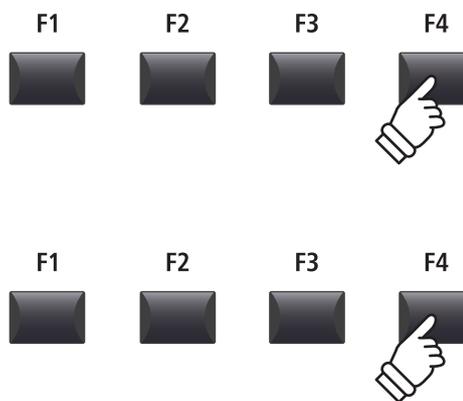
3. 解析を終了する

[F4] ボタン (EXEC) を押し、解析が終了します。

確認画面がディスプレイに表示されます。

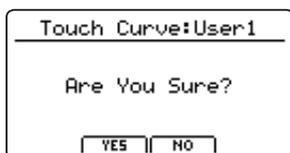


この状態で演奏し、新しいカーブを確認してください。
保存したい場合は [F4] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F1] ボタン (CANCEL) を押してください。



4. ユーザータッチカーブを保存する

[F2] ボタン (YES) を押し、保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押し、前の画面に戻ります。



* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

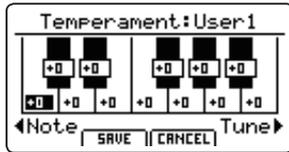
新しく作成されたユーザータッチカーブは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

ユーザー音律を設定する

1. ユーザー音律エディタ画面を表示する

ユーザー音律を選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー音律エディタの画面を表示します。



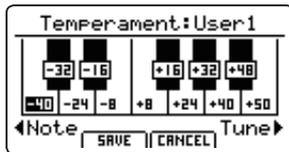
2. ユーザー音律を調整する

ノブ [C] を回して調整したい音を選択します。

ノブ [D] を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは -50 ~ +50cent の範囲で調整できます。(半音 = 100cent)

* 鍵盤を押して調整したい音を指定することもできます。

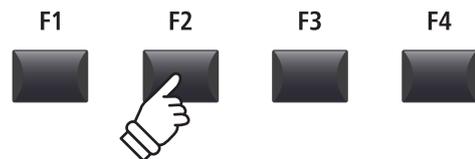
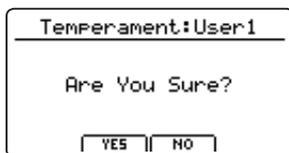


3. ユーザー音律を保存する

ピッチを調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。

[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザー音律は現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

ユーザー音律選択



* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

ユーザー 88 鍵ボリュームを設定する

1. ユーザー 88 鍵ボリュームエディタ画面を表示する

ユーザー 88 鍵ボリュームを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー 88 鍵ボリュームエディタの画面を表示します。



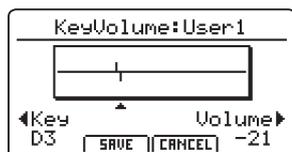
2. ユーザー 88 鍵ボリュームを調整する

ノブ [C] を回して調整したい鍵を選択します。
ノブ [D] を回して選択した音の音量を調整します。



* それぞれの鍵盤の音量は -50 ~ +50 (±1 = ±6/50dB) の範囲で調整できます。

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

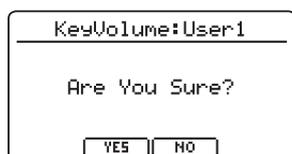
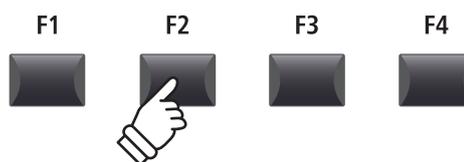


3. ユーザー 88 鍵ボリュームを保存する

音量を調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。

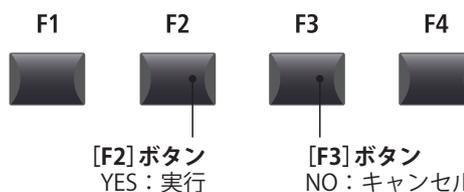


4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザー 88 鍵ボリュームは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。



ユーザー 88 鍵
ボリューム選択



* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

ユーザーストレッチチューニングを設定する

1. ユーザーストレッチチューニングエディタ画面を表示する

ユーザーストレッチチューニングを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザーストレッチチューニングエディタの画面を表示します。



2. ユーザーストレッチチューニングを調整する

ノブ[C]を回して調整したい鍵を選択します。
ノブ[D]を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは -50 ~ +50cent の範囲で調整できます。(半音 = 100cent)

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

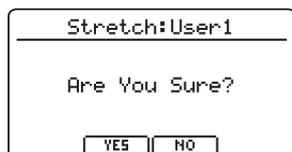
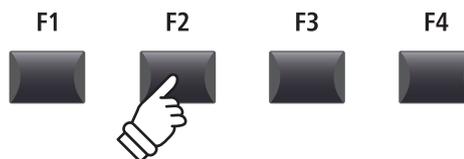


3. ユーザーストレッチチューニングを保存する

ピッチを調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザーストレッチチューニングは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。



* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

ユーザー VOICING を設定する

1. ユーザー VOICING エディタ画面を表示する

ユーザー VOICING を選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー VOICING エディタの画面を表示します。



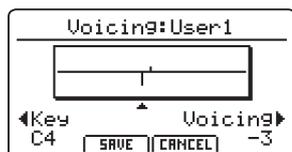
2. ユーザー VOICING を調整する

ノブ [C] を回して調整したい鍵を選択します。

ノブ [D] を回して選択した音の VOICING 調整を行います。

* それぞれの鍵盤は -5 ~ +5 の範囲で調整できます。「-5」がもっともメロウ、「+5」がもっともブライトな VOICING 調整になります。

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

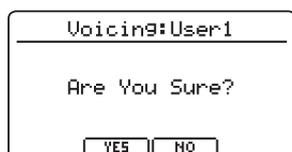
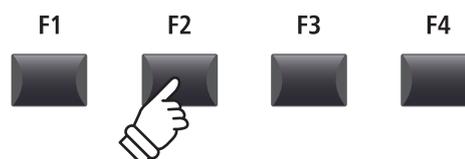


3. ユーザー VOICING を保存する

VOICING 調整を行った後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



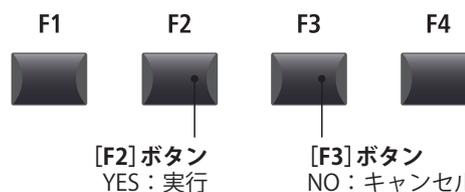
4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。

[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザー VOICING は現在選択中のセクションに一時的に使用されます。



* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

6 RESET(リセット)

各音色、セットアップなどの設定を工場出荷時の設定へ戻します。[CURSOR] ボタンを使って目的の機能を選び、[+ / YES] ボタンで実行してください。



リセット操作を行うと、データを元に戻すことはできません。
リセット機能を使用するときは大切なデータを失くさないようご注意ください。

1. Reset One Sound

現在選択中の音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

この機能を実行するためにシステムメニューに入る前に、目的の音色を選択しておいてください。

2. Reset One Setup

1つのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

現在選択中のセットアップが画面に表示されます。

* SETUP(セットアップ)セクションの[BANK] ボタンと[1] ~ [8] ボタンを使ってリセットするセットアップメモリを選択してください。

3. Reset All Sound

全ての音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

4. Reset All Setup

全てのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

5. Reset System

Utility, Pedal, Offset, MIDI(MIDIのエディットメニューのシステムパラメータ含む)などの全てのシステムパラメータを工場出荷時の状態に戻します。

6. Reset PowerOn

電源ON時の設定を工場出荷時の状態に戻します。

7. Reset Recorder

MIDIレコーダーの内部ソングメモリを全て消去します。

8. Factory Reset

全ての音色、セットアップ、システム、MIDIレコーダーの内部メモリを工場出荷時の状態に戻します。

PANIC ボタン

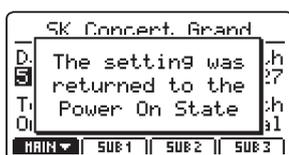
[PANIC] ボタンを1秒以上長押しすると、内部音色セクションを全て電源オン状態へ戻し、オールノートオフとリセットオール・コントローラーのMIDIメッセージを、接続された機器へ送信し、外部機器の発音を止めます。

外部MIDI機器の鳴りっ放しや、本体の設定を電源オン状態へ戻したい場合など、緊急事態の際に使用します。

■ PANIC ボタン機能を使用する

[PANIC] ボタンを長押しします。

1秒後、電源ON状態に戻ります。



PANIC



ロック (🔒) ボタン

ロックボタン (🔒) は演奏中の誤操作を防止する為に、様々な操作子の機能を一時的にロックすることができます。

■ ロック機能を使用する

🔒 ボタン (LOCK) ボタンを押します。

🔒 ボタン (LOCK) が点灯し、ディスプレイに状態が表示されます。



初期値ではパネルボタンとノブがロックされ、誤操作を防止します。

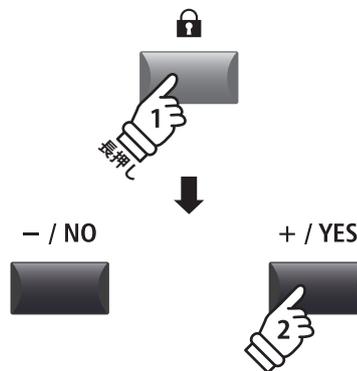
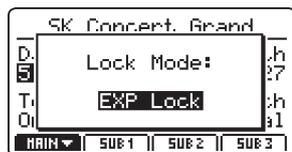
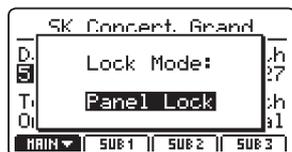
* マスターボリューム、ラインインボリュームはロックされません。

再び 🔒 ボタン (LOCK) を押すと、ロックが解除されます。



■ ロックする対象を変更する

🔒 ボタンを長押ししたまま [+ / YES] [- / NO] ボタンを押し、機能を選択します。



* ロックモードはシステムメニュー内でも変更できます。P. 105をご確認ください。

■ ロックモード

ロックモード	説明
Panel Lock	鍵盤、ホイール、ペダル、マスターボリューム、ラインインボリュームと 🔒 ボタン (LOCK) 以外をロックします。
Bend Lock	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod. Lock	モジュレーションホイールをロックします。
Center Lock	GFP-3の中ペダルをロックします。
Left Lock	GFP-3の左ペダルをロックします。
EXP Lock	エクスプレッションペダルをロックします。

困ったときは？

電源		参照
電源が入らない。	電源ケーブルが本体に正しく接続されていますか？（コンセント側と本体側をご確認ください）	P. 14
電源が突然切れた。	SYSTEMメニューで「AutoPowerOff」機能が設定されていませんか？	P. 106
発音		参照
電源が入っているのに、音が出ない。	MP7SEはスピーカーを内蔵しておりません。アンプやPA、ヘッドホン等の出力機器は正しく接続されていますか？また、接続しているアンプやPAは正しく設定されていますか？	P. 16
	マスターボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 10
	全てのゾーンの[ON/OFF]ボタンが消灯していませんか？	P. 20
	全てのゾーンがEXTモードになっていませんか？（[INT EXT]表示の赤色LEDが全て消灯していませんか？）	P. 21
	全てのゾーンのボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 20
	ローカルオフボタンが点灯していませんか？	P. 35
	エクスペッションペダルが、最小位置（かかと側）へ踏み込まれていませんか？	P. 15
	EDITメニューで  MasterVolパラメーターが0になっていませんか？	P. 40
音量が小さい、音の出ないZONEがある。	そのゾーンの[ON/OFF]ボタンが消灯していませんか？	P. 20
	そのゾーンはEXTモードになっていませんか？（[INT EXT]表示の赤色LEDが消灯していませんか？）	P. 21
	そのゾーンのボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 20
	そのゾーンの[ON/OFF]ボタンは緑色に点灯していませんか？緑色の場合、KEY RANGE（鍵域）パラメーターが設定されていますので設定内容を確認してください。	P. 22 P. 45
	EDITメニューでAMPのレベルが0になっていませんか？	P. 39
	モジュレーションホイールに、「Expression」機能が割り当てられていませんか？	P. 47
	そのゾーンのエクスペッション（EXP Pedal）設定が「Reverse」になっていませんか？	P. 48
	MIDIの受信モードが「マルチ受信モード」かつ受信チャンネルがMain、Sub1～3のいずれかに設定されていませんか？マルチモードではフェーダーやエディットメニューに対応したコントロールチェンジも受信しますので、これらのメッセージを受信すると手弾き演奏の音量なども変わります。ゾーンごとのMIDI演奏や、コントロールチェンジによるエディットが必要ない場合は、受信モードを「パネル受信モード」に設定してください。	P. 109 P. 157
特定の演奏、特定の音域で音が歪む。	演奏やレイヤー、エフェクトのセッティングによっては、ボリュームを大きくすると音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。	P. 10

特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる。	グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。	
	・ペダルを踏むとノイズがする → Damper Noise	P. 50
	・鍵盤を離すときにノイズがする → Fall-back Noise, Key-off Effect	P. 50
	・ノイズやキーンという金属的な音がする → Key-off Effect, Undamped Resonance, String Resonance	P. 50
	・音がこもった感じ、またはキンキンする → Topboard, Voicing	P. 50
	・ある音だけ音量が大きい → ユーザー 88鍵ボリューム	P. 113
	・ある音だけピッチがずれたように聴こえる → 音律、ユーザー音律、ユーザーストレッチチューニング	P. 43 P. 112 P. 114
タッチが効かない。	「Touch Curve」がオフになっていませんか？	P. 44
	「Dynamics」がオフになっていませんか？ Dynamicsがオフの場合はタッチは効きません。	P. 44
	「TriggerMode」でFast/Fast2が選ばれていませんか？ TriggerModeでFastが選ばれている場合はタッチは効きません。	P. 45
	SynthBassや、SawLead等タッチが効かない設定になっている音色があります。DCA Touch Depth, DCF Touch Depthを調整してください。	P. 40
TriggerMode=Fastを選んでスタック演奏すると2度なりする。	ハンマーアクション鍵盤の性質によるもので故障ではありません。スタック演奏での二度鳴りが問題になる場合、「TriggerMode」はNormalを選択してください。	
演奏中オルガン音色を切り替えると音切れする。	「DRAWBAR」音色カテゴリのサブカテゴリ [1] [2] [3] はトーンホイールオルガンモードです。シミュレーターの停止・再起動が必要になりますので、トーンホイール音色は音色切り替え時に一旦音切れしますが、故障ではありません。	P. 30

STORE		参照
オクターブシフトがSOUNDに保存されない。	KeySetupのパラメーターの内、鍵域/ペロシティ領域の設定に関わるもの (OctaveShift, ZoneTransepose, KeyRangeLo/Hi, VelocitySwitch) は、SETUPのみに保存されます。SOUNDには保存されませんので、故障ではありません。	
電源オン時の音色が、STOREしたときと違う。	「STORE POWER ON」では、4つのZONEで選ばれているそれぞれのSOUNDの設定の書き換えは行われません。全てのエディットメニューの設定を書き換えたい場合は、各ZONEで選ばれているSOUNDをそれぞれ保存してください。	P. 62 P. 64
SETUPを変更したとき、リズムパターンが変わらない。	クリックやリズムパターンが鳴っているときにSETUPを変更した場合は、メトロノームのクリックモード、リズムモードは変更されません。リズムパターンを変えて演奏したい場合は、お好みのリズムパターン選択をそれぞれ使用するSETUPに保存してください。	P. 63 P. 91

困ったときは？

ペダル、コントローラー		参照
ペダルやホイールが効かない。	ペダルやホイールの動作が無効になっていませんか？	P. 47 P. 58
	付属のダンパーペダルF-10Hが[FSW]端子や[EXP]端子に接続されていますか？付属のダンパーペダルF-10Hは、専用の[DAMPER(F-10H)]端子に接続してください。	P. 16
モジュレーションレンジパラメーターが効かない。	「Modulation」機能以外が割り当てられていませんか？モジュレーションレンジパラメーターは「Modulation」機能が割り当てられていないコントローラーには効きません。	P. 47
モジュレーションホイールを動かした際、ノイズがする。	一部の音色には、エディットした状態によってパラメーターを変更したときに若干のノイズを発生するものがありますが、故障ではありません。	
フットスイッチが効かない、またフットスイッチを接続するとMP7SEが誤動作する。	市販のフットスイッチが[DAMPER(F-10H)]端子や[EXP]端子に接続されていますか？市販のフットスイッチは、[FSW]端子に接続してください。	P. 16
フットスイッチが踏んだ状態のままになっている。	ご使用のフットスイッチと極性の設定が合っていない可能性があります。ノーマルオープン仕様のフットスイッチを使用する場合は、動作が逆になりますので[SYSTEM]でフットスイッチの極性を“Reverse”に設定してください。	P. 107
エクスプレッションペダルが効かない、またペダルを接続するとMP7SEが誤動作する。	ご使用のエクスプレッションペダルとMP7SEの極性が合っていない可能性があります。パネル背面のEXP TYPEスイッチの極性を切り替えてみてください。	P. 15
高音域でダンパーペダルが効かない。	ピアノには、一番高い領域には“ダンパー”という止音装置が付いておりません。MP7SEのピアノ音色はその機構を忠実に再現しているため、最高音域18音についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。この音域ではダンパーペダルは効きませんが、故障ではありません。	
ダンパーペダルを踏みなおしても、踏みなおす前の音が残っている。	ピアノは、音のリリース(余韻)が残っている状態でペダルを踏みなおすと、再度ダンパーが上がった状態になりその時点で鳴っている音はそのまま残ります。MP7SEのピアノ音色はその機構を忠実に再現しているため、すばやくペダルを踏みなおした場合は前の音が切れずに残りますが、故障ではありません。	
ライン入力		参照
外部機器の出力レベルが高すぎる、小さすぎる。	ラインインフェーダーを調節してください。	P. 10
ラインインフェーダーの調整に使える範囲が狭すぎる。	[SYSTEM]のインプットレベル([LINE IN]端子の入力レベル)を調節してください。	P. 106
MIDI		参照
MIDIセクションの演奏が録音できない。	内部レコーダーに録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定するTransmitRecorderパラメーターは、初期設定がOffになっています。「TransmitRecorder = On」に設定を変更して再生してください。	P. 55

MMCで外部レコーダーが制御できない。	MMCは、初期設定がOffになっています。「MMC=On」に設定を変更し、6つのレコーダーボタンにご希望の制御コマンドを割り当ててご使用ください。	P. 55
	デバイスIDは合っていますか？デバイスIDが、目的の機器と合っているかどうかを確認してください。特に指定の必要が無い場合は、Dev.ID=127(初期値、All)に設定してください。	P. 55
	外部レコーダーはMMCに対応していますか？ご使用の機器の取扱説明書を参照ください。	
	外部レコーダーの動作クロックが外部に設定されていませんか？MP7SEはMTC(MIDIタイムコード)やMIDIクロックを送信しませんので、外部レコーダーは自身のクロックで動作するように設定してください。詳細はご使用の機器の取扱説明書を参照ください。	
MIDIデータ再生で、ダンパーペダルがオフされない。	MP7SEのピアノ音色は実際のピアノの機構を忠実に再現しているため、ペダルオフとペダルオンの間隔が極端に短いデータを再生した場合は、前の音が切れずに残ります。ピアノ音色をMIDIデータ再生で演奏する場合、ダンパーペダルを離して踏むまでの間隔は実際の演奏に近いタイミングになるようにMIDIデータをエディットしてください。	
マルチ受信モードでZONEのOn/Offボタンを消灯させてもMIDI受信がミュートされない。	ZONEのオンオフボタンは鍵盤と内部音源を接続/切断するものですので、故障ではありません。これによりZONEごとにMP7SEの鍵盤と外部MIDI鍵盤を選択して演奏することができます。	P. 20 P. 109
	(例)外部MIDI鍵盤でベース音色、MP7SEの鍵盤でピアノ演奏 1.Mainゾーンにお好みのピアノ音色、Sub1ゾーンにベース音色を選択します。 2.Sub1ゾーンのOn/Offボタンを消灯します。 3.「Receive Mode=Multi」「Rcv.Ch3=Sub1」に設定します。(その他はデフォルト(On)) 4.外部MIDI鍵盤の送信チャンネルを3チャンネルに設定します。	
	受信チャンネルに目的のZONE(MainまたはSub1～3)が割り当てられていることを確認してください。	P. 109
USB to HOST		参照
USBケーブルでコンピューターに接続した後、鍵盤を弾いてもソフトウェアが反応しない。	コンピューターにUSB MIDIドライバがインストールされていることを確認してください。	P. 123
	ソフトウェアの入出力デバイスに、「USBオーディオデバイス」または「KAWAI USB MIDI」が選択されていることを確認してください。	P. 123
USB to DEVICE		参照
USBメモリが認識されない、または動作しない。	USBメモリのファイルシステムが、FATまたはFAT32でフォーマットされていることを確認してください。また、ライトプロテクト機能のあるUSBメモリをご使用の場合はライトプロテクトが有効になっていないかをご確認ください。	P. 14
	USBメモリを挿しなおしても認識されない場合は、他のUSBメモリをお試しください。	
	ワイヤレスフラッシュメモリーは使用できません。	
USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる。	8Gバイト以上等の容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	

困ったときは？

選択中のSOUNDやSETUPが、正しくUSBメモリーに保存されない。	保存したいSOUNDやSETUPは内部メモリーへ保存されていますか？USBメモリーへは、内部メモリーのデータを保存しますので、USBメモリーへ保存する前に必ず内部メモリーにSTOREしてください。	P. 62 P. 63 P. 99
ファイル名が文字化けする。	MP7SEのファイル名表示は半角英数字(7bit ASCIIコード)のみ対応しています。全角文字などそれ以外のコードは、文字化けて正しく表示されませんが故障ではありません。コンピューター等でファイル名を半角英数字に変更してご利用ください。	P. 99
ファイル名で選べないASCII文字がある。	" * / : < > ? \ は、ファイル名に使用することができませんので選べません。また、ファイル名の先頭ではスペース(空欄)と.(ドット)は選ぶことはできません。	P. 99

MP3/WAVオーディオ、SMF		参照
曲(MP3,WAVE)を再生しても音が出ない。	USB AUDIO PLAYERのボリュームが0になっていませんか？	P. 83
	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。“オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	P. 82
USBメモリーに保存されている曲が再生できない。	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。“オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	P. 82
	お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。	
SMF(Standard MIDI file)が変な音で再生される、再生されないパートがある。	MP7SEは内蔵レコーダーで録音したデータを、SMFフォーマットでセーブ/ロードします。内部メモリは鍵盤演奏1トラック(+ドラムパターン1トラック)までですので、一般のマルチトラックの曲データは全パートをロードすることはできません。	P. 98
	MP7SEで保存したSMFは、セットアップ情報を特殊なシステムエクスクルーシブデータで保存しています。PCなどで再生した場合は音色が全てピアノになりますが故障ではありません。	
	MP7SEの内蔵レコーダーには、プログラムチェンジメッセージはロードできません。	
	MP7SEのセットアップ情報を持たないSMFは、ロード実行時のパネル設定のセットアップ情報を、その曲の音色情報としてメモリに保存します。ロード前に[LISTEN]ボタンで保存する内容を確認することができますので、再生内容を確認の上、ロードを実行してください。	P. 98
	一般のSMFは内部メモリへロードせず、SMFダイレクトプレイヤーを使ってUSBメモリから直接再生してください。	P. 77
	MP7SEのSMFダイレクトプレイヤーはGM規格には対応しておりません。一部のSMF(スタンダードMIDIファイル)は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。	P. 77
MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)。	オーディオレコーダー画面の録音ゲインの設定を調節してください。	P. 80

USB-MIDIについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア(USB-MIDIドライバ)がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

■ USB MIDI ドライバ

OS	USB MIDI Driver Support
Windows ME Windows XP (no SP, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 (no SP, SP1) Windows 7 64-bit Windows 8 / 8.1 Windows 8 / 8.1 64-bit Windows 10 Windows 10 64-bit	<p>Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバがインストールされます。</p> <p>* アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は、MIDIデバイスとしてWindows ME/XPの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista/7/8の場合は「USB-MIDI」を指定してください。</p>
Windows 98 se Windows 2000 Windows Vista (no SP)	<p>指定の専用USB-MIDIドライバをコンピュータに追加する必要があります。 下記のカワイホームページより専用USBドライバをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 → http://www.kawai.jp/download/dc/usb-midi/</p> <p>* パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバをインストールするか、「ドライバの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。</p>
Windows Vista 64-bit (no SP)	<p>USB-MIDIをサポートしていません。 SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。</p>
Mac OS X	<p>Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバは必要ありません。</p> <p>* アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。</p>
Mac OS 9	<p>OS9以前のMacintoshはサポートしていません。 市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。</p>

■ USBについての注意事項

- USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用することが可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項(P. 109)をご確認ください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
- 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
 - 「ドライバのインストール中」
 - 「コンピュータの起動中」
 - 「MIDIアプリケーションが動作中」
 - 「コンピュータと通信中」
 - 「省電力モードで待機中」
- お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* 「MIDI」は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

* Macintoshは、Apple Inc. の登録商標です。

* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアアップデート

この項ではプログラムのアップデートがKAWAIから発行された際のMP7SEのソフトウェアのアップデートの方法を記載しています。

ソフトウェアアップデートのときにはこのページの内容をご確認ください。

また、アップデートを行う前にAllBack機能で、全システム設定をUSBメモリに保存しておくことをお勧めします。(P.100参照)

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

[STORE] ボタンを押しながら電源を立ち上げます。

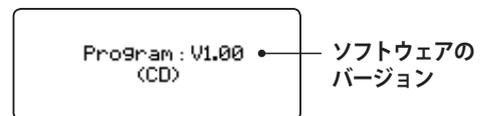
ディスプレイに現在インストールされているプログラムのバージョンが表示されます。

もしバージョンがこれからインストールするバージョンよりも新しければ、インストールする必要はありません。

* 電源を切って再び入れると通常モードで立ち上がります。

もしバージョンが古ければ、下記の作業を行ってください。

STORE



1. USBメモリを準備する

USBメモリのルートフォルダ(一番上の階層)に“MP7SE_040.SYS”をコピーしてください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



2. USBメモリを接続する

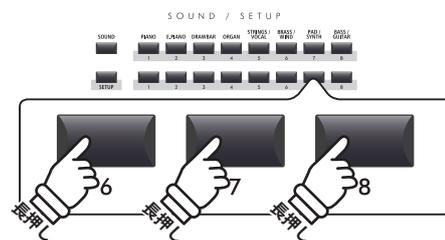
電源を切った状態で：

USBメモリをUSB端子に挿してください。



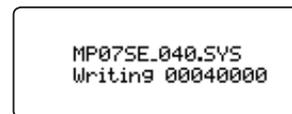
3. アップデートを始める

SOUND/SETUPセクションの中段の[6] [7] [8] ボタンを同時におしながら電源を投入します。



数秒後、アップデートは自動的に始まり、進捗がディスプレイに表示されます。

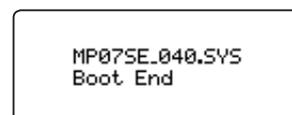
* アップデート中はUSBメモリを抜かないでください。



4. アップデートが終わったら、USBメモリを抜く

アップデートが終わったら、右の図のような画面がディスプレイに表示されます。

USBメモリを抜いて、一度電源を切ります。再び電源を投入すると、バージョンアップされたMP7SEが起動します。



* ソフトウェアのアップデートが失敗した場合、再び手順1からお試してください。

音色リスト

		PIANO	E.PIANO	DRAWBAR	ORGAN
1	A	SK Concert Grand	Classic EP	T.Wheel 1-A	Church Organ
	B	SK Studio Grand	Classic EP 2	T.Wheel 1-B	Full Pipes
	C	SK Mellow Grand	Classic EP 3	T.Wheel 1-C	Full Ensemble
	D	Standard Grand	Classic EP 4	T.Wheel 1-D	Church Organ 2
2	A	EX Concert Grand	Modern EP	T.Wheel 2-A	PrincipleChoir
	B	EX Studio Grand	Modern EP 2	T.Wheel 2-B	Small Ensemble
	C	EX Mellow Grand	Modern EP 3	T.Wheel 2-C	Small Ens. 2
	D	EX Jazz Grand	Modern EP 4	T.Wheel 2-D	Baroque
3	A	SK-5 Grand	60's EP	T.Wheel 3-A	Chiffy Tibia
	B	SK-5 StudioGrand	60's EP 2	T.Wheel 3-B	8'&4'Principle
	C	SK-5 MellowGrand	Electric Grand	T.Wheel 3-C	Stopped Pipe
	D	Studio Grand	Electric GP 2	T.Wheel 3-D	Principle Pipe
4	A	Upright Piano	Dolce EP	Blues Organ	8' Celeste
	B	Bright Upright	Legend EP	Drawbar Organ	Diapason
	C	Old Upright	Phase EP	Drawbar Organ2	Voice Celeste
	D	Honky Tonk	Classic EP 5	Gospel Organ	Baroque Mix
5	A	PopPiano	Crystal EP	Ballad Organ	Reeds
	B	Bright Pop Piano	New Age EP	Soft Solo	8' Reed
	C	Pop Piano 2	New Age EP2	Odd Man	Reed Pipes
	D	Pop Piano 3	New Age EP3	Be Nice	Posaune
6	A	Modern Piano	Clavinet	Jazz Organ	Theater Organ
	B	Mono SK-EX Grand	Synth Clavinet	Drawbar Organ3	Theater Organ2
	C	Mono EX Grand	Clavi & Marim	Perc. Organ	Theater Organ3
	D	GM Piano	Clavi Phaser	Perc. Organ 2	Theater Tibia
7	A	Rock Piano	Vibraphone	Drawbar Organ4	Elec. Organ
	B	Piano Oct.	Celesta	Full Organ	Elec. Organ 2
	C	Piano & EP	Music Box	Jazzer	60's Organ
	D	New Age Piano	Toy Piano	Jazz Organ 2	Pump Organ
8	A	Harpsichord	Marimba	Rock Organ 2	Fr. Accordion
	B	Harpsichord2	Xylophone	Rock Organ	TangoAccordion
	C	Harpsi. Octave	Steel Drums	Drawbar Organ5	Harmonica
	D	Harpsi & Clavi	Bells	Screamin'	Kenban Harmo.

		STRINGS / VOCAL	BRASS / WIND	PAD / SYNTH	BASS / GUITAR
1	A	String Pad	Exp Brass	Pad 1	Acc. Bass
	B	Warm Strings	Exp Saxes	Pad 2	Acc. Bass&Ride
	C	Warm Strings 2	Tp&Bone&Tenor	Pad 3	Electric Bass
	D	Synth Strings	Flugel & Tenor	Saw Pad	Electric Bass2
2	A	Beautiful Str.	Brass Section	Pad 4	Finger Bass
	B	String Ens.	Synth Brass	Bowed Pad	FingerSlapBass
	C	String Ens. 2	Synth Brass 2	NoisyPad	Pick Bass
	D	Full Orchestra	Jump Brass	Sweep Pad	Fretless Bass
3	A	Small Str. Ens	Exp Trumpet	Saw Lead LP24	Synth Bass
	B	Quartet	PlungerTrumpet	Saw Lead LP12	Synth Bass 2
	C	Str. Bass Ens.	Trumpet Shake	Saw Lead HP	Rubber Bass
	D	Str. Sustain	Harmon Mute Tp	Saw Lead BP	Warm SynthBass
4	A	Pizzicato	Exp Trombone	Square Lead LP24	Exp. Nylon Gtr
	B	TremoloStrings	Lead Trombone	Square Lead LP12	Pick Nylon Gtr
	C	Str. Sforzando	PlungerTrombon	Square Lead HP	Exp Guitar
	D	Orchestra Hit	ClosedMuteBone	Square Lead BP	Exp Guitar 2
5	A	Passionate Vln	Exp Alto	Pulse Lead LP24	Rhythm Guitar
	B	Classic Violin	Lead Alto	Pulse Lead LP12	Overdrive
	C	Passionate Vc	Soft Alto	Pulse Lead HP	Distortion
	D	Classic Cello	Lead Soprano	Pulse Lead BP	Muted Electric
6	A	Choir	Exp Tenor	Polysynth	Pedal Steel
	B	Breathy Choir	Ballad Tenor	PolysynthOct	HawaiianGuitar
	C	Pop Aahs	Growl Tenor	SqrPoly	Jazz Guitar
	D	Slow Choir	Baritone Sax	Warm Lead	Jazz Guitar 2
7	A	Jazz Ensemble	Exp Flute	Oct Saw	Banjo
	B	Female Scat	Ballad Flute	Oct Pulse	Mandolin
	C	Pop Ensemble	Flute Overblow	Saw HPF	Sitar
	D	Contemp Ens.	Flute Flutter	Sqr QTC	Harp
8	A	Itopia	Oboe	Noise UpDown	Ambience Set
	B	Halo Pad	Bassoon	Noise Open	Plutonium Set
	C	Halo Pad 2	Jazz Clarinet	Resonance Voice	Room Set
	D	Synth Vocals	Pan Flute	Resonance Rise	Analog Set

リズムパターンリスト

16 Swing

- 1 Funk Shuffle 1
- 2 Funk Shuffle 2
- 3 Hip Hop 1
- 4 Hip Hop 2
- 5 Hip Hop 3
- 6 Hip Hop 4
- 7 16 Shuffle 1
- 8 16 Shuffle 2
- 9 16 Shuffle 3

16 Funk

- 10 Funky Beat 1
- 11 Funky Beat 2
- 12 Funky Beat 3
- 13 Funk 1
- 14 Funk 2
- 15 Funk 3

16 Straight

- 16 Jazz Funk
- 17 16 Beat 1
- 18 16 Beat 2
- 19 16 Beat 3
- 20 16 Beat 4
- 21 Ride Beat 4
- 22 Rim Beat
- 23 Roll Beat
- 24 Light Ride 1
- 25 Dixie Rock

16 Latin

- 26 Surdo Samba
- 27 Latin Groove
- 28 Light Samba
- 29 Songo
- 30 Samba
- 31 Merenge

16 Dance

- 32 Funky Beat 4
- 33 16 Beat 5
- 34 Disco 1
- 35 Disco 2
- 36 Techno 1
- 37 Techno 2
- 38 Techno 3
- 39 Heavy Techno

16 Ballad

- 40 Ballad 1
- 41 Ballad 2
- 42 Ballad 3
- 43 Ballad 4
- 44 Ballad 5
- 45 Light Ride 2
- 46 Electro Pop 1
- 47 Electro Pop 2
- 48 16 Shuffle 4

8 Ballad

- 49 Slow Jam
- 50 50's Triplet
- 51 R&B Triplet

8 Straight

- 52 8 Beat 1
- 53 8 Beat 2
- 54 Smooth Beat
- 55 Pop 1
- 56 Pop 2
- 57 Ride Beat 1
- 58 Ride Beat 2
- 59 Ride Beat 3
- 60 Slip Beat

8 Rock

- 61 Jazz Rock
- 62 8 Beat 3
- 63 Rock Beat 1
- 64 Rock Beat 2
- 65 Rock Beat 3
- 66 Rock Beat 4
- 67 Blues/Rock
- 68 Heavy Beat
- 69 Hard Rock
- 70 Surf Rock
- 71 R&B

8 Swing

- 72 Motown 1
- 73 Fast Shuffle
- 74 Motown 2
- 75 Country 2 Beat

Triplet

- 76 Triplet Rock 1
- 77 Triplet Rock 2
- 78 Bembe
- 79 Rock Shuffle 1
- 80 Rock Shuffle 2
- 81 Boogie
- 82 Triplet 1
- 83 Triplet 2
- 84 Reggae
- 85 Gospel Ballad
- 86 Waltz

Jazz

- 87 H.H. Swing
- 88 Ride Swing
- 89 Fast 4 Beat
- 90 Afro Cuban
- 91 Jazz Waltz 1
- 92 Jazz Waltz 2
- 93 5/4 Swing

8 Latin

- 94 H.H. Bossa
- 95 Ride Bossa
- 96 Beguine
- 97 Mambo
- 98 Cha Cha
- 99 Tango
- 100 Habanera

EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト

1. Chorus

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	Speed	Depth	PreDly	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-	-
Classic		Spread	Inten.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	UprSpd	UprDpt	PreDly	SplitF	-	-
3-Phase		DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-
Wide		DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-
Envelope		Depth	Speed	Sens.	PreDly	Phase	-	-	-	-	-
Triangle	●	DryWet	Speed	Depth	PreDly	Phase	-	-	-	-	-
Sine	●	DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-

2. Flanger

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-
2-Band		DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	UprSpd	UprDpt	F.Back	PreDly	SplitF	-
Touch		DryWet	Sens.	F.Back	PreDly	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Sine	●	DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	-	-	-	-	-
Triangle	●	DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	Phase	-	-	-	-

3. Phaser

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Warm		DryWet	Speed	Depth	Reso.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic		DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-
8-Stage		DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	-	-	-	-	-
2-Band		DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	LwrMnu	UprSpd	UprDpt	UprMnu	SplitF	-
Touch		DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
St.2-Stage	●	DryWet	Speed	Depth	Manual	Phase	-	-	-	-	-

4. Wah

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
ClassicTch		DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
ClassicLfo		DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-
ClassicPdl		DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
LpfTch	●	DryWet	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-	-
LpfLfo	●	DryWet	Speed	Depth	Manual	-	-	-	-	-	-
LpfPdl	●	DryWet	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-	-

5. Tremolo

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		Depth	Balanc	LwrSpd	UprSpd	SplitF	-	-	-	-	-
VibratoTrm		Depth	Speed	Vib.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
Sine	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Square	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Saw	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト

6. Auto Pan

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		Depth	Balanc	LwrSpd	UprSpd	SplitF	-	-	-	-	-
Envelope		Depth	Speed	Sens.	-	-	-	-	-	-	-
Standard	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

7. Delay / Reverb

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Standard		DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
PingPong		DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
LCR		DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
3-Tap		DryWet	C.Time	C.Gain	F.Back	H.Damp	L.Time	L.Gain	R.Time	RightG	-
Classic	●	DryWet	Time	F.Back	-	-	-	-	-	-	-
Short	●	DryWet	Time	F.Back	-	-	-	-	-	-	-
Ambience		DryWet	Size	H.Damp	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
EarlyRef		DryWet	Size	PreDly	LPF	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-

8. Pitch Shift

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Detune		DryWet	Fine	-	-	-	-	-	-	-	-
FeedBack		DryWet	Fine	Coarse	Delay	F.Back	H.Damp	-	-	-	-
Standard	●	DryWet	Fine	Coarse	-	-	-	-	-	-	-

9. Compressor

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
2-Band		Gain	Balanc	LRatio	LThrsh	LwrAtk	Releas	URatio	UThrsh	UprAtk	SplitF
Standard	●	Gain	Ratio	Trshld	Attack	Releas	-	-	-	-	-

10. Overdrive

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	Drive	Gain	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
Classic	●	DryWet	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-	-
Distortion	●	DryWet	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-	-

11. EQ / Filter

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
4-BandEQ		Gain	Low	Mid1	Mid1Q	Mid1F	High	Mid2	Mid2Q	Mid2F	-
7-BandEQ		Gain	100Hz	200Hz	400Hz	800Hz	1.6kHz	3.2kHz	6.4kHz	-	-
Standard	●	Gain	Low	Mid	High	Mid F	-	-	-	-	-
Enhancer	●	DryWet	Depth	-	-	-	-	-	-	-	-
10-PoleFlt		DryWet	Freq.	Sens.	Gain	LpfHpf	-	-	-	-	-

12. Rotary

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Slow/Fast	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Rot:Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-	-
Warm		Slow/Fast	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Rot:Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-	-
Dirty		Slow/Fast	Rot:Depth	Rot:AccSpd	Rot:Spread	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:LowEQ	Rot:HighEQ	Rot:Drive	Rot:Gain
+Vib/Cho		Slow/Fast	Rot:Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:AccSpd	Rot:Spread	Rot:VibCho	Rot:Mode	-	-
Single	●	Slow/Fast	Rot:Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:AccSpd	Rot:Spread	-	-	-	-

13. Groove

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
S/H Flg		Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Pha		Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Wah		Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Pan	●	Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Pan	Grv:Attack	-	-	-	-	-	-

14. Misc

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
RingMod		Mod:DryWet	Mod:Freq.	Mod:LowEQ	Mod:HighEQ	-	-	-	-	-	-
Lo-Fi		Mod:DryWet	Mod:ModSpd	Mod:ModDpt	Mod:S.Rate	Mod:Reso.	Mod:Filter	-	-	-	-

15. Chorus+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

16. Phaser+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Wah	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト

17. Wah+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-
Flanger	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Tremolo	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-

18. EQ+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:Mid F	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas

19. Enhancer+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Enh:DryWet	Enh:Depth	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-	-
Flanger	Enh:DryWet	Enh:Depth	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-	-
Phaser	Enh:DryWet	Enh:Depth	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-	-
Wah	Enh:DryWet	Enh:Depth	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-	-
Tremolo	Enh:DryWet	Enh:Depth	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-	-
AutoPan	Enh:DryWet	Enh:Depth	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-	-
Delay	Enh:DryWet	Enh:Depth	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-	-
Compressor	Enh:DryWet	Enh:Depth	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	-	-	-

20. Pitch Shift+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Wah	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-
Tremolo	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-

21. Compressor+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
OverDrive	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-

22. Overdrive+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-
Flanger	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Wah	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-
Tremolo	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-
EQ	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	-	-

23. Parallel

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Cho II Flg	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Cho II Pha	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Cho II Wah	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Cho II Trm	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
Cho II Pan	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Cho II Dly	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

■ Kawai MP7SE Stage Piano

鍵盤	88 鍵レスポンシブ・ハンマー・アクションIII アイボリータッチ(象牙調仕上げ)レットオフフィール	
音源	HI-XL88鍵ステレオサンプリング	
音色	256音色 (8カテゴリ)	PIANO x 32, E.PIANO x 32, DRAWBAR x 32, ORGAN x 32, STRINGS/VOCAL x 32, BRASS/WIND x32, PAD/SYNTH x 32, BASS/GUITAR x 32
同時発音数	最大256音	
ゾーン	タイプ	MAIN, SUB1, SUB2, SUB3
	モード	INT, EXT, BOTH
リバーブ	タイプ	6タイプ(Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, Live Hall, Cathedral)
	パラメータ	PreDelay, Reverb Time, Reverb Depth
エフェクト	タイプ	129タイプ(MAIN ZONE), 23タイプ(SUB ZONE)
	パラメータ	エフェクトタイプにより異なる(最大10パラメータ)
	モジュール	MAIN ZONE : EFX1, EFX2 SUB ZONE : EFX
アンプシミュレータ MAIN ZONEのみ	タイプ	5タイプ(S. Case, M. Stack, J. Combo, F. Bass, L. Cabi)
	パラメータ	Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Frequency, Mic Type, Mic Position, Ambience
Tonewheel Organ MAIN ZONEのみ	ドローパー	16', 5 1/3', 8', 4', 2 2/3', 2', 1 3/5', 1 1/3', 1' (パネルフェーダー・ノブ・MIDIによりリアルタイムに調整可能)
	パーカッション	Off/On, Normal/Soft, Slow/Fast, 2nd/3rd
バーチャル テクニシャン	タッチカーブ	6タイプ(Light+, Light, Normal, Heavy, Heavy+, Off), User1~5
	パラメータ	piano: Voicing, String Resonance, Undamped Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Stereo Width e.piano/harpsi/bass: Key-off Noise, Key-off Delay drawbar: Key Click Level, Wheel Noise Level
	音律& チューニング	7種類(Equal(平均律), Pure Major/Minor(純正律 長調/短調), Pythagorean(ピタゴラス音律), Meantone(中全音律), Werkmeister(ヴェルクマイスター第三法), Kimberger(キルンベルガー第三法)), User1~2 Fine Tune, Stretch Tuning, Key of Temperament
EQ(イコライザ)	4バンドEQ(Low Gain, Mid1 Gain, Mid1 Q, Mid1 Freq., Mid2 Gain, Mid2 Q, Mid2 Freq., High Gain)	
レコーダー	内部	10ソング、総記憶音数約90,000音 移調、オーディオ変換、SMF読み出し、SMF保存
	オーディオ	MP3/WAV再生、MP3/WAV録音、オーバーダビング、録音ゲイン調整
メトロノーム	クリック	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8
	リズム	100種類
内部メモリ	SOUND	256種類(8x8x4)
	SETUP	256種類(8x8x4)
	POWERON	1種類
USB機能	Load/Save	One Sound, One Setup, SMF, All Sound, All Setup, All Backup
	その他	Delete, Rename, Format
エディットメニュー	INTモード	116パラメータ(Reverb, EFX/AMP, Sound, Tuning, Key Setup, Controllers, Knob Assign, Virtual Tech.)
	EXTモード	64パラメータ(Channel/Program, SETUP, Transmit, MMC, Key Setup, Controllers, Knob Assign)
システムメニュー	52パラメータ(Utility, Pedal, MIDI, Offset, User Edit, Reset)	
ディスプレイ	128x64ドットマトリクスLCD	
パネルコントロール	ボリューム、ラインインボリューム、ZONEミキサー、アサインノブA~D、ピッチバンド、モジュレーション、SW1、SW2	
ジャック	出力	ラインアウト(L/MONO) : 標準、ヘッドホン
	入力	ラインイン(L/MONO) : 標準
	MIDI/USB	MIDI IN, MIDI OUT, MIDI THRU, USB to Host, USB to Device
	ペダル	ダンパー (F-10H)、ダンパー/ソステヌート/ソフト(GFP-3)、フットスイッチ、エクスプレッション(EXP TYPEスイッチ付き)
電源	AC IN	
消費電力	20 W	
寸法	1362(W)x339(D)x172(H) mm	
重量	22.5 kg	
同梱物	ダンパーペダル(F-10H)、譜面台、電源コード、取扱説明書、保証書、	

※ 仕様は告知なしに変更される場合があります。

1. Recognised data

- 1.1 Channel Voice Message
- 1.2 Channel Mode Message
- 1.3 System Realtime Message

2. Transmitted data

- 2.1 Channel Voice Message
- 2.2 Channel Mode Message
- 2.3 System Realtime Message

3. Exclusive data

- 3.1 MMC Commands
- 3.2 Parameter Send
- 3.3 Setup Parameters: Global Section
- 3.4 Setup Parameters: EDIT Menu
- 3.5 Setup Parameters: SYSTEM Menu
- 3.6 Assignable Knob Parameters

4. SOUND/SETUP Program/Bank

- 4.1 SETUP Program Number Table

5. Program Change Number List

6. Control Change Number (CC#) Table

MIDI Implementation Chart

1 Recognised Data

1.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = Bank Number MSB		:00H-7fH (0 ~ 127)
ll = BankNumber LSB		:00H-7fH (0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	01H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Modulation depth		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN *see RPN/NRPN chapter		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	07H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Volume		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0aH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv=Panpot		:00H - 40H - 7fH(left ~centre~right)	Default = 40H(centre)

1.1 Channel Voice Message (cont.)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Expression		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63=OFF, 64 - 127=ON			

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	42H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	46H	vvH	Sustain Level
BnH	47H	vvH	Resonance
BnH	48H	vvH	Release time
BnH	49H	vvH	Attack time
BnH	4aH	vvH	Cutoff
BnH	4bH	vvH	Decay time
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

1.1 Channel Voice Message (cont.)

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number		
ll=LSB of the NRPN parameter number		

NRPN numbers implemented in MP7SE are as follows

NRPN # Data

MSB	LSB	MSB	Function & Range		Default
01H	08H	mmH	Vibrato Rate mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry

* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

mm=MSB of the RPN parameter number

ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP7SE are the followings

RPN # Data

MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range	Default
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity mm :00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H	Default = 02H
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning mm,ll :20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cents])	
00H	05H	mmH	llH	Modulation Depth Range mm,ll :00 00H - 06 00H (0~600[cents])	Default = 00H/40H (+/-50 cents)
7fH	7fH	--	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte	
CnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value		:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192)

Default = 40 00H

1.2 Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

1.3 System Realtime Message

Status	
FEH	Active sensing

2 Transmitted Data

2.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	ccH	vvH

* Sending by Assignable Control Knobs

Program Change

Status	2nd Byte	
CnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number		:00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte	
DnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Value		
*Sending only when Controller or Knob=AfterTouch		

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value		:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

2.2 Channel Mode Message

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

2.3 System Realtime Message

Status

FAH	Start
FBH	Continue
FCH	Stop

*Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

3 Exclusive Data

3.1 MMC Commands

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	Universal Real Time	7FH	
3	Device ID	0-7FH	
4	MMC command	06H	
5	Command Number	01-0DH	* see table right
6	EOX	F7H	

* Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

* Transmit only

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

3.2 Parameter Send

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	KAWAI ID	40H	
3	Channel no.	0-0FH,7FH	System Channel = 0-FH, Global = 7FH
4	Function no.	10H	Parameter Send
5	Group no.	00H	MI Group ID
6	Machine no.	13H	Machine ID
7	data1	50-5FH	Command ID
8	data2	0-7FH	Sub Command ID
9	data3	0-7FH	Part number (System = 7FH)
10	data4~	0-7FH	data max 18byte
	EOX	F7H	

Part number :

	MP7SE *pp=00~07
00H	INT1 (MAIN)
01H	INT2 (SUB1)
02H	INT3 (SUB3)
03H	INT4 (SUB3)
04H	EXT1 (MAIN)
05H	EXT2 (SUB1)
06H	EXT3 (SUB2)
07H	EXT4 (SUB3)
08H	-reserved-
09H	INT-COMMON
0AH	EXT-COMMON
7FH	SYSTEM/COMMON

3.3 Setup Parameters: Global Section

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
SETUP	Setup Mode On/Off	51	04	7F	1	00, 01 (Off, On)
	SETUP Bank/Variation	51	05	7F	2	Bank=00~3F (1-1~8-8) /Vari.=00~03 (A~D)
GLOBAL	Global EQ Switch	51	10	7F	1	00, 01 (Off, On)
	Global EQ Low Gain	51	11	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ High Gain	51	12	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid1 Gain	51	13	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid2 Gain	51	14	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid1 Q	51	17	7F	1	00~06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid2 Q	51	18	7F	1	00~06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid1 Frequency	51	15	7F	1	00~7F (200~3150Hz)
	Global EQ Mid2 Frequency	51	16	7F	1	00~7F (200~3150Hz)
	Transpose Switch	53	01	7F	1	00, 01 (Off, On)
	Transpose Value	53	02	7F	1	28~40~58 (-24~0~+24)
	LocalOff	58	01	7F	1	00, 01 (LocalOff, LocalOn)
	Metronome Mode	56	0A	7F	1	00, 01 (Click, Rhythm)
	Metronome Beat	56	02	7F	2	01~16 (Beat) /01, 02, 03, 04 (Measure: 1/2, 1/4, 1/8, 1/16)
	Metronome Volume	56	03	7F	1	00~7F (0~127)
	Metronome Tempo	56	01	7F	2	TempoMSB/TempoLSB=00/1E~02/2C (30~300)
	Rhythm Category	56	09	7F	1	Rhythm Pattern=00~63(1~100)
Rhythm Variation	56	09	7F	1	Rhythm Pattern=00~63(1~100)	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
Buttons	Part Switch	55	06	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Volume Fader	55	01	pp	1	00~7F
	Tone Number	55	00	pp	3	msb/lb/prog (*GM mode Program Change)
1.REVERB	REVERB Switch	55	07	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Reverb Type	55	08	7F	1	00~05 (Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, LiveHall, Catedral)
	Reverb Pre Delay	55	0A	7F	1	00~7F
	Reverb Time	55	09	7F	1	00~7F
	REVERB DEPTH	55	03	pp	1	00~7F
2.EFX/AMP	EFX Switch	55	05	pp	1	00, 01 (Off, On)
	EFX Category	55	11	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX Type	55	11	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX Parameter 1	55	12	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 2	55	13	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 3	55	14	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 4	55	15	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 5	55	16	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 6	55	17	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 7	55	18	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 8	55	19	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 9	55	1A	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 10	55	1B	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Switch	55	20	pp	1	0, 1 (Off, On)
	EFX2 Category	55	21	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX2 Type	55	21	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX2 Parameter 1	55	22	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 2	55	23	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 3	55	24	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 4	55	25	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 5	55	26	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 6	55	27	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 7	55	28	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 8	55	29	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 9	55	2A	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 10	55	2B	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	AMP Simulator Switch	55	30	pp	1	0, 1 (Off, On)
	AMP Simulator Type	55	31	pp	2	Type=0~4 (S.Case, M.Stack, J.Combo, F.Bass, L.Cabi) / Vari.=0 (ignote)
	AMP Simulator Drive	55	32	pp	1	0~7F
	AMP Simulator Level	55	33	pp	1	0~7F
	AMP Simulator EQ Low	55	34	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	AMP Simulator EQ Mid	55	36	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	AMP Simulator EQ Mid Freq.	55	37	pp	1	0~7F (200~3150Hz)
AMP Simulator EQ High	55	35	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)	
AMP Simulator Mic Type	55	38	pp	1	00, 01 (Condenser, Dynamic)	
AMP Simulator Mic Position	55	39	pp	1	00, 01 (OnAxis, OffAxis)	
AMP Simulator Ambiance Level	55	3A	pp	1	0~7F	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
3.Sound	Master Volume	55	01	7F	1	0~7F
	Panpot	55	02	pp	1	0~40~7F (L64~0~R63)
	Cutoff	55	40	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Resonance	55	41	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Attack Time	55	42	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Decay Time	55	43	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Sustain Level	55	44	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Release Time	55	45	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Time	55	46	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Level	55	5B	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Decay Time	55	47	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Sustain Level	55	48	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Release Time	55	49	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Touch Depth	55	4A	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Touch Depth	55	4B	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Depth	55	4C	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Rate	55	4D	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Delay	55	4E	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Octave Layer On/Off	55	54	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Octave Layer Level	55	55	pp	1	0~7F
	Octave Layer Range	55	56	pp	1	3D~40~43 (-3 ~ +0 ~ +3)
	Octave Layer Detune	55	57	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Portament SW	55	51	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Portament Time	55	52	pp	1	0~7F
	Portament Mode	55	53	pp	1	00, 01 (Rate, Equal)
	Drawbar 16" Level	59	01	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 5 1/3" Level	59	02	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 8" Level	59	03	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 4" Level	59	04	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 2 2/3" Level	59	05	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 2" Level	59	06	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 1 3/5" Level	59	07	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 1 1/3" Level	59	08	pp	1	00~08 (0~8)
	Drawbar 1" Level	59	09	pp	1	00~08 (0~8)
	Percuss On/Off	59	0A	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Percuss Level	59	0B	pp	1	00, 01 (Normal, Soft)
	Percuss Decay	59	0C	pp	1	00, 01 (Slow, Fast)
	Percuss Harmonic	59	0D	pp	1	00, 01 (2nd, 3rd)
	Drawbar External Control	59	14	7F	1	00~02 (Off, MIDI CC#, MIDICH)
	Drawbar 16" RX CC#	59	15	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar 5 1/3" RX CC#	59	16	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar 8" RX CC#	59	17	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar 4" RX CC#	59	18	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar 2 2/3" RX CC#	59	19	7F	1	00~77 (0~119)
Drawbar 2" RX CC#	59	1A	7F	1	00~77 (0~119)	
Drawbar 1 3/5" RX CC#	59	1B	7F	1	00~77 (0~119)	
Drawbar 1 1/3" RX CC#	59	1C	7F	1	00~77 (0~119)	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
3.Sound	Drawbar 1" RX CC#	59	1D	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar Common RX CC#	59	27	7F	1	00~77 (0~119)
	Drawbar 16" RX MIDI Ch	59	1E	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 5 1/3" RX MIDI Ch	59	1F	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 8" RX MIDI Ch	59	20	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 4" RX MIDI Ch	59	21	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 2 2/3" RX MIDI Ch	59	22	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 2" RX MIDI Ch	59	23	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 1 3/5" RX MIDI Ch	59	24	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 1 1/3" RX MIDI Ch	59	25	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Drawbar 1" RX MIDI Ch	59	26	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
4.Tuning	Fine Tune	50	22	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Stretch Tuning	50	0B	pp	1	00~08, 40~44 (Off, Narrow2, Narrow1, Normal, Wide1, Wide2~5, Sys.User1~5)
	User Stretch Tuning	50	0C	7F	14	User#=00~04/Octave# (n)=00~08/Data (Cn~Bn, 12byte)=0E~40~72 (-50~0~+50cent)
	Temperament	50	0D	pp	2	Type=00~06, 40~41 (Equal, PureMaj~min, Pytagor, Meantone, Werkmeis, Kirnberg, Sys.User1~2) / Key=00~0B (C~B)
	Temperament Key					
User Temperament	50	0E	7F	13	User#=00~01/Data (C~B, 12byte) =0E~40~72 (-50~0~+50cent)	
5.KeySetup	Touch Curve	50	00	pp	1	00~0A (Light, Normal, Heavy, Off, Light+, Heavy+, Sys.User1~5)
	User Touch Curve	50	18	7F	18	User#=00~04/Packet# (n)=00~07/Data (vb[0+16n]~vb[15+16n], 16byte) =00~7F (*Velocity/127)
	Dynamics	53	05	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Trigger Mode	50	23	pp	1	00, 01 (Normal, Fast)
	Minimum Touch	50	0A	pp	1	01~14 (1~20)
	Transmit	58	09	pp	2	Mode=00 (Keyboard&Panel) /Value=00, 01 (Off, On)
	Octave Shift	53	03	pp	1	3D~40~43 (-3~0~+3)
	Zone Transpose	53	02	pp	1	34~40~4C (-12~0~+12)
	KS-Damping	53	0B	pp	1	00, 01 (Off, On)
	KS-Key	53	0C	pp	1	15~6C (A0~C8)
	Key Range - Zone Low	53	08	pp	2	Low=15~6C (A0~C8) /High=15~6C (A0~C8)
	Key Range - Zone High					
	Velo SW	53	09	pp	1	00~02 (Off, Soft, Loud)
	Velo SW Value	53	0A	pp	1	00~7F
	Solo On/Off	55	4F	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Solo Mode	55	50	pp	1	00~02 (Last, High, Low)
Key Volume	50	0F	pp	1	00~04, 40~44 (Off, HighDamping, LowDamping, High&LowDamping, CenterDamping, Sys.User1~5)	
User Key Volume	50	10	pp	14	User#=00~04/Octave# (n)=00~08/Data (Cn~Bn, 12byte)=00~40~127 (-6~0~+6dB)	
6.Control	Damper Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=00 (Main Damper) /Value=00, 01 (Off, On)
	Damper Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=00 (Main Damper) /Func.ID MSB/Func.ID LSB *<INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Damper Mode	50	20	pp	1	00, 01 (Normal, Hold)
	Half Pedal Value	58	0D	pp	1	00~04 (Normal, High, Low, MidHigh, MidLow)
	PitchBend Wheel On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=09 (Wheel1<Bender>) /Value=00, 01 (Off, On)

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
6.Control	PitchBend Range	55	5C	pp	1	[INT] 00~07, [EXT] 00-12
	Soft Pedal Adjust	50	12	pp	1	01-0A
	Modulation Wheel On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod.>) /Value=00~02 (Off, On, Reverse)
	Modulation Wheel Assign	54	05	pp	3	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod. >) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Modulation Depth Range	55	5D	pp	1	00~7F
	SW1 On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=0B (SW1) /Value=00, 01 (Off, On)
	SW1 Assign	54	05	7F	3	Cont.ID=0B (SW1) /Func.ID MSB/Func.ID LSB **00/00~00/09
	SW2 On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=0C (SW2) /Value=00, 01 (Off, On)
	SW2 Assign	54	05	7F	3	Cont.ID=0C (SW2) /Func.ID MSB / Func.ID LSB **00/00~00/09
	FSW Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00, 01 (Off, On)
	FSW Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=05 (FSW1) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	EXP Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=07 (EXP1) /Value=00~02 (Off, On, Reverse)
	EXP Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=07 (EXP1) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Right Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=01 (Sub Damper) /Value=00, 01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=01 (Sub Damper) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Center Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Value=00, 01 (Off, On)
	Center Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
Left Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=04 (Soft) /Value=00, 01 (Off, On)	
Left Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=04 (Soft) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78	
7.KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=00/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobB Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=01/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobC Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=02/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobD Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=03/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobA Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=04/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobB Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=05/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobC Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=06/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
	KnobD Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=07/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemters
8.VirtTech	Voicing	50	01	pp	1	00~0A (Normal, Mellow1, Mellow2, Dynamic, Bright1, Bright2, Sys.User1 ~5)
	User Voicing	50	17	7F	14	User#=00~04/Octave# (n)=00~08/Data (Cn~Bn, 12byte)=3B~40~45 (-5~0~+5)
	String Resonance	50	04	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Undamped Resonance	50	15	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Damper Resonance	50	02	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
8.VirtTech	KeyOff Effect	50	05	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Damper Noise	50	03	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Hammer Delay	50	07	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Fallback Noise	50	06	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Topboard	50	08	pp	1	00~03 (Close, Open1~3)
	Stereo Width	50	13	pp	1	00~7F
	KeyoffNoise	50	24	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10) <for E.PIANO sound>
	KeyOffNoiseDelay	50	25	pp	1	00~7F <for E.PIANO sound>
	Key Click Level	59	0E	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10) <for ORGAN sound>
	Wheel Noise Level	59	0F	pp	1	00~7F <for ORGAN sound>
9.Ch/Prog.	MIDI Transmit Channel	58	02	pp	1	00~0F (1~16Ch)
	Program Change Number	58	0B	pp	1	00~7F (1~128)
	Bank Number MSB	58	0E	pp	1	00~7F (0~127)
	Bank Number LSB	58	0F	pp	1	00~7F (0~127)
10.SETUP	Send Program On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=00 (Program) /00, 01 (Off, On)
	Send Bank On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=01 (Bank) /00, 01 (Off, On)
	Send Volume On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=02 (Volume) /00, 01 (Off, On)
	Send Knobs On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=03 (Knobs) /00, 01 (Off, On)
11.Transmit	Edit System Exclusive	58	09	7F	2	Trans. mode=04 (SysEX) /00, 01 (Off, On)
	Recorder	58	09	7F	2	Trans. mode=02 (Recorder) /00, 01 (Off, On)
	Fader Assign	54	01	7F	3	Fader#=0~3/Func.ID MSB/Func.ID LSB * <EXT>00/00~00/78
12.MMC	Transmit MMC	58	09	7F	2	Trans. mode=03 (MMC) /00, 01 (Off, On)
	MMC Device ID	58	0C	7F	2	ParaID=00 (DeviceID) /Value=00~7F
	MMC [RESET]	58	0C	7F	2	ParaID=01 (RESET) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [PLAY]	58	0C	7F	2	ParaID=02 (PLAY) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [REC]	58	0C	7F	2	ParaID=03 (REC) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [A<->B]	58	0C	7F	2	ParaID=04 (A<->B) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [REW]	58	0C	7F	2	ParaID=05 (REW) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [FF]	58	0C	7F	2	ParaID=06 (FF) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])

* Pedal/Wheel/Fader assign:

<INT> Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10

<EXT> CC#0~119, AfterTouch

** SW Button assign:

Oct.Layer, Rotary, Solo, Portament, Bend. Lock, Mod. Lock, Center Lock, Left Lock, EXP Lock, TW Control

3.5 Setup Parameters: SYSTEM Menu

Category	Parameter	Com.	Sub Com.	Part	Byte	Value (HEX)
Utility	System Tune	51	03	7F	1	26~40~5A (427.0~440.0~453.0Hz)
	Effect SW Mode	51	23	7F	1	00~02 (Preset, Temporary, Fixed)
	Knob Action	51	21	7F	2	Mode=01 (Knob) /Value=00, 01 (Normal, Catch)
	Volume (Fader) Action	51	21	7F	2	Mode=00 (Fader) /Value=00, 01 (Normal, Catch)
	LCD Contrast	51	20	7F	2	Mode=00 (Contrast) /Value=01~0A (1~10)
	LCD Reverse	51	20	7F	2	Mode=02 (Reverse) /Value=00, 01 (Off, On)
	Input Level	51	0D	7F	1	2E~40~52 (-18~0~+18dB)
	Audio Out Mode	51	0E	7F	1	00, 01 (Stereo, 2xMono)
	Lock SW Mode	51	22	7F	1	00~05 (Panel, Bender, Mod.Wheel, CenterPedal, LeftPedal, EXP)
	Auto Power Off	51	00	7F	1	00~03 (Off, 15min., 60min., 120min.)
	SW1 Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=0B (SW1) /00~02 (Normal, Setup+, Setup-)
	SW2 Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=0C (SW2) /00~02 (Normal, Setup+, Setup-)
Pedal/Mod.	Damper Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=00 (Main Damper) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Half Pedal Adjust	50	11	7F	1	01~0A (1~10)
	FSW Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	FSW Pedal Polarity	54	07	7F	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00~01 (Normal, Reverse)
	Mod. Pedal Curve	54	08	7F	2	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod. >) /Value=00~02 (Normal, Slow, Fast)
	EXP Pedal Curve	54	08	7F	2	Cont.ID=07 (EXP1) /Value=00~02 (Normal, Slow, Fast)
	Right Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=01 (Sub Damper) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Center Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Left Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=04 (Soft) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
MIDI	System Channel	58	00	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Key to MIDI	58	08	7F	2	ToMIDI= bit2:USB, bit1:MIDI, bit0:Key/ToUSB=bit1:MIDI, bit0:Key (1:Connect)
	Key to USB-MIDI					
	MIDI to MIDI					
	MIDI to USB-MIDI					
	USB-MIDI to MIDI					
	Send Program On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=00 (Program) /00, 01 (Off, On)
	Send Bank On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=01 (Bank) /00, 01 (Off, On)
	Send Volume On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=02 (Volume) /00, 01 (Off, On)
	Send Knobs On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=03 (Knobs) /00, 01 (Off, On)
	Receive Mode	58	05	7F	1	00~02 (Panel, Multi, OmniOn)
	Program Mode	58	06	7F	1	Panel, GM
	Receive Ch1	58	04	7F	2	MIDI Ch.=00~0F (1~16Ch.) /Value=00~05 (On, Off, Main, Sub1~3)
	Receive Ch2					
	Receive Ch3					
	Receive Ch4					
Receive Ch5						
Receive Ch6						
Receive Ch7						
Receive Ch8						
Receive Ch9						

3.5 Setup Parameters: SYSTEM Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub Com.	Part	Byte	Value (HEX)
MIDI	Receive Ch10	58	04	7F	2	MIDI Ch.=00~0F (1~16Ch.) /Value=00~05 (On, Off, Main, Sub1~3)
	Receive Ch11					
	Receive Ch12					
	Receive Ch13					
	Receive Ch14					
	Receive Ch15					
	Receive Ch16					
Offset	Reverb Offset	55	03	7F	1	00~64 (0~100%)
	EQ Offset	51	24	7F	1	00, 01 (Off, On)
	EQ Offset Lo	51	25	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Hi	51	26	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Mid1	51	27	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Mid2	51	28	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)

3.6 Assignable Knob Parameters

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Sound Type			
Section	Category	Name	MSB/LSB	Piano	E.Piano	T.Wheel	Others
Internal	1.REVERB	<input checked="" type="checkbox"/> Rev.Type	00/01			●	
		<input checked="" type="checkbox"/> RevPreDly	00/02			●	
		<input checked="" type="checkbox"/> Rev.Time	00/03			●	
		Rev.Depth	00/04	●	●	●	●
	2.EFX/AMP	EFX Categ.	00/05	●	●	●	●
		EFX Type	00/06	●	●	●	●
		EFX Para1	00/07	●	●	●	●
		EFX Para2	00/08	●	●	●	●
		EFX Para3	00/09	●	●	●	●
		EFX Para4	00/0A	●	●	●	●
		EFX Para5	00/0B	●	●	●	●
		EFX Para6	00/0C	●	●	●	●
		EFX Para7	00/0D	●	●	●	●
		EFX Para8	00/0E	●	●	●	●
		EFX Para9	00/0F	●	●	●	●
		EFX Para10	00/10	●	●	●	●
		EFX2 Categ.	00/11	●	●	●	●
		EFX2 Type	00/12	●	●	●	●
		EFX2 Para1	00/13	●	●	●	●
		EFX2 Para2	00/14	●	●	●	●
		EFX2 Para3	00/15	●	●	●	●
		EFX2 Para4	00/16	●	●	●	●
		EFX2 Para5	00/17	●	●	●	●
		EFX2 Para6	00/18	●	●	●	●
		EFX2 Para7	00/19	●	●	●	●
		EFX2 Para8	00/1A	●	●	●	●
		EFX2 Para9	00/1B	●	●	●	●
		EFX2Para10	00/1C	●	●	●	●
		Amp Type	00/1D	●	●	●	●
		Amp Drive	00/1F	●	●	●	●
		Amp Level	00/1E	●	●	●	●
		AmpEQ-Lo	00/20	●	●	●	●
	AmpEQ-Mid	00/21	●	●	●	●	
AmpEQ-Hi	00/22	●	●	●	●		
MidFreq.	01/1A	●	●	●	●		
AmpMicType	01/15	●	●	●	●		
AmpMicPos.	01/14	●	●	●	●		
AmpAmbien.	01/16	●	●	●	●		
3.Sound	<input checked="" type="checkbox"/> MasterVol	00/23			●		
	Panpot	00/24	●	●	-	●	
	Cutoff	00/25	●	●	-	●	
	Resonance	00/26	●	●	-	●	
	DCA Attack	00/27	●	●	-	●	
	DCA Decay	00/28	●	●	-	●	
	DCASustain	00/29	●	●	-	●	
	DCARelease	00/2A	●	●	-	●	

3.6 Assignable Knob Parameters (cont.)

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Sound Type			
Section	Category	Name	MSB/LSB	Piano	E.Piano	T.Wheel	Others
Internal	3.Sound	DCF ATK Tm	00/2B	●	●	-	●
		DCF ATK Lv	00/2C	●	●	-	●
		DCF Decay	00/2D	●	●	-	●
		DCFSustain	00/2F	●	●	-	●
		DCFRelease	00/2E	●	●	-	●
		DCF TchDpt	00/30	●	●	-	●
		DCA TchDpt	00/31	●	●	-	●
		Vib.Depth	00/32	●	●	-	●
		Vib.Rate	00/33	●	●	-	●
		Vib.Delay	00/34	●	●	-	●
		Octave	00/35	●	●	-	●
		Oct.Level	00/36	●	●	-	●
		Oct.Range	00/37	●	●	-	●
		Oct.Detune	00/38	●	●	-	●
		Portament	00/39	●	●	-	●
		Porta.Time	00/3A	●	●	-	●
		Porta.Mode	00/3B	●	●	-	●
	4.Tuning	Fine Tune	00/4B	●	●	●	●
		Stretch	00/4C	●	●	-	●
		Temperment	00/4D	●	●	-	●
		Temper.Key	00/4E	●	●	-	●
	5.KeySetup	Touch	00/55	●	●	-	●
		Dynamics	00/5B	●	●	-	●
		Trigger	00/56	●	●	●	●
		Min.Touch	01/1C	●	●	-	●
		OctavShift	00/57	●	●	●	●
		ZoneTrans.	00/58	●	●	●	●
		KS-Damping	00/59	●	●	-	●
		KS-Key	00/5A	●	●	-	●
		Zone Lo	00/52	●	●	●	●
		Zone Hi	00/51	●	●	●	●
		VeloSW	00/53	●	●	-	●
		VeloSW Val	00/54	●	●	-	●
		Solo	00/5C	●	●	-	●
		Solo Mode	00/5D	●	●	-	●
		KeyVolume	01/1B	●	●	-	●
	6.Control	DamperPed.	00/5E	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> D.Assign	00/5F			●	
		Right Ped.	00/61	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> R.Assign	00/62			●	
		Damp.Mode	00/60	●	●	●	●
		CenterPed.	00/63	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> C.Assign	00/64			●	
		Left Pedal	00/65	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> L.Assign	00/66			●	
SoftPdlDpt	01/03	●	●	-	●		

3.6 Assignable Knob Parameters (cont.)

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Sound Type			
Section	Category	Name	MSB/LSB	Piano	E.Piano	T.Wheel	Others
Internal	6.Control	Pitch Bend	00/69	●	●	-	●
		Bend Range	00/6A	●	●	-	●
		Mod.Wheel	00/6B	●	●	●	●
		Mod.Assign	00/6C	●	●	●	●
		Mod.Range	01/18	●	●	-	●
		SW1	00/6D	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> SW1Assign	00/6E			●	
		SW2	00/6F	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> SW2Assign	00/70			●	
		FSW Pedal	01/1E	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> FSWAssign	01/1F			●	
		EXP Pedal	00/67	●	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> EXPAssign	00/68			●	
		8.VirtTech	Voicing	00/79	●	-	-
	StringReso		00/7B	●	-	-	-
	UndampedRs		01/1D	●	-	-	-
	DamperReso		00/7C	●	-	-	-
	KeyOffEff.		00/7D	●	-	-	-
	DamperNois		00/7E	●	-	-	-
	HammerDly		00/7F	●	-	-	-
	FallbackNs		01/00	●	-	-	-
	Topboard		01/01	●	-	-	-
	StereoWdth		00/7A	●	-	-	-
	KeyOffNois		01/05	-	●	-	-
	KeyOffDly		01/06	-	●	-	-
	KeyClick		00/49	-	-	●	-
	WheelNoise	00/4A	-	-	●	-	
External	CC#0~119		00/00~00/77	* KeyOffNois, KeyOffDly パラメーターは、Harpsi./Bass 音色でも選択できます。			
	AfterTouch		00/78	* EFX2 と AMP のパラメーターは、MAIN ZONE のみ選択できます。			

4 SOUND/SETUP Program/Bank

MIDIパラメータの受信モード(P. 109の「11. Receive Mode」参照)が“Panel”に設定されているとき、MP7SEはシステムチャンネルでのみMIDIデータを受信します。内部音色をMIDIで変更するには、下記のプログラムチェンジ番号リストをご確認ください。

* MP7SEはシステムチャンネルにて、プログラムナンバーとバンクナンバー MSBの0または1を受信すると、セットアップモードのON/OFFを切り換え、対応したセットアップを呼び出します。また、受信モードが“Section”に設定されているときは、内部音色セクションはそれぞれ独立したチャンネルでMIDI受信します。

4.1 SETUP Program Number Table

Upper	Second	Third	Prog#:MSB-LSB
1	1	A	001:000-002
1	1	B	002:000-002
1	1	C	003:000-002
1	1	D	004:000-002
1	2	A~D	005:000-002 ~ 008:000-002
1	3	A~D	009:000-002 ~ 012:000-002
1	4	A~D	013:000-002 ~ 016:000-002
1	5	A~D	017:000-002 ~ 020:000-002
1	6	A~D	021:000-002 ~ 024:000-002
1	7	A~D	025:000-002 ~ 028:000-002
1	8	A~D	029:000-002 ~ 032:000-002
2	1~8	A~D	033:000-002 ~ 064:000-002
3	1~8	A~D	065:000-002 ~ 096:000-002
4	1~8	A~D	097:000-002 ~ 128:000-002
5	1~8	A~D	001:000-003 ~ 032:000-003
6	1~8	A~D	033:000-003 ~ 064:000-003
7	1~8	A~D	065:000-003 ~ 096:000-003
8	1~8	A~D	097:000-003 ~ 128:000-003

5 Program Change Number List

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB
PIANO	SK Concert Grand	1	0	0	1	121	0
	SK Studio Grand	2	0	0	1	121	1
	SK Mellow Grand	3	0	0	1	121	2
	Standard Grand	4	0	0	1	95	16
	EX Concert Grand	5	0	0	1	95	27
	EX Studio Grand	6	0	0	1	95	28
	EX Mellow Grand	7	0	0	1	95	29
	EX Jazz Grand	8	0	0	1	95	8
	SK-5 Grand	9	0	0	1	95	30
	SK-5 StudioGrand	10	0	0	1	95	31
	SK-5 MellowGrand	11	0	0	1	95	32
	Studio Grand	12	0	0	1	95	17
	Upright Piano	13	0	0	1	95	25
	Bright Upright	14	0	0	1	95	26
	Old Upright	15	0	0	1	95	34
	Honky Tonk	16	0	0	4	121	0
	Pop Piano	17	0	0	2	95	10
	Bright Pop Piano	18	0	0	2	95	13
	Pop Piano 2	19	0	0	2	95	11
	Pop Piano 3	20	0	0	2	95	12
	Modern Piano	21	0	0	2	121	0
	Mono SK-EX Grand	22	0	0	1	95	20
	Mono EX Grand	23	0	0	1	95	21
	GM Piano	24	0	0	2	95	6
	Rock Piano	25	0	0	2	121	1
	Piano Oct.	26	0	0	1	95	1
	Piano & EP	27	0	0	2	95	1
	New Age Piano	28	0	0	1	95	9
	Harpsichord	29	0	0	7	121	3
	Harpsichord2	30	0	0	7	121	0
	Harpsi. Octave	31	0	0	7	121	1
	Harpsi & Clavi	32	0	0	7	95	5
E.PIANO	Classic EP	33	0	0	5	121	0
	Classic EP 2	34	0	0	5	95	3
	Classic EP 3	35	0	0	5	95	5
	Classic EP 4	36	0	0	5	121	1
	Modern EP	37	0	0	6	121	0
	Modern EP 2	38	0	0	6	121	1
	Modern EP 3	39	0	0	6	121	2
	Modern EP 4	40	0	0	6	95	5
	60's EP	41	0	0	5	121	3
	60's EP 2	42	0	0	5	95	4
	Electric Grand	43	0	0	3	121	0
	Electric GP 2	44	0	0	3	121	1
	Dolce EP	45	0	0	5	95	2
	Legend EP	46	0	0	6	121	3
	Phase EP	47	0	0	6	121	4
	Classic EP 5	48	0	0	5	121	2
	Crystal EP	49	0	0	6	95	1
	New Age EP	50	0	0	6	95	2
	New Age EP2	51	0	0	6	95	3
	New Age EP3	52	0	0	6	95	4
	Clavinet	53	0	0	8	121	0
	Synth Clavinet	54	0	0	8	121	1
	Clavi & Marim	55	0	0	8	95	1
	Clavi Phaser	56	0	0	8	95	2
	Vibraphone	57	0	0	12	121	0
	Celesta	58	0	0	9	121	0
	Music Box	59	0	0	11	121	0
	Toy Piano	60	0	0	11	95	1
	Marimba	61	0	0	13	121	0
	Xylophone	62	0	0	14	121	0
	Steel Drums	63	0	0	115	121	0
	Bells	64	0	0	15	95	3

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB
DRAWBAR	T.Wheel 1-A	65	0	0	18	95	112
	T.Wheel 1-B	66	0	0	18	95	113
	T.Wheel 1-C	67	0	0	18	95	114
	T.Wheel 1-D	68	0	0	18	95	115
	T.Wheel 2-A	69	0	0	17	95	112
	T.Wheel 2-B	70	0	0	17	95	113
	T.Wheel 2-C	71	0	0	17	95	114
	T.Wheel 2-D	72	0	0	17	95	115
	T.Wheel 3-A	73	0	0	20	95	112
	T.Wheel 3-B	74	0	0	20	95	113
	T.Wheel 3-C	75	0	0	20	95	114
	T.Wheel 3-D	76	0	0	20	95	115
	Blues Organ	77	0	0	17	121	0
	Drawbar Organ	78	0	0	17	95	1
	Drawbar Organ2	79	0	0	17	95	2
	Gospel Organ	80	0	0	17	95	3
	Ballad Organ	81	0	0	17	95	5
	Soft Solo	82	0	0	17	95	8
	Odd Man	83	0	0	17	95	6
	Be Nice	84	0	0	17	95	7
	Jazz Organ	85	0	0	18	121	0
	Drawbar Organ3	86	0	0	18	121	2
	Perc. Organ	87	0	0	18	95	15
	Perc. Organ 2	88	0	0	18	121	1
	Drawbar Organ4	89	0	0	17	121	3
	Full Organ	90	0	0	18	95	4
	Jazzer	91	0	0	18	95	1
	Jazz Organ 2	92	0	0	18	95	12
	Rock Organ 2	93	0	0	19	121	0
	Rock Organ	94	0	0	18	95	13
	Drawbar Organ5	95	0	0	17	121	1
	Screamini'	96	0	0	17	95	4
ORGAN	Church Organ	97	0	0	20	121	0
	Full Pipes	98	0	0	20	95	9
	Full Ensemble	99	0	0	21	95	10
	Church Organ 2	100	0	0	20	121	1
	PrincipleChoir	101	0	0	20	95	23
	Small Ensemble	102	0	0	20	95	8
	Small Ens. 2	103	0	0	20	95	25
	Baroque	104	0	0	20	95	19
	Chiffy Tibia	105	0	0	20	95	17
	8'&4'Principle	106	0	0	20	95	24
	Stopped Pipe	107	0	0	20	95	21
	Principle Pipe	108	0	0	20	95	22
	8' Celeste	109	0	0	20	95	5
	Diapason	110	0	0	20	95	6
	Voice Celeste	111	0	0	20	95	39
	Baroque Mix	112	0	0	20	95	7
	Reeds	113	0	0	20	95	10
	8' Reed	114	0	0	21	95	1
	Reed Pipes	115	0	0	20	95	26
	Posaune	116	0	0	20	95	27
	Theater Organ	117	0	0	20	95	2
	Theater Organ2	118	0	0	20	95	3
	Theater Organ3	119	0	0	20	95	4
	Theater Tibia	120	0	0	20	95	36
	Elec. Organ	121	0	0	17	95	9
	Elec. Organ 2	122	0	0	17	95	10
	60's Organ	123	0	0	17	121	2
	Pump Organ	124	0	0	20	95	40
	Fr. Accordion	125	0	0	22	121	0
	TangoAccordion	126	0	0	24	121	0
	Harmonica	127	0	0	23	121	0
	Kenban Harmo.	128	0	0	23	95	4

MIDI Implementation

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB
STRINGS / VOCAL	String Pad	1	0	1	49	95	8
	Warm Strings	2	0	1	49	95	1
	Warm Strings 2	3	0	1	51	121	0
	Synth Strings	4	0	1	52	121	0
	Beautiful Str.	5	0	1	45	95	1
	String Ens.	6	0	1	49	121	0
	String Ens. 2	7	0	1	50	121	0
	Full Orchestra	8	0	1	49	95	12
	Small Str. Ens	9	0	1	49	95	13
	Quartet	10	0	1	49	95	11
	Str. Bass Ens.	11	0	1	44	121	0
	Str. Sustain	12	0	1	49	95	10
	Pizzicato	13	0	1	46	121	0
	TremoloStrings	14	0	1	45	121	0
	Str. Sforzando	15	0	1	49	95	9
	Orchestra Hit	16	0	1	56	121	0
	Passionate Vln	17	0	1	41	121	0
	Classic Violin	18	0	1	41	95	3
	Passionate Vc	19	0	1	43	121	0
	Classic Cello	20	0	1	43	95	4
	Choir	21	0	1	53	121	0
	Breathy Choir	22	0	1	53	95	1
	Pop Aahs	23	0	1	53	121	1
	Slow Choir	24	0	1	53	95	2
	Jazz Ensemble	25	0	1	54	95	2
	Female Scat	26	0	1	54	95	22
	Pop Ensemble	27	0	1	54	121	0
	Contemp Ens.	28	0	1	54	95	10
	Itopia	29	0	1	92	121	1
	Halo Pad	30	0	1	95	121	0
	Halo Pad 2	31	0	1	95	95	1
	Synth Vocals	32	0	1	55	121	0
BRASS / WIND	Exp Brass	33	0	1	62	95	8
	Exp Saxes	34	0	1	66	95	11
	Tp&Bone&Tenor	35	0	1	58	95	11
	Flugel & Tenor	36	0	1	57	95	18
	Brass Section	37	0	1	62	121	0
	Synth Brass	38	0	1	63	121	0
	Synth Brass 2	39	0	1	64	121	0
	Jump Brass	40	0	1	63	121	3
	Exp Trumpet	41	0	1	57	121	0
	PlungerTrumpet	42	0	1	57	95	7
	Trumpet Shake	43	0	1	57	95	6
	Harmon Mute Tp	44	0	1	60	121	0
	Exp Trombone	45	0	1	58	121	0
	Lead Trombone	46	0	1	58	95	2
	PlungerTrombon	47	0	1	58	95	4
	ClosedMuteBone	48	0	1	58	95	9
	Exp Alto	49	0	1	66	121	0
	Lead Alto	50	0	1	66	95	2
	Soft Alto	51	0	1	66	95	7
	Lead Soprano	52	0	1	65	121	0
	Exp Tenor	53	0	1	67	121	0
	Ballad Tenor	54	0	1	67	95	6
	Growl Tenor	55	0	1	67	95	4
	Baritone Sax	56	0	1	68	121	0
	Exp Flute	57	0	1	74	95	12
	Ballad Flute	58	0	1	74	121	0
	Flute Overblow	59	0	1	74	95	9
	Flute Flutter	60	0	1	74	95	10
	Oboe	61	0	1	69	121	0
	Bassoon	62	0	1	71	121	0
	Jazz Clarinet	63	0	1	72	121	0
	Pan Flute	64	0	1	76	121	0

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM			
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB	
PAD / SYNTH	Pad 1	65	0	1	90	95	3	
	Pad 2	66	0	1	90	95	4	
	Pad 3	67	0	1	90	95	5	
	Saw Pad	68	0	1	90	95	7	
	Pad 4	69	0	1	90	95	6	
	Bowed Pad	70	0	1	93	95	1	
	NoisyPad	71	0	1	96	95	3	
	Sweep Pad	72	0	1	96	95	2	
	Saw Lead LP24	73	0	1	82	95	1	
	Saw Lead LP12	74	0	1	82	95	2	
	Saw Lead HP	75	0	1	82	95	3	
	Saw Lead BP	76	0	1	82	95	4	
	Square Lead LP24	77	0	1	81	95	1	
	Square Lead LP12	78	0	1	81	95	2	
	Square Lead HP	79	0	1	81	95	3	
	Square Lead BP	80	0	1	81	95	4	
	Pulse Lead LP24	81	0	1	81	95	5	
	Pulse Lead LP12	82	0	1	81	95	6	
	Pulse Lead HP	83	0	1	81	95	7	
	Pulse Lead BP	84	0	1	81	95	8	
	Polysynth	85	0	1	82	95	5	
	PolysynthOct	86	0	1	82	95	6	
	SqrPoly	87	0	1	81	95	9	
	Warm Lead	88	0	1	81	95	10	
	Oct Saw	89	0	1	82	95	7	
	Oct Pulse	90	0	1	81	95	11	
	Saw HPF	91	0	1	82	95	8	
	Sqr QTC	92	0	1	81	95	12	
	Noise UpDown	93	0	1	123	95	1	
	Noise Open	94	0	1	123	95	2	
	Resonance Voice	95	0	1	123	95	3	
	Resonance Rise	96	0	1	123	95	4	
	BASS / GUITAR	Acc. Bass	97	0	1	33	121	0
		Acc. Bass&Ride	98	0	1	33	95	1
		Electric Bass	99	0	1	34	95	1
		Electric Bass2	100	0	1	34	95	4
		Finger Bass	101	0	1	34	121	0
		FingerSlapBass	102	0	1	34	121	1
		Pick Bass	103	0	1	35	121	0
		Fretless Bass	104	0	1	36	121	0
		Synth Bass	105	0	1	39	121	0
		Synth Bass 2	106	0	1	40	121	0
		Rubber Bass	107	0	1	40	121	2
		Warm SynthBass	108	0	1	39	121	1
		Exp. Nylon Gtr	109	0	1	25	121	0
		Pick Nylon Gtr	110	0	1	25	95	3
		Exp Guitar	111	0	1	26	121	0
		Exp Guitar 2	112	0	1	26	95	11
Rhythm Guitar		113	0	1	28	121	0	
Overdrive		114	0	1	30	121	0	
Distortion		115	0	1	31	121	0	
Muted Electric		116	0	1	29	121	0	
Pedal Steel		117	0	1	27	121	1	
HawaiianGuitar		118	0	1	27	95	1	
Jazz Guitar		119	0	1	27	121	0	
Jazz Guitar 2		120	0	1	27	95	2	
Banjo		121	0	1	106	121	0	
Mandolin		122	0	1	26	121	2	
Sitar		123	0	1	105	121	0	
Harp		124	0	1	47	121	0	
Ambience Set	125	0	1	33	120	0		
Plutonium Set	126	0	1	1	120	0		
Room Set	127	0	1	9	120	0		
Analog Set	128	0	1	26	120	0		

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Wide Honky Tonk	4	121	1
	Wide Harpsichord	7	121	2
	Glocken	10	121	0
	Wide Vibraphone	12	121	1
	Wide Marimba	13	121	1
	Tubular Bells	15	121	0
	Church Bells	15	121	1
	Carillon	15	121	2
	Dulcimer	16	121	0
	Church Organ 3	20	121	2
	Reed Organ	21	121	0
	Puff Organ	21	121	1
	Accordion	22	121	1
	Ukulele	25	121	1
	Nylon Acoustic2	25	121	2
	Nylon Acoustic3	25	121	3
	12 String	26	121	1
	Steel Guitar 2	26	121	3
	E. Guitar 2	28	121	1
	Rhythm Guitar	28	121	2
	Cutting Guitar2	29	121	1
	E. Guitar 3	29	121	2
	Country Lead	29	121	3
	Dynmic Ov.drive	30	121	1
	Dist Feedback	31	121	1
	Dist Rhythm	31	121	2
	E.Gtr Harmonics	32	121	0
	Guitar Feedback	32	121	1
	Slap Bass	37	121	0
	Slap Bass 2	38	121	0
	Synth Bass 3	39	121	2
	Clavi Bass	39	121	3
	Hammer Bass	39	121	4
	Synth Bass 4	40	121	1
	Attack Bass	40	121	3
	Slow Violin	41	121	1
	Viola	42	121	0
	Celtic Harp	47	121	1
	Timpani	48	121	0
	Strings & Brass	49	121	1
	60's Strings	49	121	2
	Synth Strings 3	51	121	1
	Humming	54	121	1
	Analog Voice	55	121	1
	Bass Hit Plus	56	121	1
	6th Hit	56	121	2
	Euro Hit	56	121	3
	Solo Trumpet	57	121	1
	Trombone 2	58	121	1
	Bright Trombone	58	121	2
	Tuba	59	121	0
	Muted Trumpet 2	60	121	1
	French Horns	61	121	0
	Warm FrenchHorn	61	121	1
	Brass Section 2	62	121	1
	Synth Brass 3	63	121	1

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Analog Brass	63	121	2
	Synth Brass 4	64	121	1
	Analog Brass 2	64	121	2
	English Horn	70	121	0
	Piccolo	73	121	0
	Recorder	75	121	0
	Blown Bottle	77	121	0
	Shakuhachi	78	121	0
	Whistle	79	121	0
	Ocarina	80	121	0
	Square Lead	81	121	0
	Square 2	81	121	1
	Sine	81	121	2
	Classic Synth	82	121	0
	Classic Synth2	82	121	1
	Lead	82	121	2
	Classic Synth 3	82	121	3
	SequencedAnalog	82	121	4
	Caliope	83	121	0
	Chiff	84	121	0
	Charang	85	121	0
	Wire Lead	85	121	1
	Voice	86	121	0
	Fifth	87	121	0
	Bass & Lead	88	121	0
	Soft Wire Lead	88	121	1
	New Age Pad	89	121	0
	Warm Pad	90	121	0
	Sine Pad	90	121	1
	Polysynth	91	121	0
	Itopia	92	121	0
	Bowed Pad	93	121	0
	Metallic	94	121	0
	Multi Sweep	96	121	0
	Rain Pad	97	121	0
	Soundtrack	98	121	0
	Crystal	99	121	0
	Synth Mallet	99	121	1
	Atmosphere	100	121	0
	Brightness	101	121	0
	Goblin	102	121	0
	Echoes	103	121	0
	Echo Bell	103	121	1
	Echo Pan	103	121	2
	Sci-Fi	104	121	0
	Sitar 2	105	121	1
	Shamisen	107	121	0
	Koto	108	121	0
	Taisho Koto	108	121	1
	Kalimba	109	121	0
	Bag Pipe	110	121	0
	Fiddle	111	121	0
	Shanai	112	121	0
	Tinkle Bell	113	121	0
	Agogo	114	121	0
	Woodblock	116	121	0

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Castanet	116	121	1
	Taiko Drums	117	121	0
	Concert BD	117	121	1
	Melodic Toms	118	121	0
	Melodic Toms 2	118	121	1
	Synth Drum	119	121	0
	Rhythm Box Tom	119	121	1
	Electric Drum	119	121	2
	Reverse Cymbal	120	121	0
	Gtr Fret Noise	121	121	0
	GtrCuttingNoise	121	121	1
	Ac Bass Slap	121	121	2
	Breath Noise	122	121	0
	Flute Key Click	122	121	1
	Seashore	123	121	0
	Rain	123	121	1
	Thunder	123	121	2
	Wind	123	121	3
	Stream	123	121	4
	Bubble	123	121	5
	Bird Tweet	124	121	0
	Dog Barking	124	121	1
	Horse Gallop	124	121	2
	Bird Tweet 2	124	121	3
	Telephone	125	121	0
	Telephone 2	125	121	1
	Door Creak	125	121	2
	Door Slam	125	121	3
	Scratch	125	121	4
	Wind Chime	125	121	5
	Helicopter	126	121	0
	Car Engine	126	121	1
	Car Stopping	126	121	2
	Car Passing	126	121	3
	Car Crash	126	121	4
	Siren	126	121	5
	Train	126	121	6
	Jet Plane	126	121	7
	Starship	126	121	8
	Burst Noise	126	121	9
	Applause	127	121	0
	Laughing	127	121	1
	Screaming	127	121	2
	Punch	127	121	3
	Heartbeat	127	121	4
	Foot Step	127	121	5
	Gunshot	128	121	0
	Machine Gun	128	121	1
	Laser Gun	128	121	2
	Explosion	128	121	3
	Power Set	17	120	0
	Electronic Set	25	120	0
	Brush Set	41	120	0
	Orchestra Set	49	120	0
	SFX Set	57	120	0

* MIDI sounds are not accessible from the panel.

6 Control Change Number (CC#) Table

Control Number		Control Function
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undefined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Portamento On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freeze etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay Time)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefined)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

Function	Transmitted	Recognised		Remarks	
		Panel	Multi		
Basic Channel	Default	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
	Changed	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
Mode	Default	3	3	3	
	Messages	3,4 (m=1)	X	3,4 (m=1)	
	Altered	*****			
Note Number	True Voice	0 - 127 *****	0 - 127	0 - 127	
Velocity	Note ON	0 9nH, v=1 - 127	0	0	
	Note OFF	0 8nH, v=0 - 127	0	0	
After Touch	Key	X	X	X	
	Channel	0 *1	X	X	
Pitch Bend		0	0	0	
Control Change	0,32	0	0	0	Bank Select
	1	0	0	0	Modulation *2
	5,6,38	0	X	0	Portament Time,Data Entry
	7	0	0	0	Volume
	10,65	0	X	0	Panpot,Portament On/Off
	11	0	0	0	Expression (EXP) *2
	64	0	0	0	Hold1 (Damper) *2
	66	0	0	0	Sostenuto *2
	67	0	0	0	Soft *2
	70,71	0	X	0	Sustain, Resonance
	72,73,74,75	0	X	0	RLS, ATK, CTF, DCY
	76,77,78	0	X	0	Vibrato (Rate,Depth,Delay)
	91	0	X	0	Reverb Depth
	98,99	X	X	0	NRPN LSB/MSB
100, 101	0	0	0	RPN LSB/MSB	
0-119	0 *1	X	X		
Program Change	True #	0 *****	0 - 127	0 - 127	
System Exclusive		0	0	0	
Common	Song Position	X	X	X	
	Song Select	X	X	X	
	Tune	X	X	X	
System Real Time	Clock	X	X	X	
	Commands	0	X	X	
Other Functions	All Sound OFF	X	0	0	
	Reset All Cntrls	0	0	0	
	Local ON/OFF	X	X	X	
	All Note OFF	0	0 (123-127)	0 (123-127)	
	Active Sense	X	0	0	
	Reset	X	X	X	
Notes		*1: Assigned to Modulation Wheel, EXP, Foot Controllers or Knob A~D *2: ON/OFF settings of each section are set in EDIT menu. The function is assigned to MOD/EXP/Right/Centre/Left Pedal in EDIT menu. Also, the multi mode's other messages control each volume faders or each parameters in EDIT menu.			

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON , MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

O : Yes
X : No

株式会社河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

<http://www.kawai.co.jp/>

■ お問合せ先について

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆修理受付窓口

電子楽器コールセンター

TEL : 053-457-1295 / E-mail : denshi-callcenter@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

各エリアの修理受付窓口は弊社Webページよりご確認ください。

電話・FAX・インターネットでお問い合わせいただけます。

<https://www.kawai.jp/support/service/ep/repair/>



故障と思われる場合につきましては、お買い求めいただいた販売店、もしくは上記の修理受付窓口にお問い合わせください。
その他で不明な点などございましたら、上記のお客様相談室にお問い合わせください。

